

## 第2章 アンケート調査の結果



## 2-1 回答者の属性等

### (1) 回答者・回答世帯の属性

#### ① 回答者の属性

回答者の属性（子どもと回答者との関係）は、「母親」が91.0%、「父親」が8.8%、「その他<sup>2</sup>」が0.2%となっています。

#### 保問2 お子さんとあなたとの関係は、以下のどれになりますか

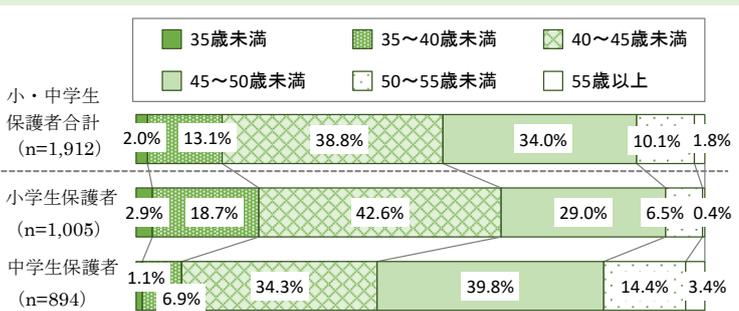


#### ② 年齢層

回答者の年齢層<sup>3</sup>は、「40歳～45歳未満」が38.8%、「45～50歳未満」が34.0%で、約7割が40歳代となっています。

なお、小学生保護者では「40歳～45歳未満」、中学生保護者では「45歳～50歳未満」の割合が最も高くなっています。

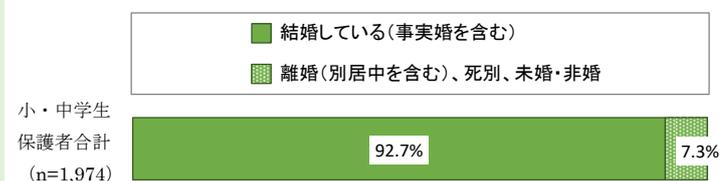
#### 保問3 あなたの年齢を教えてください



#### ③ 婚姻状況

回答者の現在の婚姻状況は、9割以上が「結婚している（事実婚を含む）」と回答しており、7.3%<sup>4</sup>が「ひとり親」に該当する状況にあります。

#### 保問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください



<sup>2</sup> 「その他」には「施設職員」の回答を含めて集計しています。

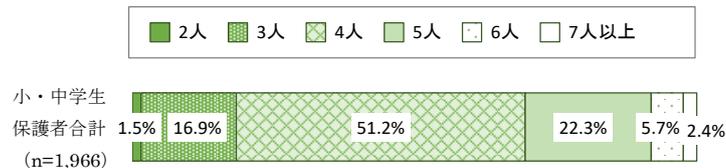
<sup>3</sup> 数字での回答を5歳ごとに分類して集計したものです。

<sup>4</sup> 「離婚（別居中を含む）」「死別」「未婚・非婚」の選択肢による回答を合わせて集計しています。

#### ④同居している家族の人数

同居している家族の人数は、「4人」が5割以上となっており、9割以上が家族の人数は3～5人に該当する状況にあります<sup>5</sup>。

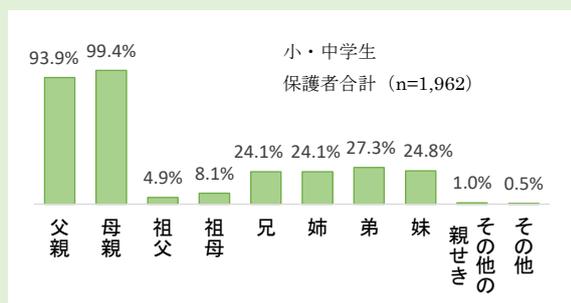
#### 保問5 同居している家族の人数を教えてください



#### ⑤同居している家族の構成

同居している家族について、「祖父」は4.9%、「祖母」は8.1%となっており、約9割は核家族世帯に該当する状況にあります。

#### 保問6 同居している家族の方はどなたですか



<sup>5</sup> 数字での回答で、「7人」「8人」「9人」「11人」の回答を合わせて「7人以上」として集計しています。

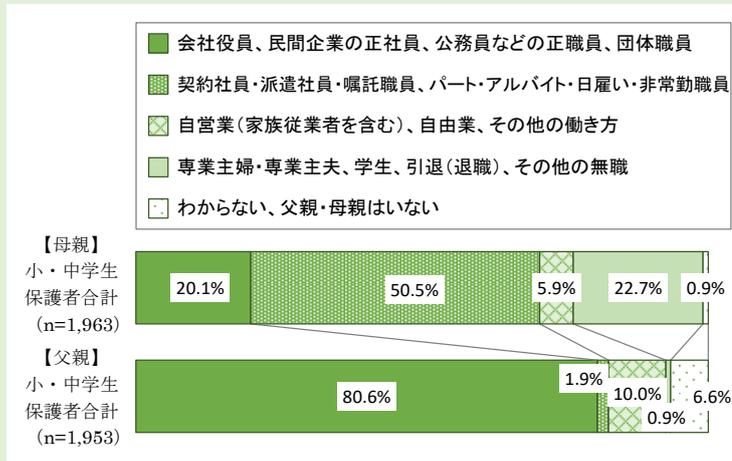
## (2) 保護者(母親・父親)の就業の状況

### ① 就業状況 (就業の有無・就業形態)

母親の現在の就業状況は、約5割が「契約社員・派遣社員・嘱託職員、パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」で、約2割が「専業主婦、学生、引退(退職)、その他の無職」となっています<sup>6</sup>。

父親は、約8割が「会社役員、民間企業の正社員、公務員などの正職員、団体職員」で、約1割が「自営業(家族従業者を含む)、自由業、その他の働き方」となっています。

#### 保問 13① 現在の就業状況

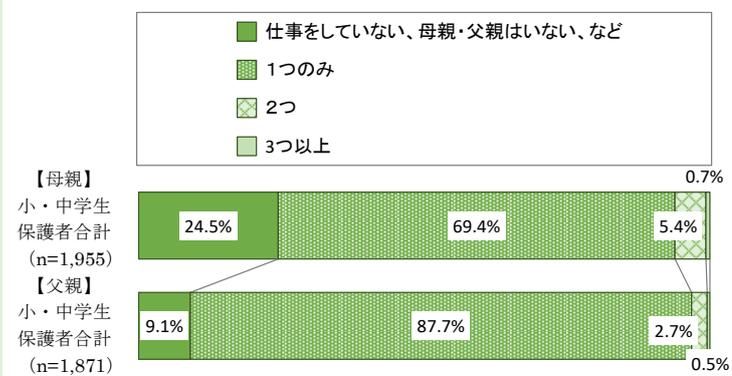


### ② 仕事の数

母親の現在の仕事の数については、「2つ」の人が5.4%、「3つ以上」の人が0.7%となっています。

父親については、「2つ」の人が2.7%、「3つ以上」の人が0.5%となっています。

#### 保問 13② 現在の仕事の数

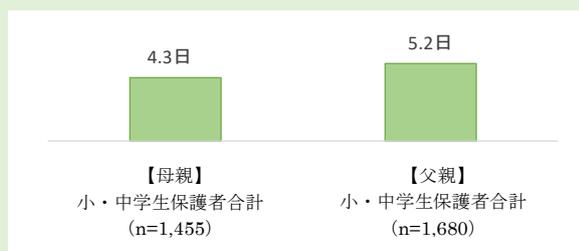


### ③ 1週間の就業日数

1週間の就業日数の平均値は、母親が4.3日、父親が5.2日となっています。

(現在仕事をしている人のみが集計対象)

#### 保問 13③ 1週間の就業日数 (平均値)



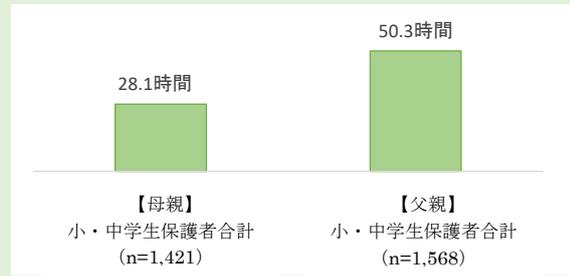
<sup>6</sup> 「会社役員」「民間企業の正社員」など、個々の選択肢による回答を合わせて集計しています。

#### ④ 1週間の就業時間

1週間の就業時間の平均値は、母親が28.1時間、父親が50.3時間となっています。

(現在仕事をしている人のみが集計対象)

保問 13③ 1週間の就業時間 (平均値)

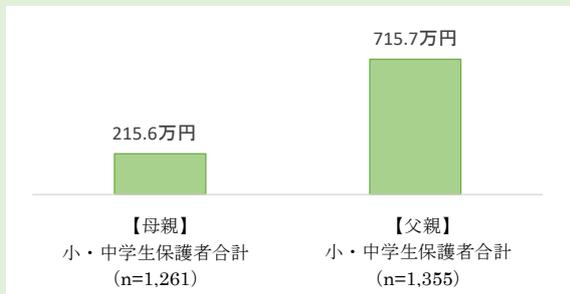


#### ⑤ 就業による収入額

1年間(2017年1月～12月)の収入額(税込)の平均値は、母親が215.6万円、父親が715.7万円となっています。

(現在仕事をしている人のみが集計対象、「0円」の回答も集計に含む)

保問 13④ 1年間の税込み収入額 (平均値)



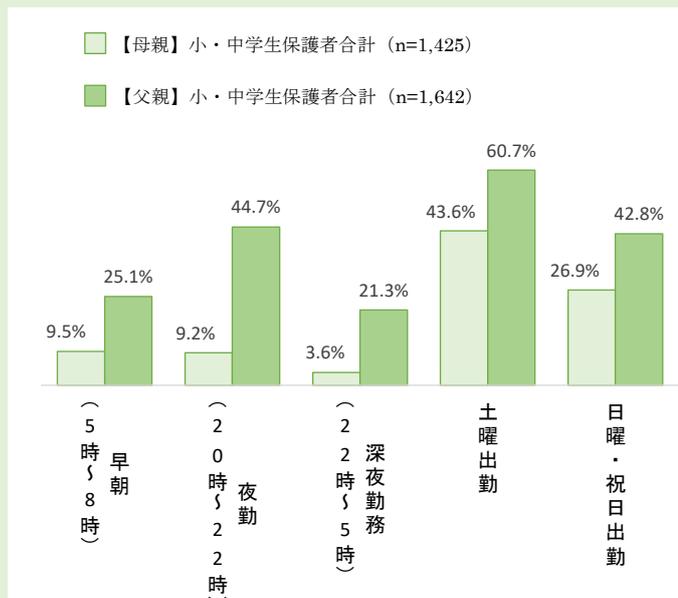
#### ⑥ 仕事の時間帯、平日日中以外での勤務の有無

1か月間の勤務の状況について、母親の約4割が「土曜出勤」をしており、約1割が「早朝(5時～8時)」や「夜勤(20時～22時)」の時間帯にさしかかる勤務をしています。

父親についてはそれぞれ母親よりも該当する人の割合が高くなっており、約6割が「土曜出勤」をしており、約2割は「深夜勤務(22時～5時)」の時間帯にさしかかる勤務をしています。

(現在仕事をしている人のみが集計対象)

保問 13⑤ 1か月の間で、以下の時間帯にさしかかる勤務や土曜日・日曜日・祝日の勤務をしたことがありますか



## 2-2 保護者の生活状況・課題

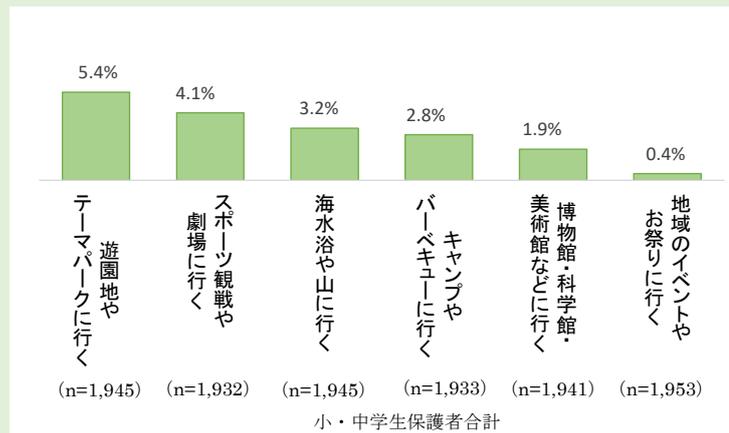
### (1)生活困窮の状況

#### ①子どもとの体験活動

過去1年の間の子どもとの体験活動について「金銭的な理由でない」と回答した割合<sup>7</sup>は、「地域のイベントやお祭りに行く」については0.4%となっています。

他方で、「遊園地やテーマパークに行く」は5.4%、「スポーツ観戦や劇場に行く」は4.1%となっています。

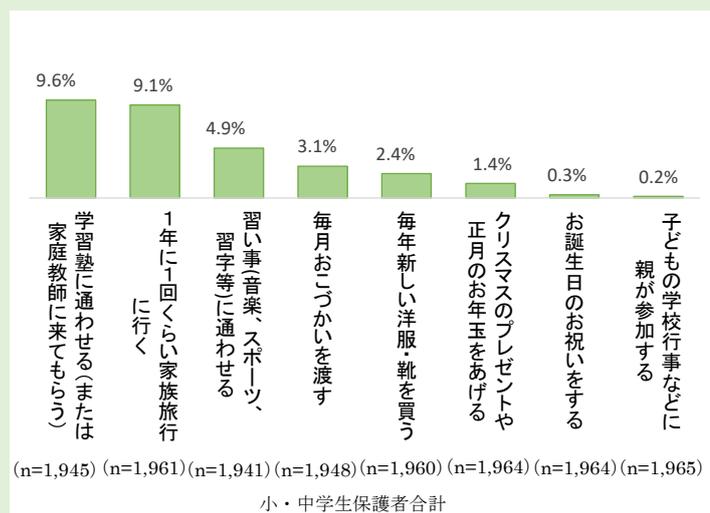
保問 17 過去1年の間に、子どもと以下のような体験をしましたか（「金銭的な理由でない」の割合）



#### ②子どもの多様な経験

子どもの家庭での経験について、「経済的にできない」と回答した割合<sup>8</sup>は、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」が9.6%、「1年に1回くらい家族旅行に行く」が9.1%、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」が4.9%となっています。

保問 18 家庭では、子どもに以下のようなことをしていますか（「経済的にできない」の割合）



<sup>7</sup> 「ある」「ない(金銭的な理由で)」「ない(時間の制約で)」「ない(その他の理由で)」の選択肢による回答のうち、「ない(金銭的な理由で)」の割合を集計しました。

<sup>8</sup> 「している」「していない(方針でない・時間的にできない等)」「していない(経済的にできない)」の選択肢による回答のうち、「していない(経済的にできない)」の割合を集計しました。

### ③公的年金、社会保障給付金の支給額

公的年金、社会保障給付金の支給額（年額）の平均値<sup>9</sup>について、各手当等を受給している場合に限った集計では、児童手当 16.5 万円、児童育成手当 25.5 万円、児童扶養手当 39.3 万円、特別児童扶養手当 45.5 万円、年金 106.1 万円、生活保護費 163.6 万円、その他の手当 26.5 万円となっています。

保問 26 公的年金、社会保障給付金の支給額  
(年額換算、平均値)

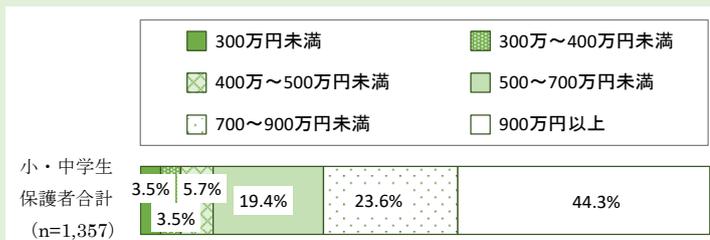
	「0円」の回答を含む		「0円」の回答を除く	
	平均額	n	平均額	n
児童手当	16.3 万円	1,687	16.5 万円	1,665
児童育成手当	1.6 万円	1,323	25.5 万円	81
児童扶養手当	1.4 万円	1,318	39.3 万円	47
特別児童扶養手当	0.7 万円	1,317	45.5 万円	20
年金	2.5 万円	1,327	106.1 万円	31
生活保護費	1.2 万円	1,322	163.6 万円	10
その他の手当	0.3 万円	1,308	26.5 万円	13

### ④世帯の年間収入額

世帯の年間収入額（2017年1月～12月、税込、公的年金と社会保障給付金を除く）は、4割以上が「900万円以上」となっています。

他方で、7.0%が「400万円未満」となっています。

保問 27 世帯の年間収入額（税込）



### ⑤暮らし向きの状況

現在の暮らしの状況に関する認識については、約5割が「普通」と回答しています。

他方で、8.8%が「大変苦しい」と回答しています。

保問 28 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか



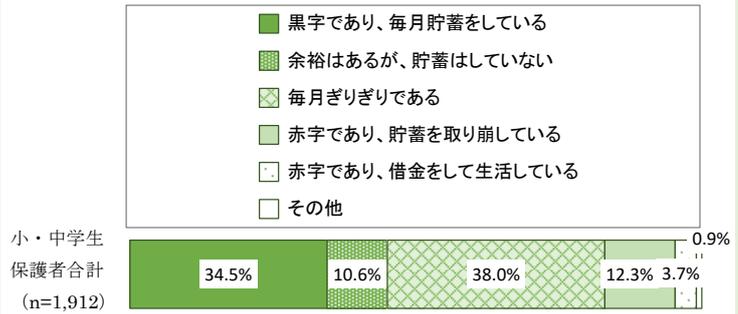
<sup>9</sup> 「1回あたりの支給額」（例えば、児童手当であれば4か月分）で回答された金額を年額換算して平均値を算出しました。手当等を受給していない「0円」の回答も集計に含めて算出した値と、「0円」の回答は除いて算出した両方を掲載しています。

## ⑥家計の状況

家計の状況について、約4割が「毎月ぎりぎりである」と回答しています。

また、12.3%が「赤字であり、貯蓄を取り崩している」、3.7%が「赤字であり、借金をして生活している」と回答しています。

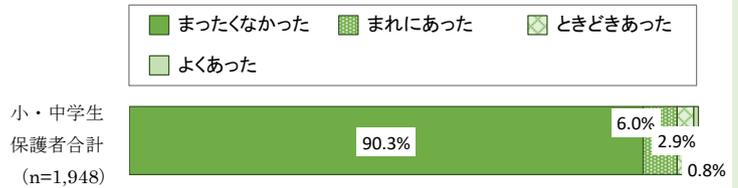
### 保問 29 家計について、最も近いものをお答えください



## ⑦食料が買えなかった経験

過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがあったかについて、「よくあった」が0.8%、「ときどきあった」が2.9%、「まれにあった」が6.0%となっています。

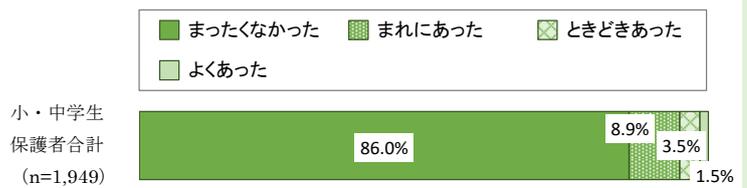
### 保問 30 必要とする食料が買えないことがありましたか



## ⑧衣類が買えなかった経験

過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣類が買えないことがあったかについて、「よくあった」が1.5%、「ときどきあった」が3.5%、「まれにあった」が8.9%となっています。

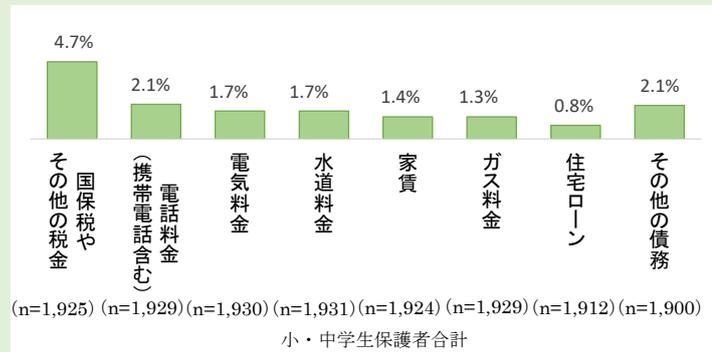
### 保問 31 必要とする衣類が買えないことがありましたか



### ⑨公共料金等の未払い

過去1年の間に、経済的な理由で公共料金等が支払えないことがあったかについて、「国保税やその他の税金」は4.7%、そのほかの料金は1～2%が「あった」と回答しています<sup>10</sup>。

保問 33 過去1年の間に、経済的な理由で以下のサービス・料金が支払えないことがありましたか（「あった」の割合）

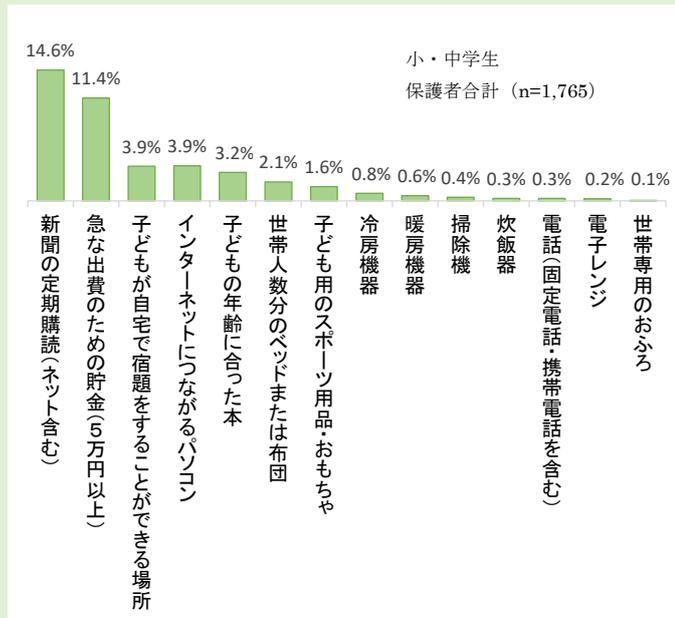


### ⑩経済的理由のために世帯にないもの

経済的理由のために世帯にないものについて、「新聞の定期購読（ネット含む）」と「急な出費のための貯金（5万円以上）」は1割以上となっています。

また、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」「インターネットにつながるパソコン」「子どもの年齢に合った本」がそれぞれ3%以上となっています。

保問 35 経済的理由のために世帯にないものはありますか



<sup>10</sup> 「あった」「なかった」「該当しない（払う必要がない）」の選択肢による回答のうち、「あった」の割合を集計しました。

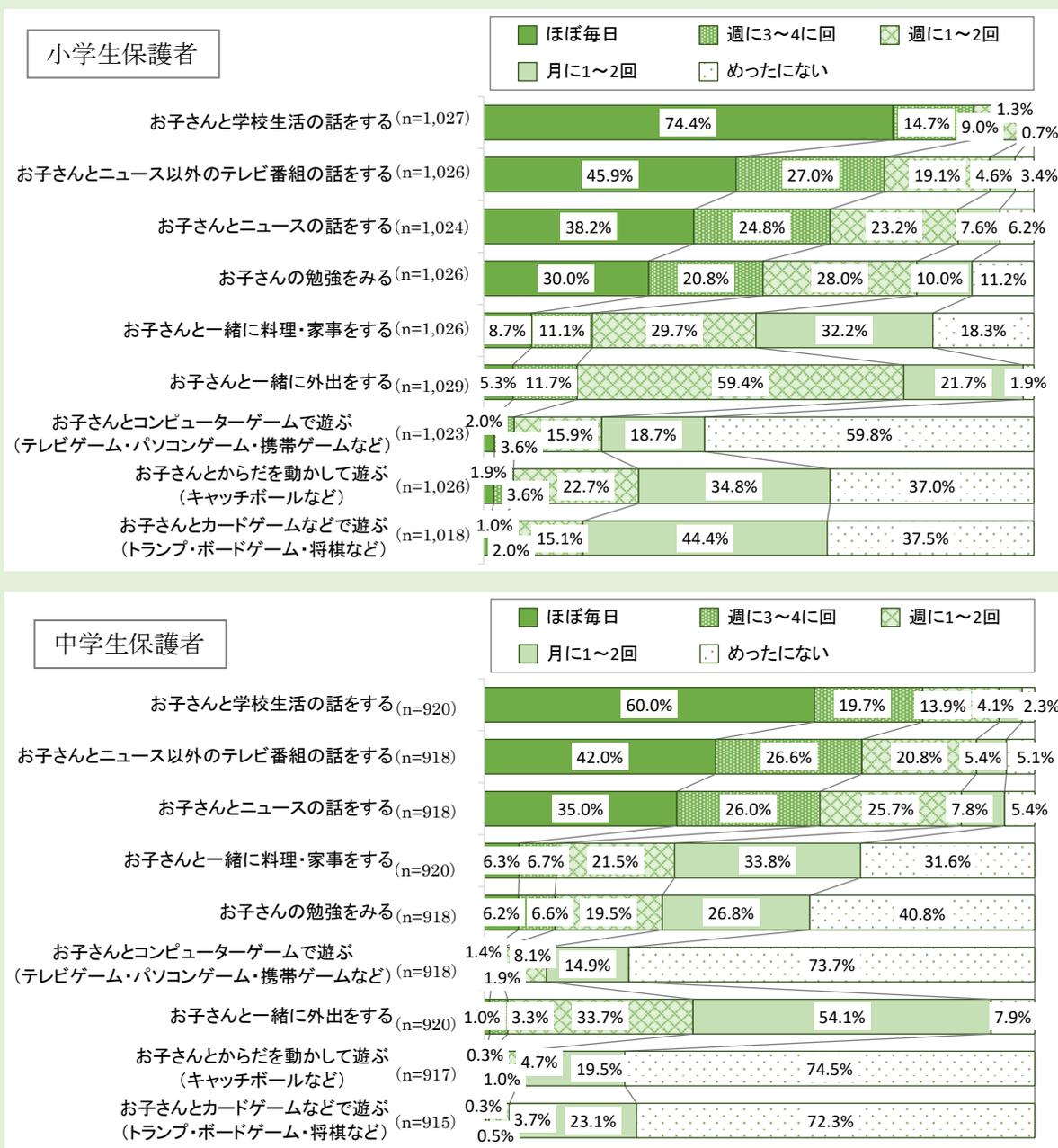
## (2)子どもと過ごす時間の制約に関する状況

### ①普段の生活での関わり方

家庭で子どもとすることの頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、小学生保護者・中学生保護者ともに、「お子さんと学校生活の話をする」が最も高く、次いで「お子さんとニュース以外のテレビ番組の話をする」「お子さんとニュースの話をする」の順となっています。

「お子さんと学校生活の話をする」について「めったにない」、又は「月に1～2回」と回答した割合は、小学生保護者では2.0%、中学生保護者では6.4%となっています。

### 問 14 家庭では、子どもと以下のことをすることがありますか

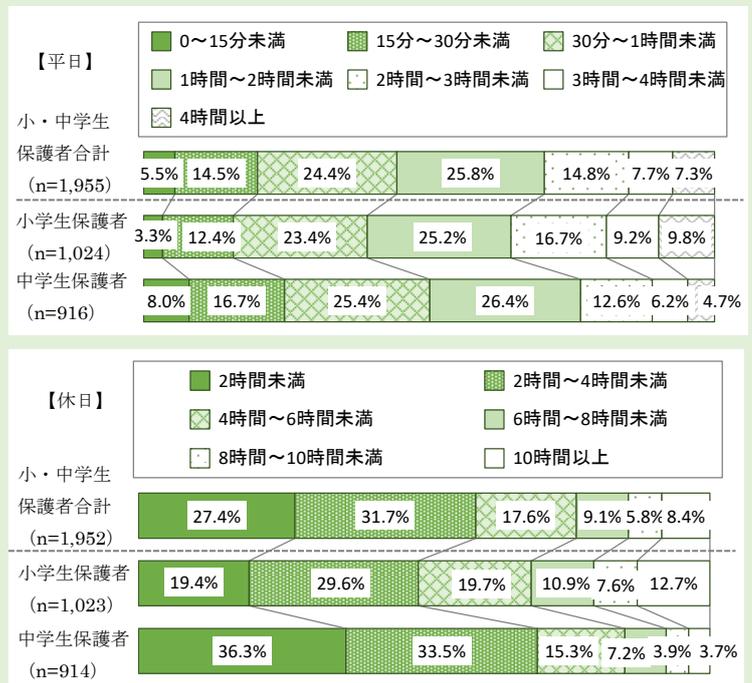


## ②子どもと一緒に過ごす時間

子どもと一緒に何かをしたり相手をしていたりしている時間について、平日は小学生保護者・中学生保護者ともに「1時間～2時間未満」の割合が最も高く、次いで「30分～1時間未満」が高くなっています。「30分未満」の割合は、小学生保護者で15.7%、中学生保護者で24.7%となっています。

休日は、小学生保護者で「2時間～4時間未満」、中学生保護者で「2時間未満」の割合が最も高くなっています。

保問 15 子どもと一緒に何かをしたり、相手をしていたりしている時間は、1日あたりどれくらいですか（平日・休日）

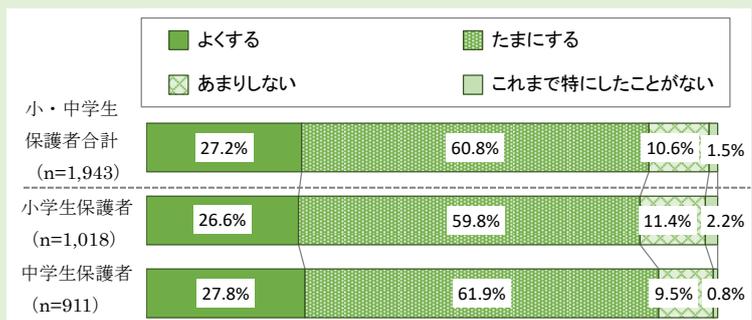


## ③将来のことに関する会話

子どもの将来（夢・進路・職業等）について一緒に考えたり話したりすることがあるかについて、小学生保護者・中学生保護者ともに「たまにする」が約6割となっています。

「あまりしない」、又は「これまで特にしたことがない」と回答した割合は、小学生保護者では13.6%、中学生保護者では10.3%となっています。

保問 16 子どもの将来（夢・進路・職業等）について、子どもと一緒に考えたり話したりすることがありますか



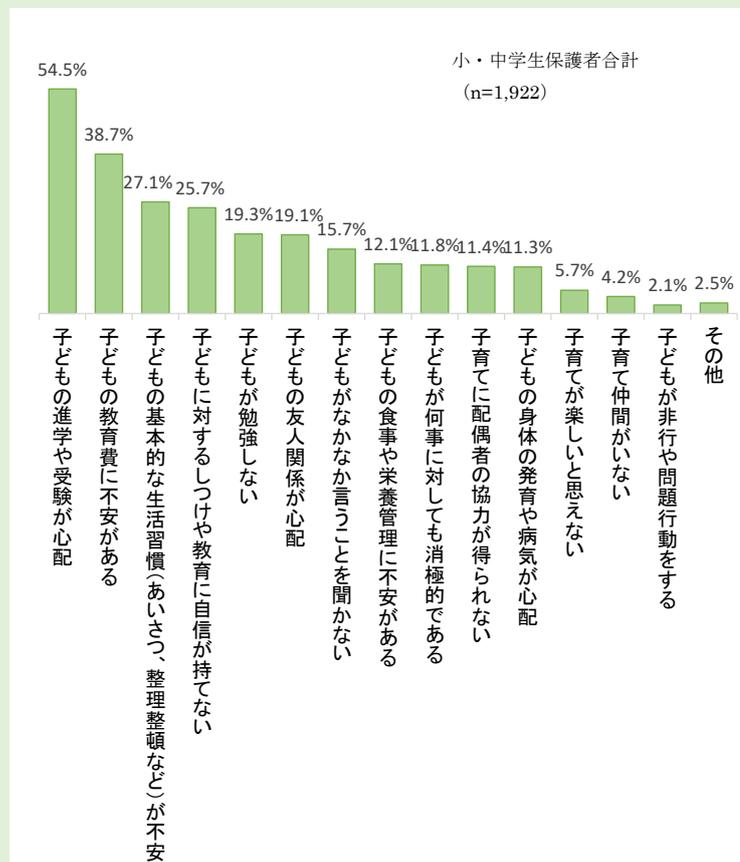
### (3)心身の不安定に関する状況

#### ①子育てに関する心配ごとや悩みごと

子育てに関する心配ごとや悩みごとは、「子どもの進学や受験が心配」(54.5%)の割合が最も高く、次いで「子どもの教育費に不安がある」(38.7%)、「子どもの基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が不安」(27.1%)、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」(25.7%)の順となっています。

また、5.7%が「子育てが楽しいと思えない」、11.4%が「子育てに配偶者の協力が得られない」、4.2%が「子育て仲間がいない」と回答しています<sup>11</sup>。

保問 20 子育てに関して心配ごとや悩みごとはありますか



#### ②健康状態

保護者の健康状態は、「よい」が約4割となっています。

他方で、8.8%が「あまりよくない」、1.0%が「よくない」と回答しています。

保問 21 あなたの健康状態



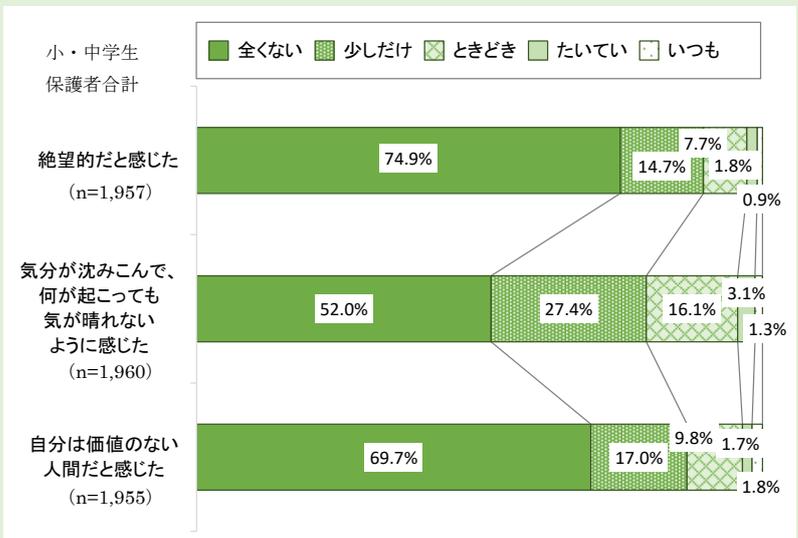
<sup>11</sup> 「子育てに配偶者の協力が得られない」「子育て仲間がいない」については、「社会的孤立・孤独な育児」の状況に関する悩みごとであると考えられます。

### ③うつ傾向

1か月の間に感じたこととして、「絶望的だと感じた」と「自分は価値のない人間だと感じた」については、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた割合が約1割となっています。

「気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた」については、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた割合が約2割となっています。

保問 23 以下のことについて、1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか

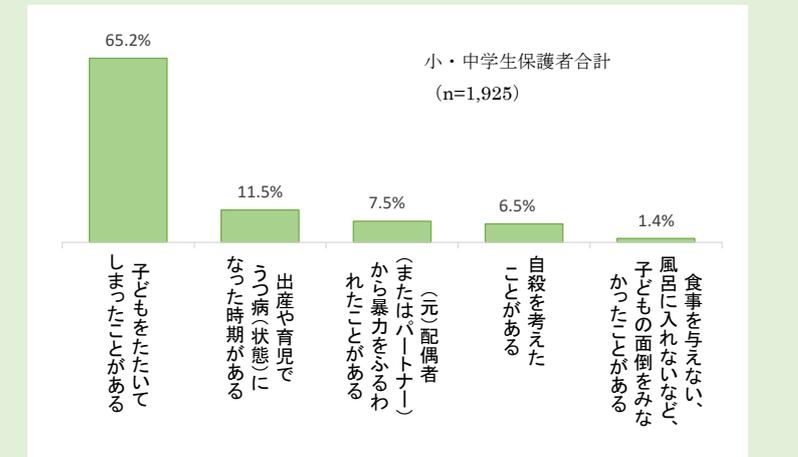


### ④子育てを始めてから経験したこと

子育てを始めてから経験したことについて、「子どもをたたいてしまったことがある」が6割以上となっています。

また、11.5%が「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」、6.5%が「自殺を考えたことがある」、1.4%が「食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみなかったことがある」と回答しています。

保問 40 子育てを始めてから、以下のような経験をしたことがありますか



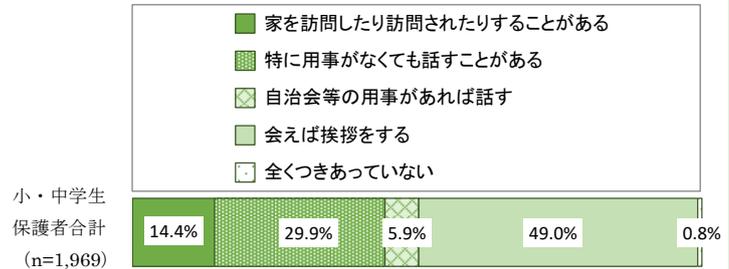
## (4)社会的孤立・孤独な育児の状況

### ①近所づきあい

近所づきあいの状況は、「会えば挨拶をする」が約5割となっています。

一方、0.8%が「全くつきあっていない」と回答しています。

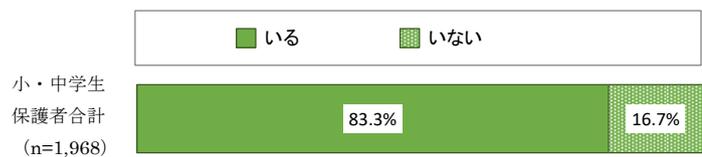
保問7 近所づきあいをどの程度していますか



### ②頼れる親族や友人の有無

子どもが病気の時や自身の用事するときなどに頼れる親族や友人がいるかについては、16.7%が「いない」と回答しています。

保問8 頼れる親族や友人などがいますか

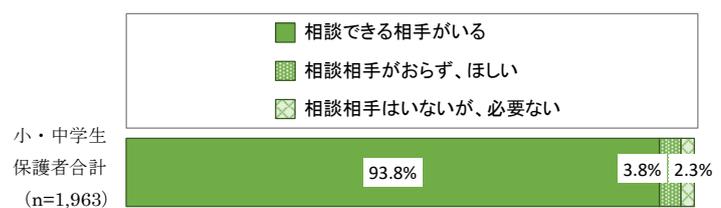


### ③相談できる人の有無

本当に困ったときや悩みがあるときに相談できる人がいるかについて、9割以上は「相談できる相手がいる」と回答しています。

他方で、3.8%は「相談相手がおらず、ほしい」、2.3%は「相談相手はいないが、必要ない」と回答しています。

保問9 本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親族、同僚など）がいますか

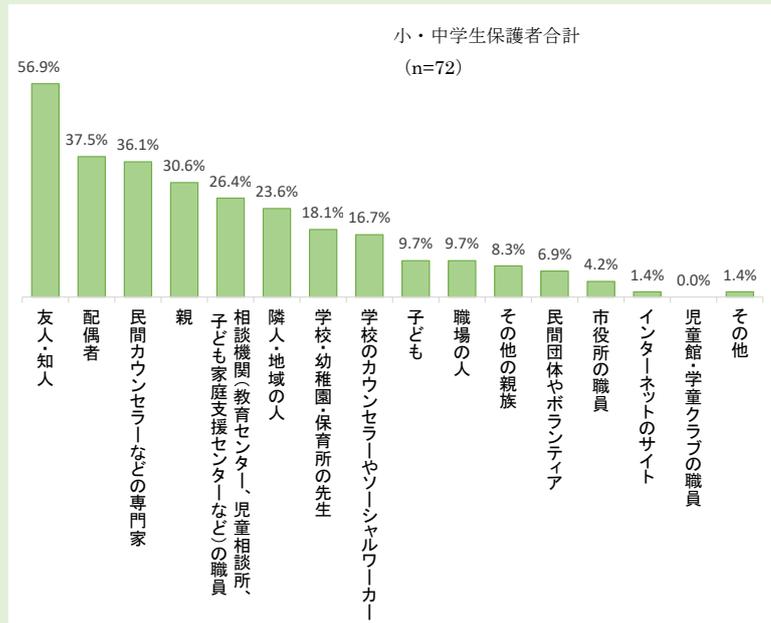


#### ④相談相手

「相談相手がおらず、ほしい」と回答した人が、どのような相手に相談をしたいと思っているかについては、「友人・知人」(56.9%)の回答割合が最も高くなっています。

次いで、「配偶者」(37.5%)、「民間カウンセラーなどの専門家」(36.1%)、「親」(30.6%)、「相談機関(教育センター、児童相談所、子ども家庭支援センターなど)の職員」(26.4%)、「隣人・地域の人」(23.6%)の順となっています。

保問 9-1 どのような相手に相談したいと思いますか



## (5)-1 困難の重なり状況

### ① 「養育困難層」分類による把握

「子どもと過ごす時間の制約」「心身の不安定」「社会的孤立・孤独な育児」の状況を踏まえ、次の方法により「養育困難層」の定義・分類を行ったところ、該当する世帯の割合は18.8%（周辺層14.4%、困窮層4.4%）でした<sup>12</sup>。

なお、小学生保護者よりも中学生保護者の方が該当世帯の割合が高く、ひとり親世帯では該当する世帯の割合が3割以上となっています。

### <本市における「養育困難層」分類の基準>

①時間の制約	次の要件のうち、2つ以上に該当 「1 平日に子どもと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が30分未満」 「2 子どもと学校生活の話をする事が『めったにない』、又は『月に1~2回』」 「3 子どもの将来について、子どもと一緒に考えたり話したりすることを『これまで特にしたことがない』、又は『あまりしない』」 「4 母親・父親のいずれか、又は両方が複数の仕事を掛け持ちしている」
②不安定	次の要件のうち、2つ以上に該当 「1 健康状態が『よくない』、又は『あまりよくない』」 「2 心配ごとや悩みごとについて『子育てが楽しいと思えない』と回答」 「3 ここ1か月の間に『絶望的だと感じた』ことが『いつも』、又は『たいてい』」 「4 ここ1か月の間に『気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた』ことが『いつも』、又は『たいてい』」 「5 ここ1か月の間に『自分は価値のない人間だと感じた』ことが『いつも』、又は『たいてい』」 「6 子育てを始めてから、『食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみなかったことがある』と回答」 「7 子育てを始めてから、『出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある』と回答」 「8 子育てを始めてから、『自殺を考えたことがある』と回答」
③孤立・孤独	次の要件のうち、2つ以上に該当 「1 近所づきあいについて『全くつきあっていない』」 「2 子どもが病気の時や自身が用事の時などに、頼れる親族や友人などが『いない』」 「3 本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人が『いない』」 「4 心配ごとや悩みごとについて『子育て仲間がいない』と回答」 「5 心配ごとや悩みごとについて『子育てに配偶者の協力が得られない』と回答」
養育困難層 （困窮層・周辺層）、 一般層	「時間の制約」「不安定」「孤立・孤独」の3つの要素のうち、2つ以上の要素に該当する場合は「困窮層」、いずれか1つの要素に該当する場合は「周辺層」、いずれの要素にも該当しない場合は「一般層」として分類

### <「養育困難層」に該当する割合>

	小・中学生合計	小学生（5年生）	中学生（2年生）	ひとり親世帯 （小・中学生合計）
養育困難層	18.8%	17.5%	20.2%	30.6%
困窮層	4.4%	3.8%	5.0%	12.9%
周辺層	14.4%	13.6%	15.2%	17.7%
一般層	81.2%	82.5%	79.8%	69.4%

<sup>12</sup> この数値は、困難の重なりを分析するため、「養育困難層」と次ページの「生活困難層」の分類要件としている設問全てに回答しており、分類ができたものについて集計を行ったものです。

## ②「生活困難層」分類による把握

東京都では、平成28年度に、墨田区、豊島区、調布市、日野市の子どもと保護者を対象とした調査結果を基に、「低所得」「家計の逼迫」「子どもの体験や所有物の欠如」の3つの要素により、「生活困難層」の分類が行われています。

本市でも、同様の方法<sup>13</sup>により「生活困難層」の分類・集計を行ったところ、該当する世帯の割合は12.3%（周辺層 8.5%、困窮層 3.8%）でした。「生活困難層」についても、ひとり親世帯では該当する世帯の割合が3割以上となっています。

### <本市における「生活困難層」分類の基準>

①低所得	等価世帯所得が厚生労働省「平成29年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 (基準は世帯所得の中央値 442万円÷√平均世帯人数(2.47人)×50%=140.6万円)
②家計の逼迫	経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上に該当
③子どもの体験や所有物の欠如	子どもの体験や所有物などに関する次の15項目のうち、金銭的な理由・経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上 「1 海水浴や山に行く」 「2 博物館・科学館・美術館などに行く」 「3 キャンプやバーベキューに行く」 「4 スポーツ観戦や劇場に行く」 「5 遊園地やテーマパークに行く」 「6 毎月おこづかいを渡す」 「7 毎年新しい洋服・靴を買う」 「8 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」 「9 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」 「10 お誕生日のお祝いをする」 「11 1年に1回くらい家族旅行に行く」 「12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」 「13 子どもの年齢に合った本」 「14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」 「15 子どもが自宅で宿題をすることができる場所」
生活困難層(困窮層・周辺層)、一般層	「低所得」「家計の逼迫」「子どもの体験や所有物の欠如」の3つの要素のうち、2つ以上の要素に該当する場合を「困窮層」、いずれか1つの要素に該当する場合を「周辺層」、いずれの要素にも該当しない場合を「一般層」として分類

### <「生活困難層」に該当する割合>

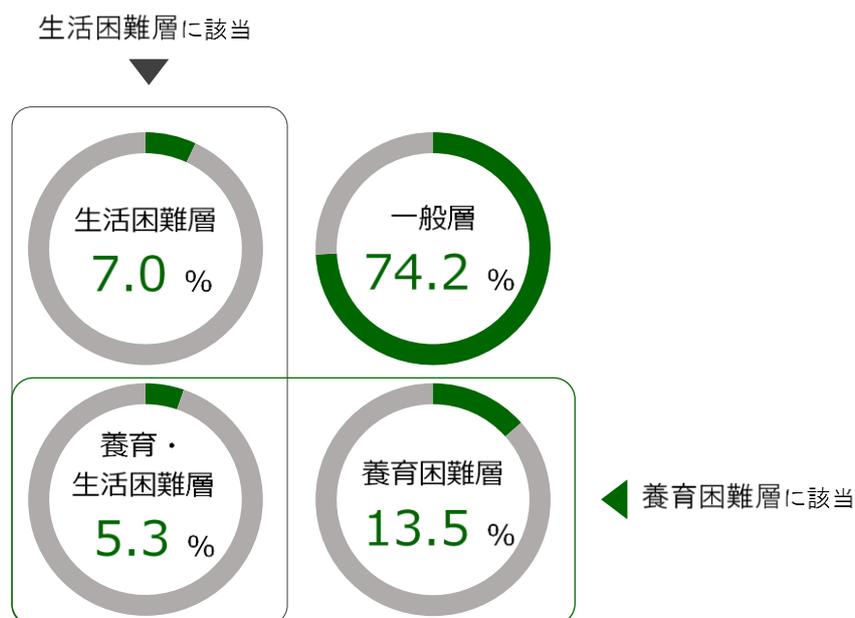
	小・中学生合計	小学生(5年生)	中学生(2年生)	ひとり親世帯 (小・中学生合計)
生活困難層	12.3%	10.0%	15.0%	32.3%
困窮層	3.8%	3.1%	4.6%	16.1%
周辺層	8.5%	6.9%	10.4%	16.1%
一般層	87.7%	90.0%	85.0%	67.7%

<sup>13</sup> 調査実施年度が異なるため「低所得」の基準として参照している所得額の金額が異なること、「子どもの体験や所有物の欠如」に関する項目や選択肢のワーディングを一部変更していること、世帯の年間収入の聞き方が異なることなど、若干異なる方法で実施をしていることから、完全に同一の方法ではありません。なお、本市の数値は、「養育困難層」と「生活困難層」の分類要件としている設問全てに回答しており、分類ができたものについて集計を行ったものです。

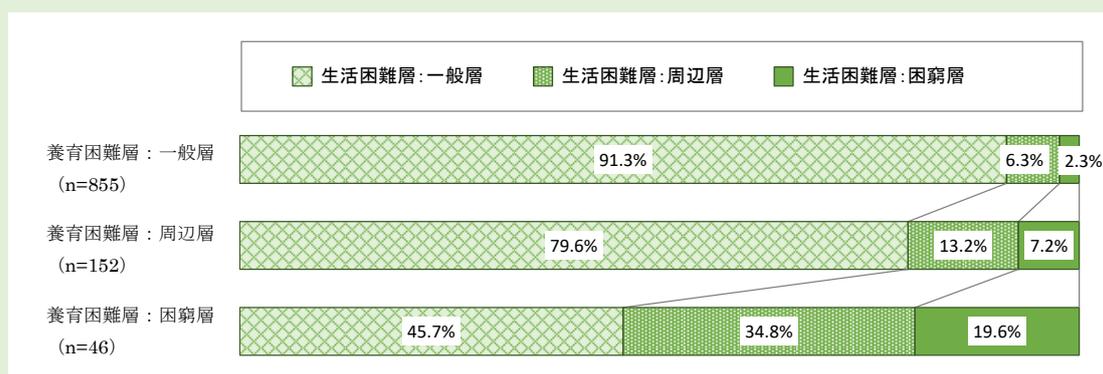
### ③ 「養育困難層」と「生活困難層」との重なる状況

「養育困難層」と「生活困難層」との重なる状況を把握したところ、「養育困難層」の分類上、一般層、周辺層、困窮層の順に「生活困難層」に該当する割合が高くなっていくことから、関連性が高いことがわかりました。約4分の1の家庭が養育困難層・生活困難層のいずれかに該当しており、ともに該当する家庭は約5%となっています。

<困難の重なりによる4類型<sup>14</sup>>



### 「養育困難層」の分類による「生活困難層」に該当する割合



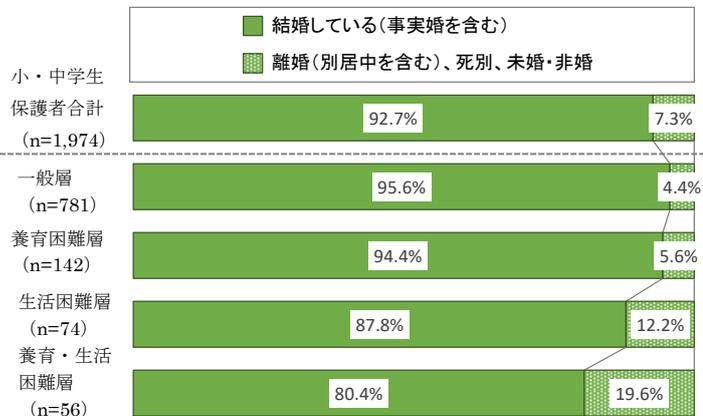
<sup>14</sup> 本報告書では、これ以降「困難の重なりによる4類型」別のクロス集計の結果を掲載しますが、その際、「養育困難層」と「生活困難層」にともに該当する場合を「養育・生活困難層」とし、いずれかのみに該当する場合を「養育困難層」、又は「生活困難層」、いずれも該当しない場合を「一般層」と表記します。

## (5)-2 困難の重なりによる4類型別の生活状況

### ① 婚姻状況

婚姻状況について、養育・生活困難層の家庭は、ひとり親世帯である割合が他の類型と比べて高くなっています。

#### 保 問 4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください



## ②どの段階までの教育を受けさせたいか

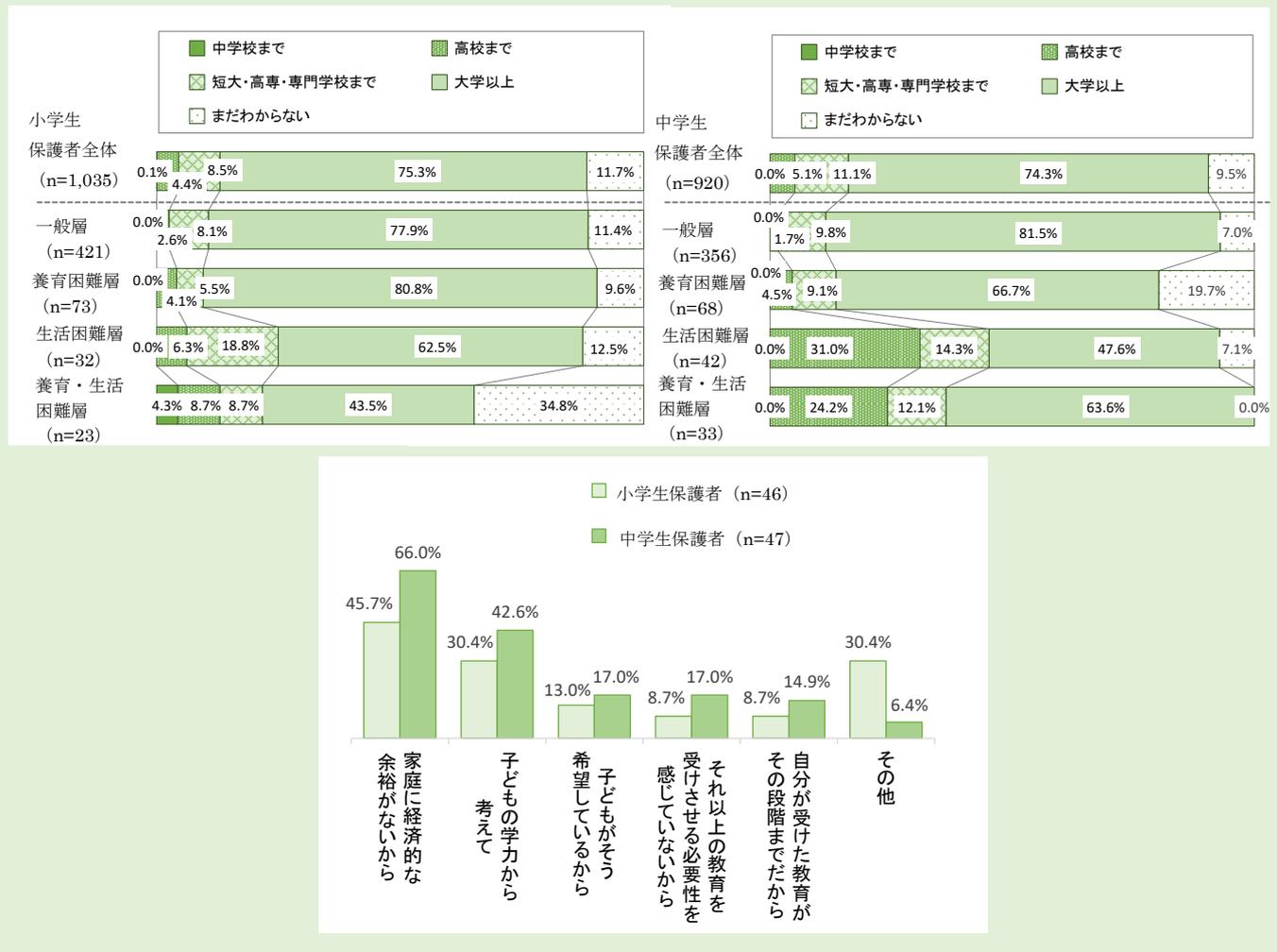
保護者が子どもにどの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについて、小学生保護者・中学生保護者ともに、「大学以上」が7割以上となっており、「中学校まで」<sup>15</sup>、又は「高校まで」が約5%、「短大・高専・専門学校まで」が約1割、「まだわからない」が約1割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生保護者・中学生保護者ともに、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭で「中学校まで」、又は「高校まで」の割合が比較的高くなっています。小学生の養育・生活困難層の保護者では「まだわからない」の割合も高くなっています。

「中学校まで」、又は「高校まで」と考える理由は、小学生保護者・中学生保護者ともに、「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が最も高くなっています<sup>16</sup>。なお、小学生保護者では、「その他」の割合も比較的高くなっています。

### 問 10 子どもにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか

#### 問 10-1 「中学校まで」「高校まで」と考える理由は何ですか



<sup>15</sup> 「中学まで」の回答は小学生保護者で1件となっています。

<sup>16</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する家庭の保護者だけでなく、どの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについて「中学まで」、又は「高校まで」と回答した全ての保護者に関する集計結果です。

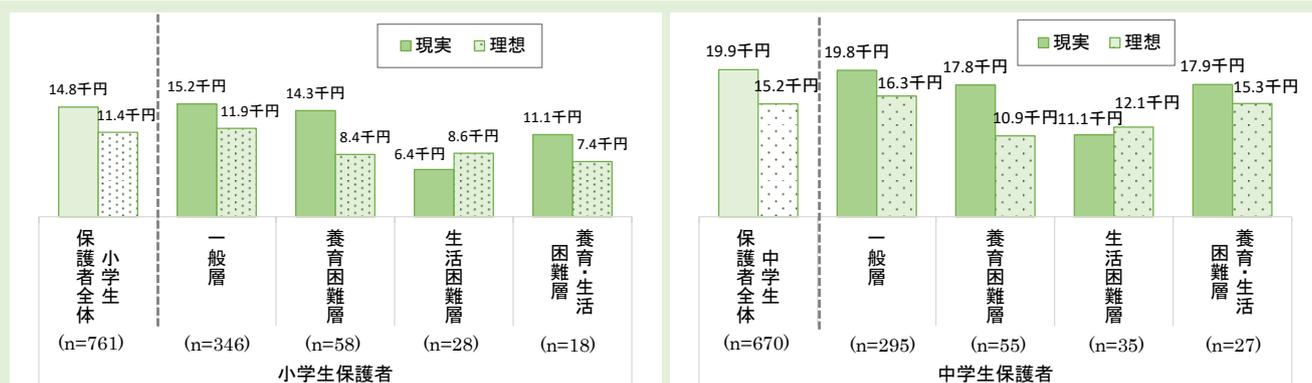
### ③子どもの生活費や学費の金額

子どもの生活費や学費について、1か月あたり実際にかかっている金額の平均値<sup>17</sup>は、「塾など、学校外でかかる教育費」は小学生約1万4,800円、中学生約1万9,900円となっています。同様に、「習い事、スポーツクラブ、学童クラブなどの費用」は小学生約9,500円、中学生約5,300円、「子どもの服・靴」は小学生約4,400円、中学生約5,100円、「おこづかい」は小学生約500円、中学生約1,700円、「携帯・スマートフォンの代金」は小学生約1,000円、中学生約3,100円、「将来使うための教育資金の貯蓄」は小学生約1万3,700円、中学生約1万3,100円となっています。

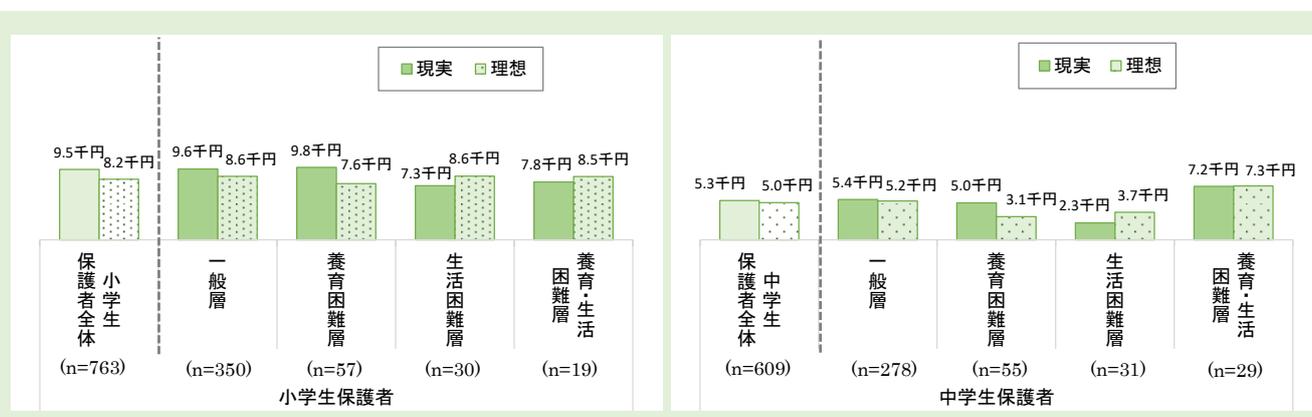
小学生・中学生ともに、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭では、「塾など、学校外でかかる教育費」が比較的低くなっています。小学生では、「おこづかい」や「携帯・スマートフォンの代金」は、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭のほうが比較的高くなっています。

また、実際のコストと理想のコストとを比較すると、「将来使うための教育資金の貯蓄」は、困難の重なりによる4タイプのいずれでも、理想のコストのほうが高くなっています。

問 11A 塾など、学校外でかかる教育費（1か月あたりの実際のコスト・理想のコスト、平均値）

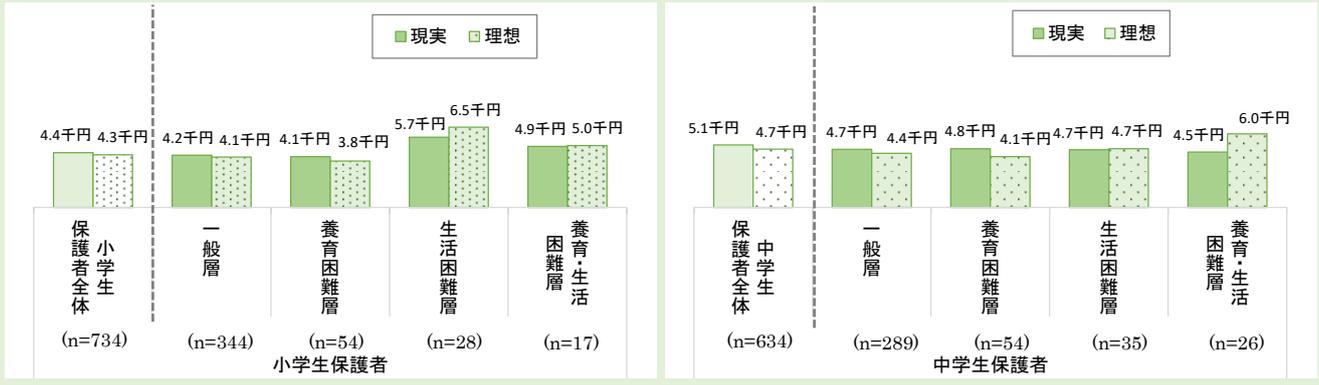


問 11B 習い事、スポーツクラブ、学童クラブなどの費用（1か月あたりの実際のコスト・理想のコスト、平均値）

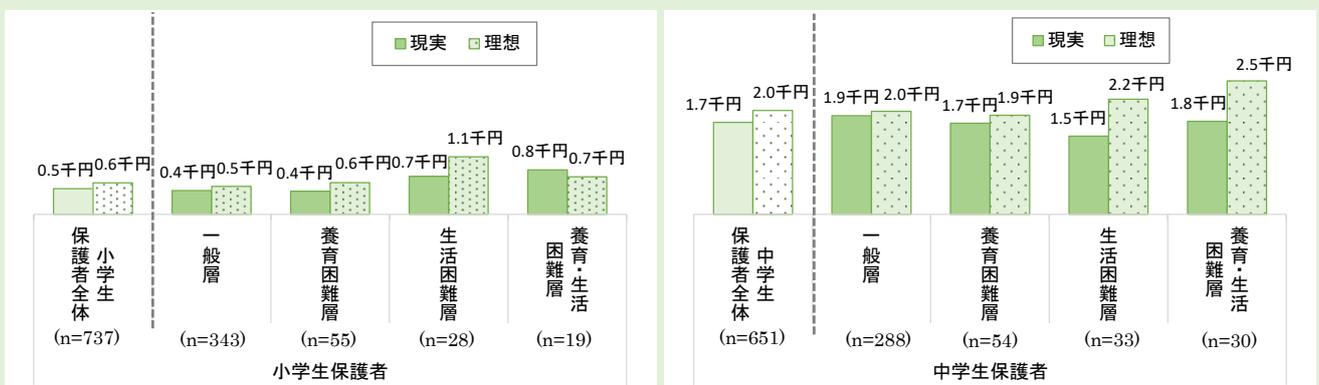


<sup>17</sup> 費用の項目ごとに、「実際にかかっている金額」と「理想のコスト」の両方に回答があった者を集計対象とし、それぞれ平均値を算出しました。「0円」の回答も集計の対象としています。

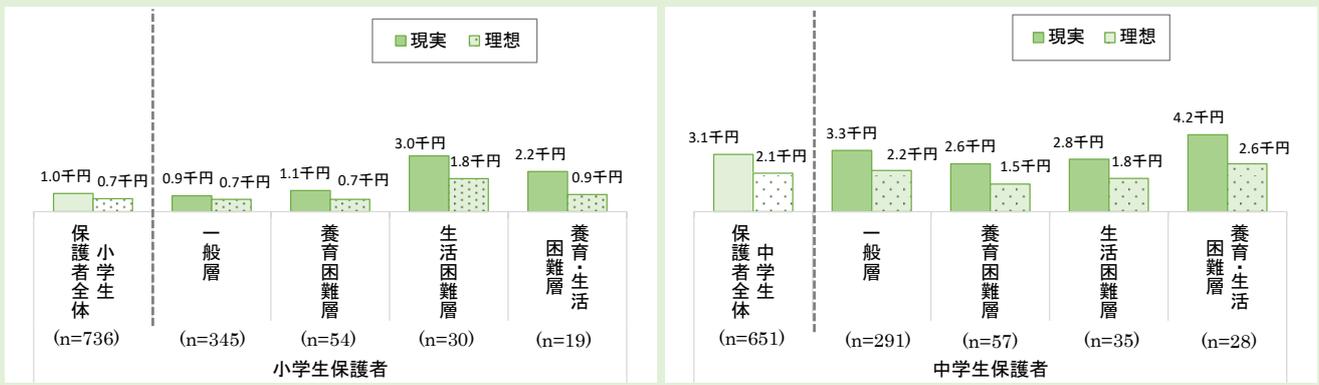
問 11C 子どもの服・靴（1か月あたりの実際の金額・理想の金額、平均値）



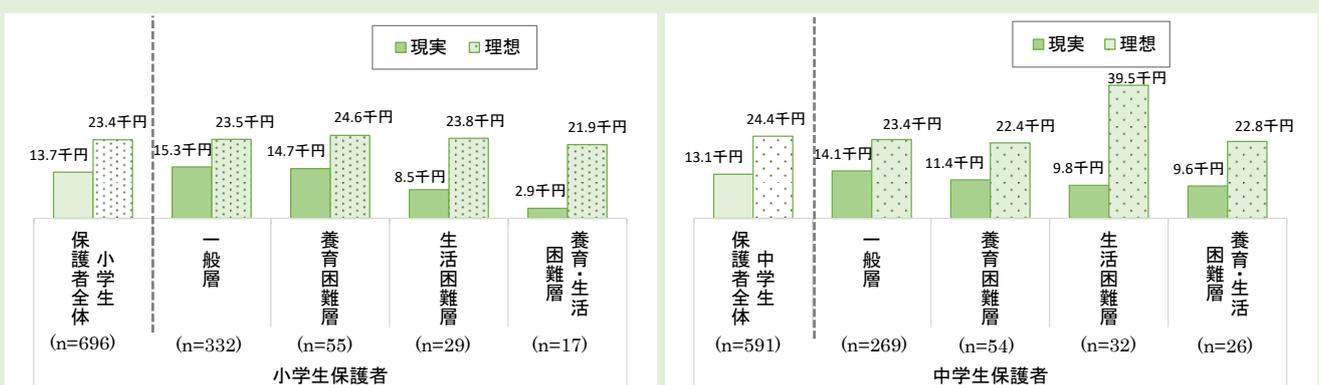
問 11D おこづかい（1か月あたりの実際の金額・理想の金額、平均値）



問 11E 携帯・スマートフォンの代金（1か月あたりの実際の金額・理想の金額、平均値）



問 11F 将来使うための教育資金の貯蓄（1か月あたりの実際の金額・理想の金額、平均値）

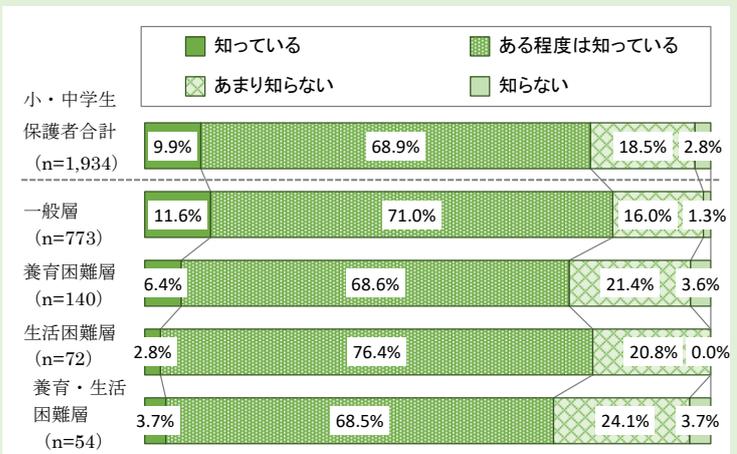


#### ④必要となる教育費の認知度

子どもが社会人になるまでに必要になる教育費がどれくらいであるか知っているかについて、「知っている」が約1割、「ある程度は知っている」が約7割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層で、「知らない」、又は「あまり知らない」の割合が他の類型と比べて高くなっています。

保問 12 子どもが社会人になるまでに必要になる教育費がどれくらいか知っていますか

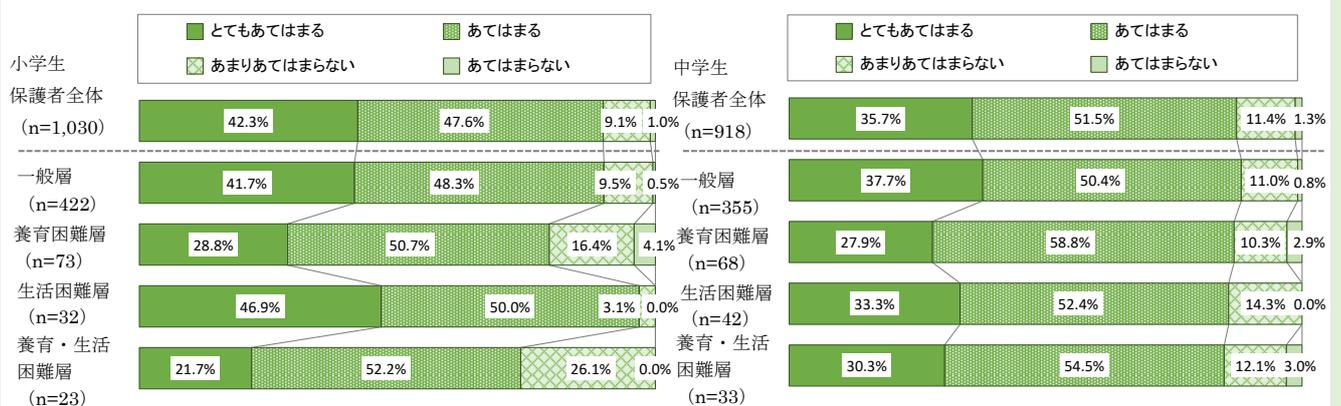


#### ⑤子どもの性格等に対する認識

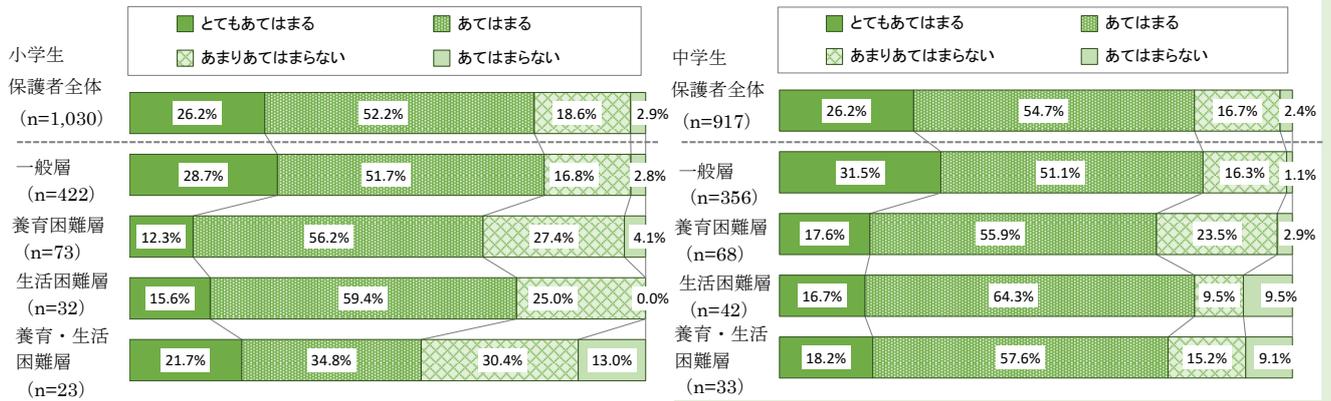
保護者が子どものことをどのように思っているかについて、「とてもあてはまる」、又は「あてはまる」の割合は、「何事にもがんばって取り組んでいる」「信頼できる」「将来が楽しみである」については約9割、「嫌なことがあっても気持ちを切りかえることができる」については約8割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生の養育・生活困難層の保護者で「とてもあてはまる」、又は「あてはまる」の割合が他の類型と比べて低い傾向があります。中学生保護者についても、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭では、「とてもあてはまる」、又は「あてはまる」の割合が比較的低くなっています。

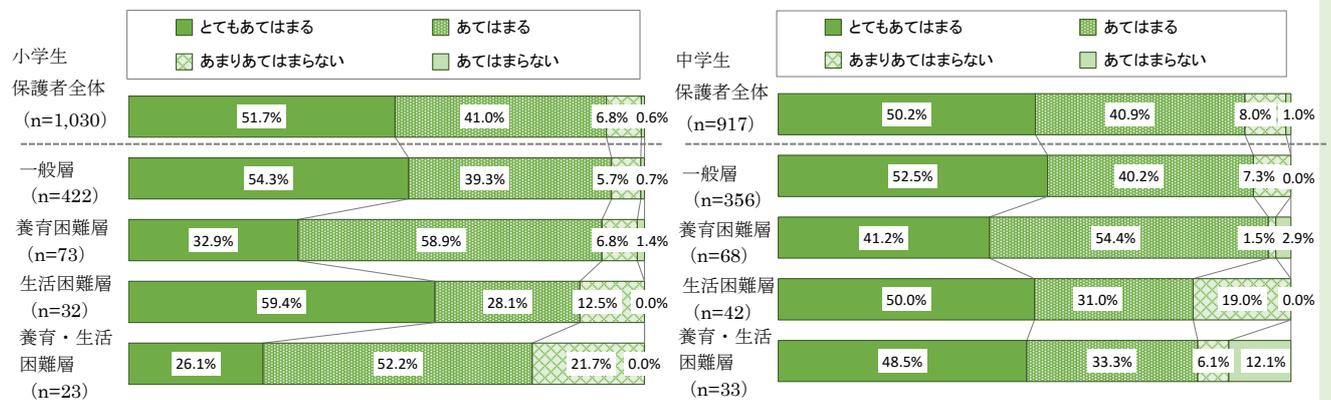
保問 19A 子どもについての認識「何事にもがんばって取り組んでいる」



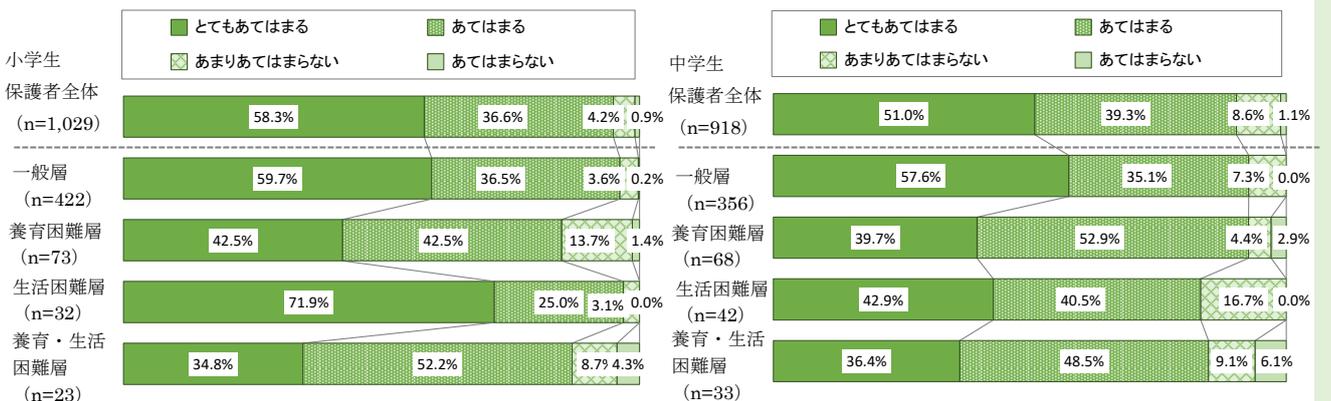
問 19B 子どもについての認識「嫌なことがあっても気持ちを切りかえることができる」



問 19C 子どもについての認識「信頼できる」



問 19D 子どもについての認識「将来が楽しみである」

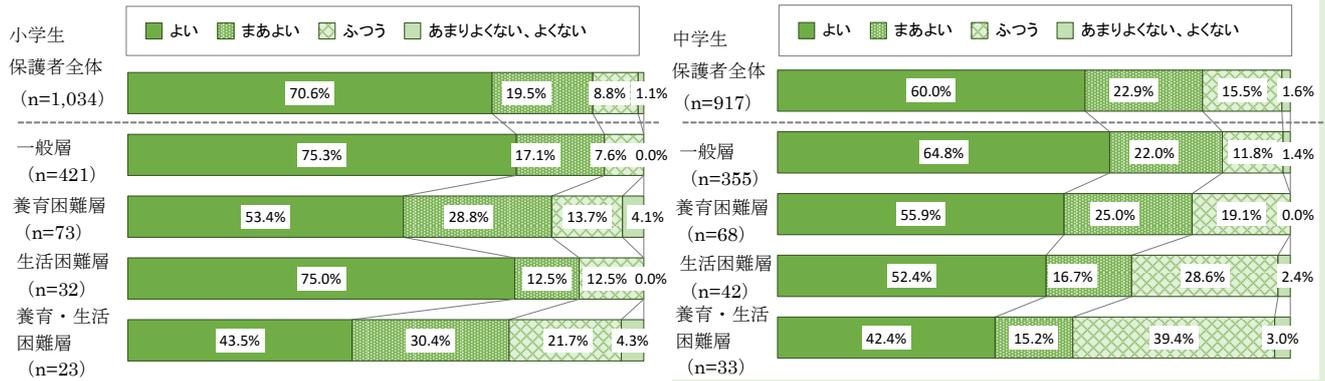


## ⑥子どもの健康状態に関する認識

子どもの健康状態を保護者がどのように認識しているかについて、小学生で約7割、中学生で約6割が「よい」と回答しています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生保護者・中学生保護者ともに、養育・生活困難層の家庭で「よい」の割合が他の類型と比べて低くなっています。

### 問 21 子どもの健康状態

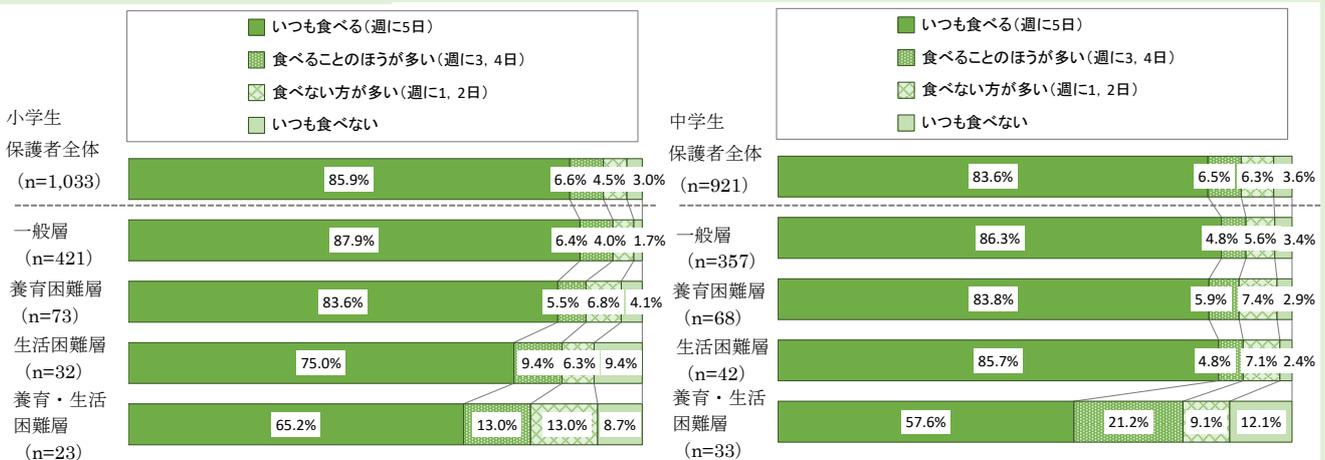


## ⑦朝ごはんの摂取

保護者が平日に朝ごはんを食べるかについて、小学生保護者・中学生保護者ともに、8割以上が「いつも食べる（週に5日）」と回答しています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生保護者・中学生保護者ともに、養育・生活困難層の家庭で「いつも食べる（週に5日）」の割合が他の類型と比べて低くなっています。

### 問 22 平日（お子さんが学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか



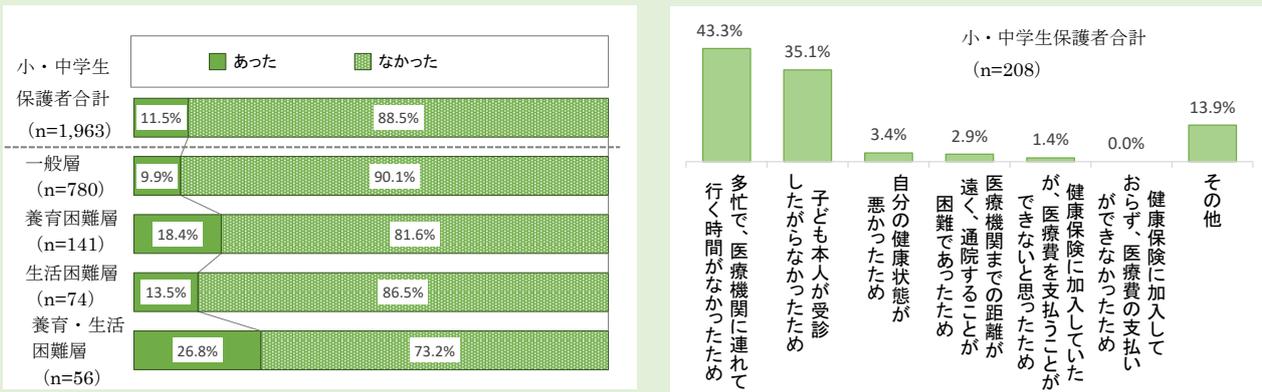
## ⑧医療機関の受診状況

過去1年の間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが実際には受診させなかったことがあるかについて、約1割が「あった」と回答しています。困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭で「あった」と回答した割合が他の類型と比べて高くなっています。

受診させなかった理由については、「多忙で、医療機関に連れていく時間がなかったため」の割合が最も高く、次いで「子ども本人が受診しなかったため」が高くなっています<sup>18</sup>。

### 保問 24 1年間に、子どもを医療機関に受診させなかったことがありましたか

#### 保問 24-1 受診させなかった理由は何ですか

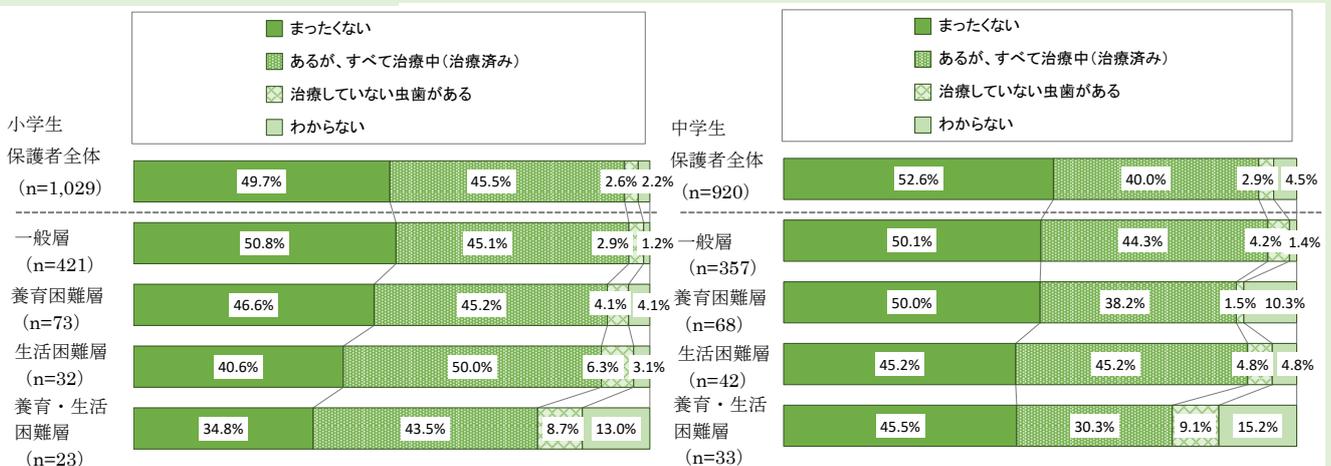


## ⑨子どものむし歯

子どものむし歯の状況について、小学生保護者・中学生保護者ともに、9割以上が「まったくない」、又は「あるが、すべて治療中（治療済み）」と回答しています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生保護者・中学生保護者ともに、養育・生活困難層の家庭で「治療していないむし歯がある」、又は「わからない」と回答した割合が他の類型と比べて高くなっています。

### 保問 25 子どもにむし歯がありますか

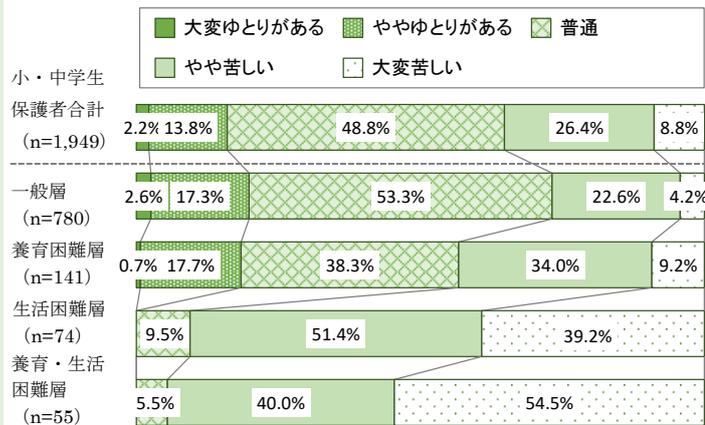


<sup>18</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する家庭の保護者だけでなく、子どもを医療機関に受診させなかったことが「あった」と回答した全ての保護者に関する集計結果です。

## ⑩暮らし向きの状況

困難の重なりによる4類型別に、保護者が現在の暮らしの状況をどのように認識しているかを集計すると、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭では、生活が「苦しい」と回答した割合が比較的高くなっており、特に養育・生活困難層の家庭では「大変苦しい」の割合が5割を超えています。

保問 28 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

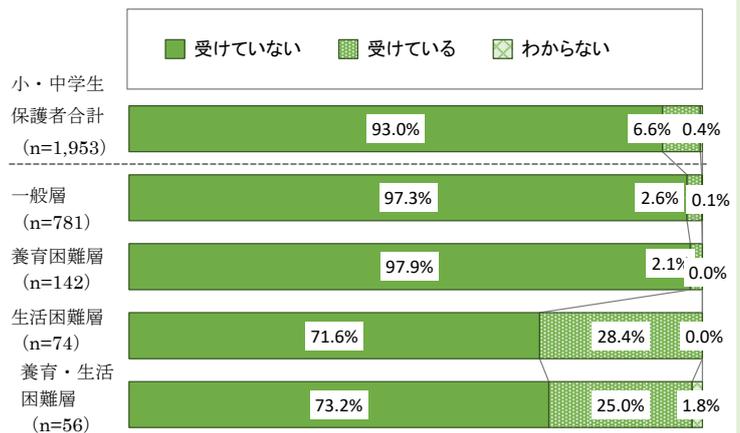


## ⑪就学援助の受給の有無

就学援助を受けているかについては、約1割が「受けている」と回答しています。

困難の重なりによる4類型別では、生活困難層や養育・生活困難層の家庭で「受けている」の割合が比較的高く、約3割となっています。

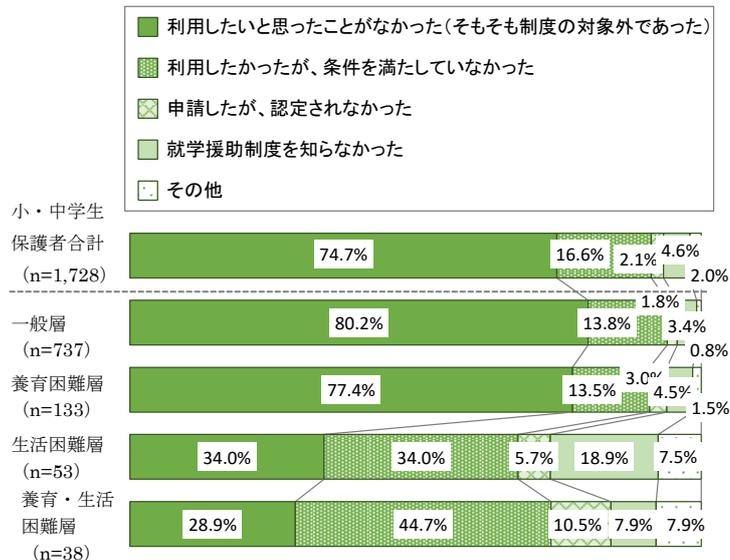
保問 32 家庭では、就学援助を受けていますか



## ⑫就学援助を受けていない理由

就学援助を受けていない理由<sup>19</sup>は、生活困難層や養育・生活困難層の家庭では「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「申請したが、認定されなかった」「就学援助制度を知らなかった」「その他」の割合が比較的高くなっています。

### 保問 32-1 受けていない理由は何ですか

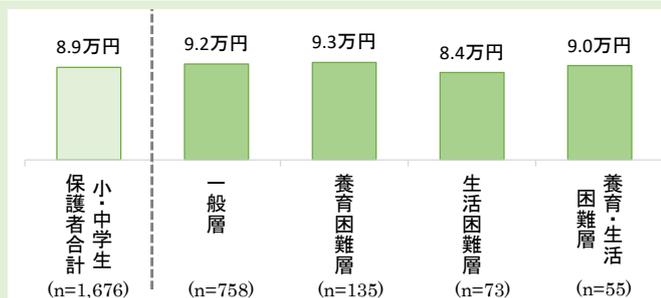


## ⑬居住費負担

1 か月あたりの居住費負担の平均値<sup>20</sup>は、約 8.9 万円となっています。

(困難の重なりによる 4 類型別に統計的な有意差なし)

### 保問 34 1 か月あたりの居住費負担 (平均値)



<sup>19</sup> ここでの「その他」の分類には、「利用したかったが、申請の仕方がわからなかった」と「利用したかったが、申請することに抵抗があった」の回答を含めて集計をしています。

<sup>20</sup> 持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸住宅や間借りの場合は家賃又は間代について回答があった金額の平均値を算出しました。持ち家と賃貸住宅・間借りの両方に回答があった場合には合算し、「0円」の回答も集計の対象としています。

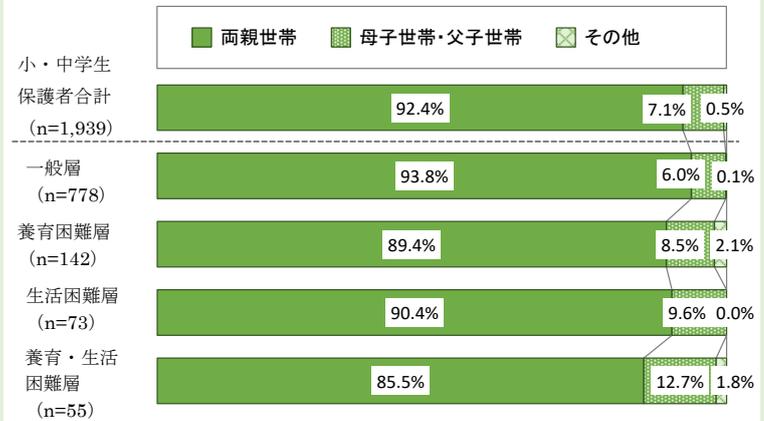
## (5)-3 困難の重なりによる4類型別の保護者の過去の生活状況

### ①15歳の頃の世帯構成

保護者が15歳の頃の家庭の様子については、「両親世帯」が9割以上となっています<sup>21</sup>。

(困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

保問36 15歳の頃の家庭の様子

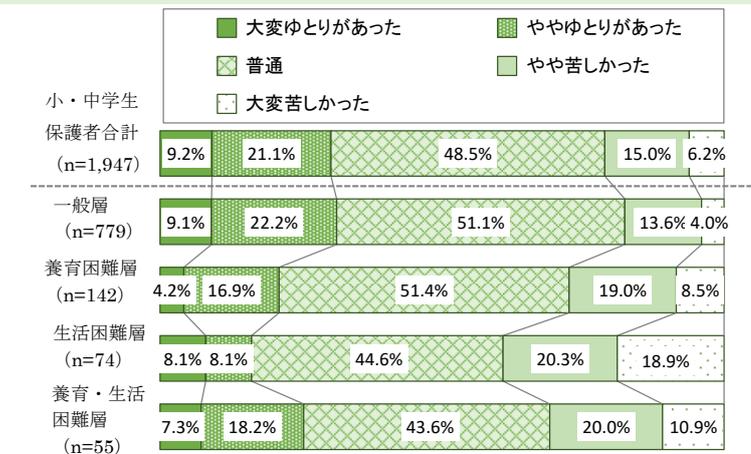


### ②15歳の頃の暮らし向き

保護者が15歳の頃の家庭の暮らし向きについては、「普通」が約5割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の保護者で「大変苦しかった」、又は「やや苦しかった」の割合が比較的高くなっています。

保問37 15歳の頃の家庭の暮らし向き



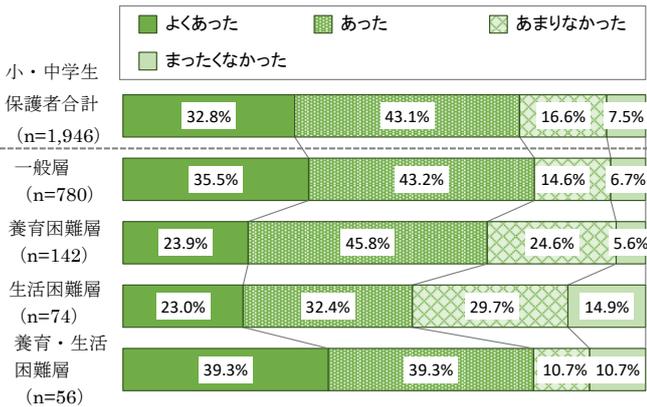
<sup>21</sup> 「両親世帯 (祖父母との同居あり)」と「両親世帯 (祖父母との同居なし)」の選択肢による回答を合わせて「両親世帯」、「母子世帯 (祖父母との同居あり)」「母子世帯 (祖父母との同居なし)」「父子世帯 (祖父母との同居あり)」「父子世帯 (祖父母との同居なし)」の選択肢による回答を合わせて「母子世帯・父子世帯」として集計しています。なお、「児童養護施設などの施設」の回答は0件でした。

### ③15 歳の頃までの体験活動

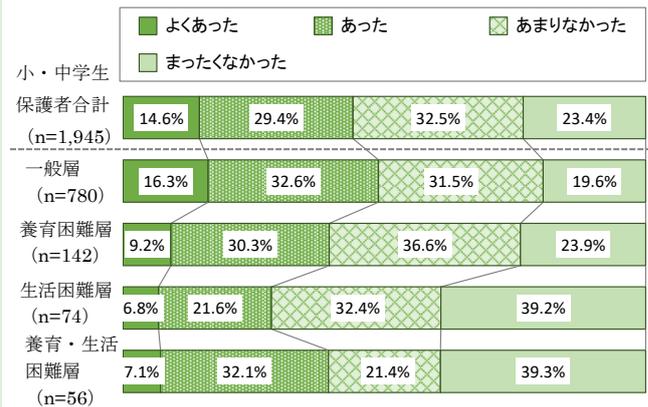
保護者が 15 歳の頃までに家族の人と体験したことについて、困難の重なりによる 4 類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の保護者で「まったくなかった」の割合が比較的高い傾向にあります。

(「キャンプやバーベキューに行く」については統計的な有意差なし)

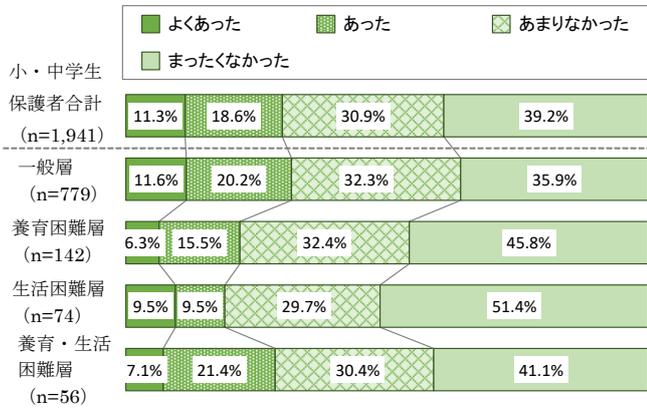
#### 保問 38A 海水浴や山に行く



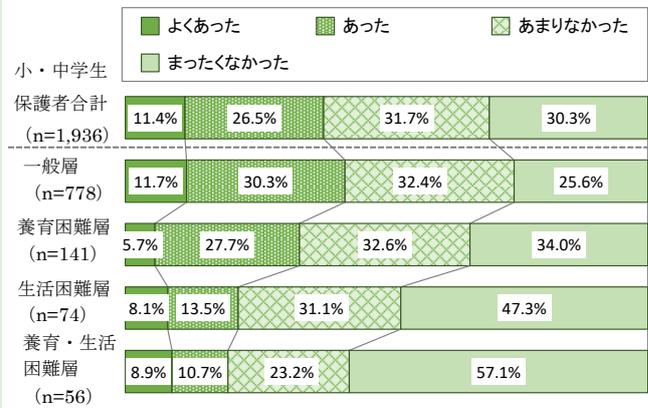
#### 保問 38B 博物館・科学館・美術館などに行く



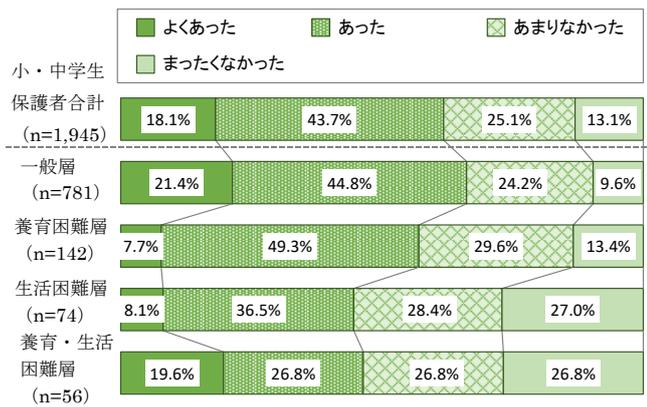
#### 保問 38C キャンプやバーベキューに行く



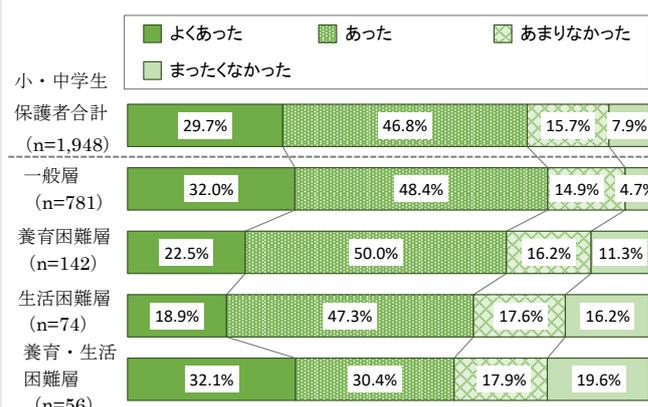
#### 保問 38D スポーツ観戦や劇場に行く



#### 保問 38E 遊園地やテーマパークに行く



#### 保問 38F 地域のイベントやお祭りに行く

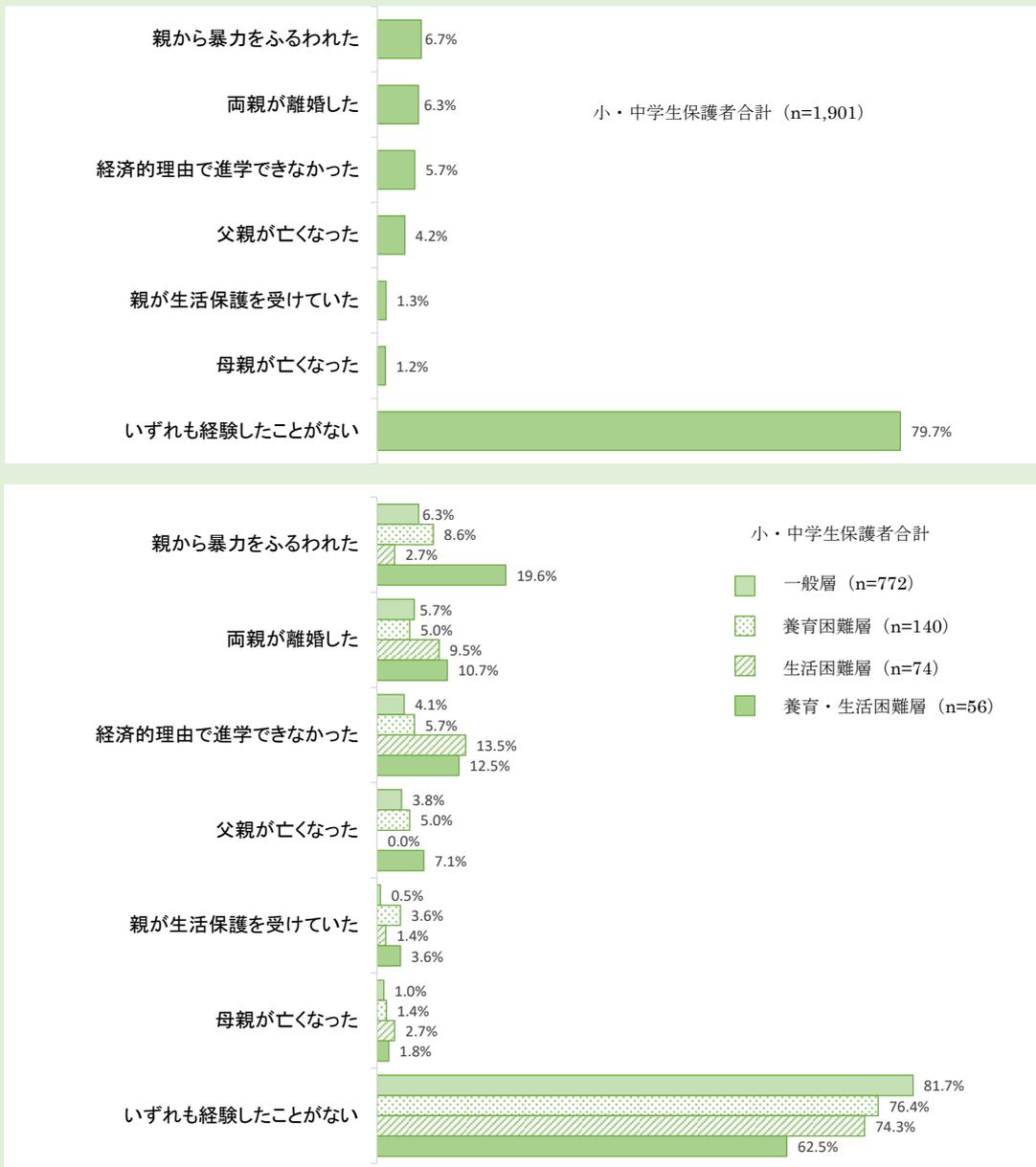


#### ④成人する前に経験したこと

保護者が成人する前に経験したことについて、「親から暴力をふるわれた」が6.7%、「両親が離婚した」が6.3%、「経済的理由で進学できなかった」が5.7%となっています。一方、「いずれも経験したことがない」は約8割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の保護者で「いずれも経験したことがない」の割合が比較的低くなっています。

#### 問 39 成人する前に以下のような体験をしたことがありますか



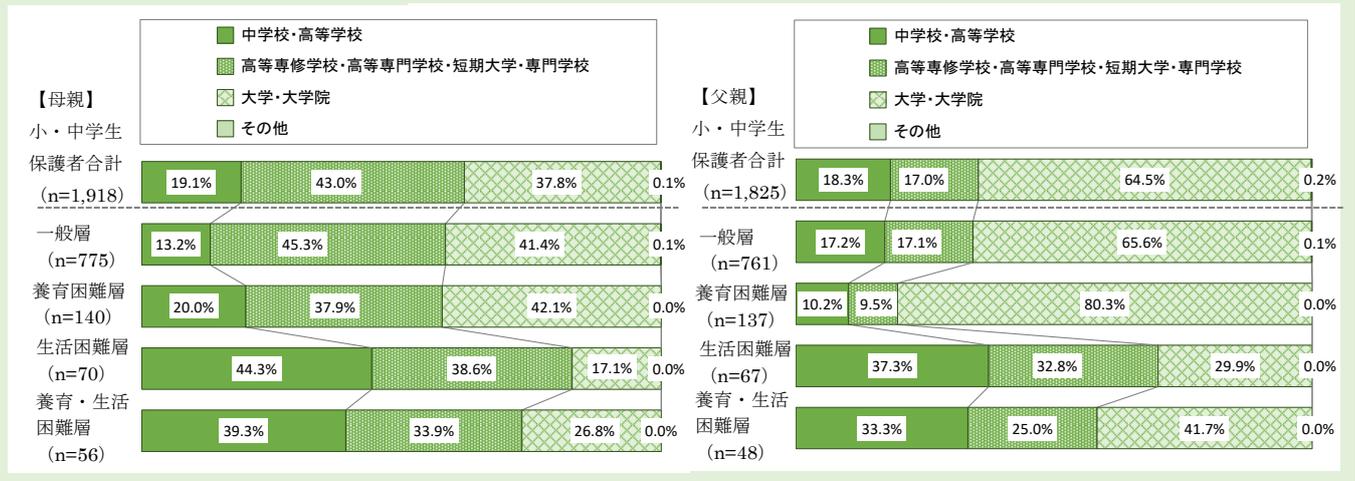
## ⑤最後に通った学校

保護者（母親・父親）が最後に通った学校は、母親で「高等専修学校・高等専門学校・短期大学・専門学校」、父親で「大学・大学院」の割合が最も高くなっています<sup>22</sup>。

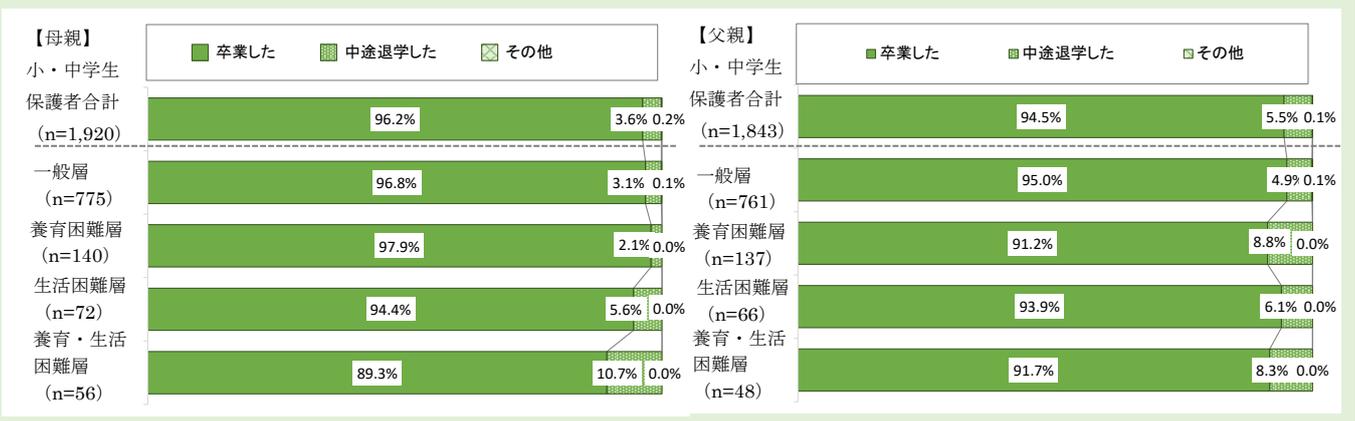
困難の重なりによる4類型別では、生活困難層や養育・生活困難層の保護者で「中学校・高等学校」の割合が比較的高く、「大学・大学院」の割合は低くなっています。

なお、その学校を卒業したかについては、母親で3.6%、父親で5.5%が「中途退学した」と回答しています。（困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし）

### 問 41① 最後に通った学校



### 問 41② 最後に通った学校を卒業したか



<sup>22</sup> 「わからない」の回答は集計の対象外としました。

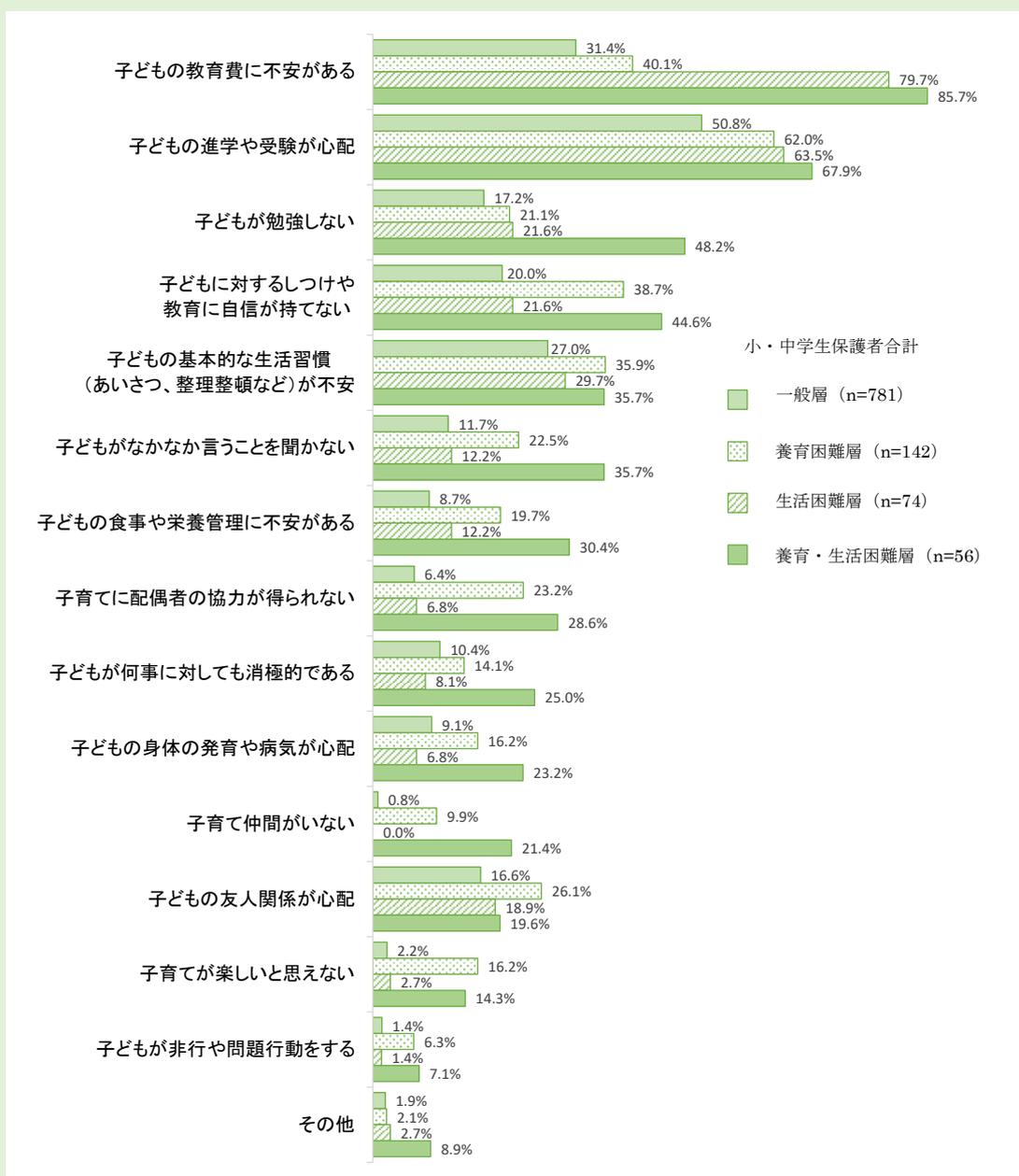
## (6) 公的支援の利用状況、支援ニーズ

### ① 子育てに関する心配ごとや悩みごと

子育てに関する心配ごとや悩みごとについて、困難の重なりによる4類型別に集計すると、養育・生活困難層の家庭では、教育費の不安をはじめ、子育てに関して様々なことが課題になっていることがうかがえます。

(「子どもの基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が不安」は「子どもの友人関係が心配」については統計的な有意差なし)

#### 問 20 子育てに関して心配ごとや悩みごとはありますか



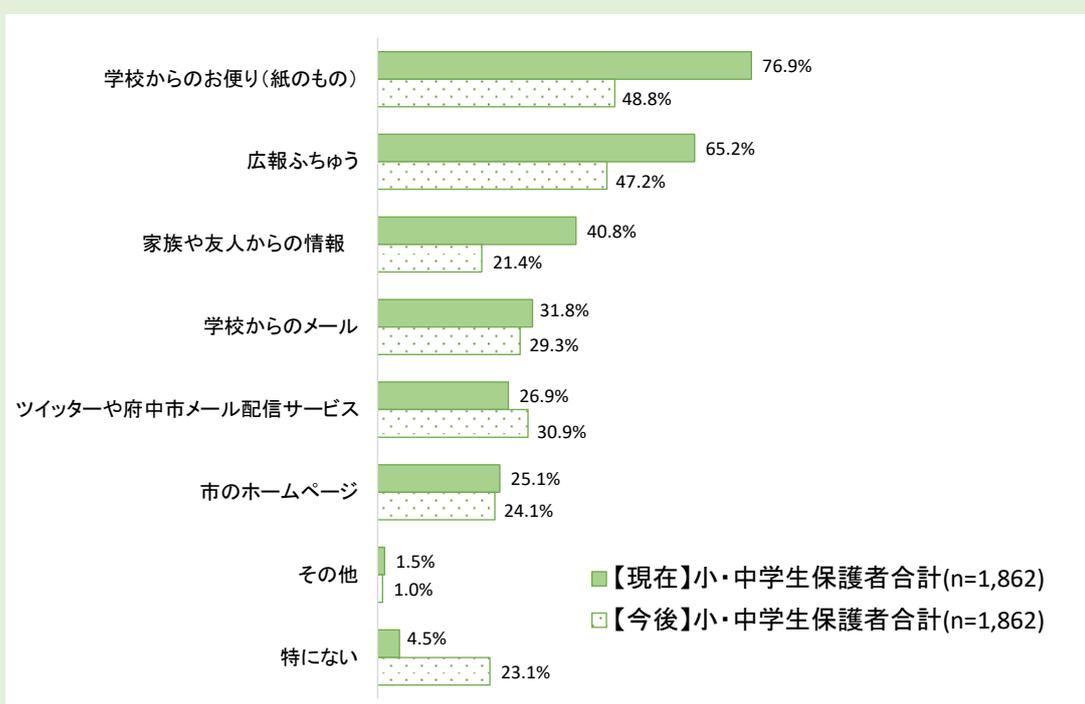
## ②情報の入手方法に関する現状・希望

子どもに関する施策等の情報をどう方法で入手しているかの回答は、「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が最も高く、次いで「広報ふちゅう」の割合が高くなっています。

今後利用したい方法の回答も「学校からのお便り（紙のもの）」と「広報ふちゅう」の割合が高くなっています。また、「ツイッターや府中市メール配信サービス」については現在利用している人の割合よりも今後利用したいと回答した人の割合のほうが高くなっています<sup>23</sup>。

④問 42A 子どもに関する施策等の情報をどう方法で入手していますか

④問 42B 今後、どう方法で入手したいですか



<sup>23</sup> 現在の利用状況と今後の利用意向についてともに無回答ではなかったものを集計の対象としました。

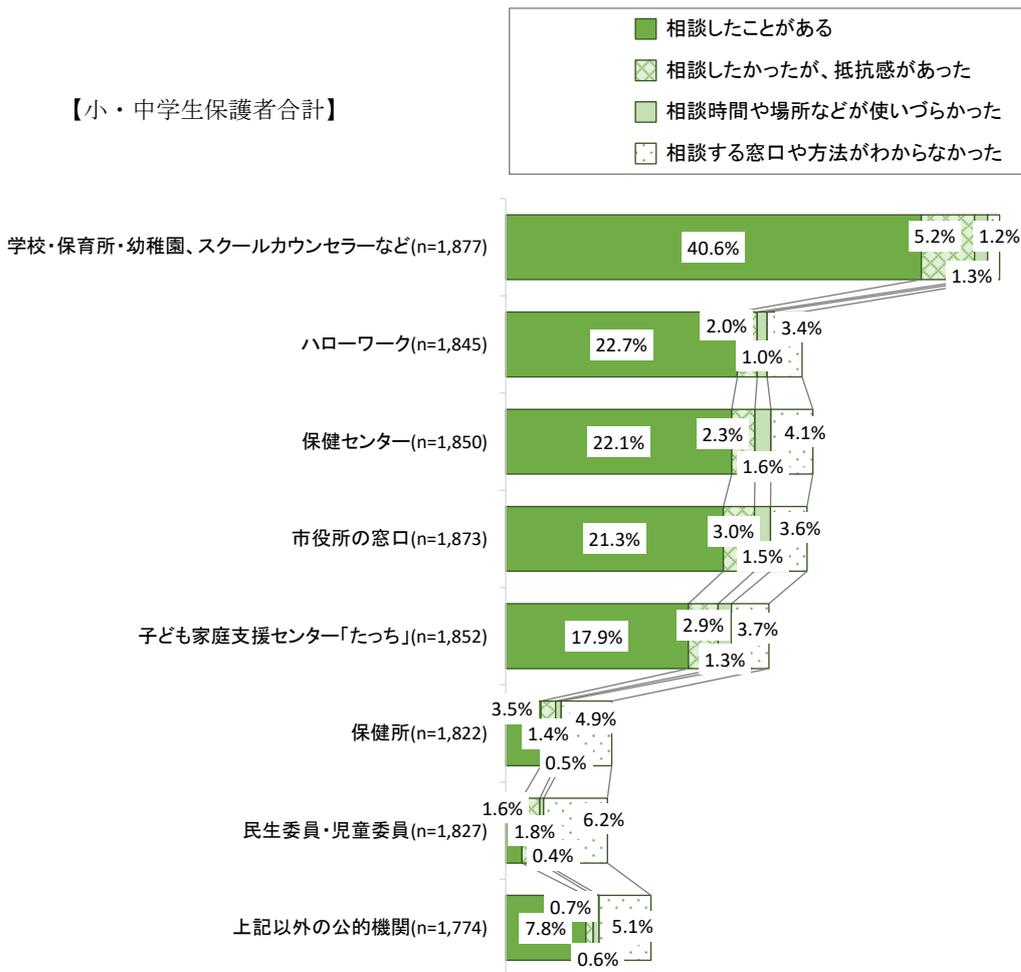
### ③公的機関への相談の状況

これまでに困ったときに公的機関に相談したことがあるかについて、「相談したことがある」の割合は、「学校・保育所・幼稚園、スクールカウンセラーなど」が約4割となっています。

また、いずれの機関も、「相談したかったが、抵抗感があった」「相談時間や場所などが使いづらかった」「相談する窓口や方法がわからなかった」の回答が合わせて約1割となっており、潜在的なニーズがあることがうかがえます<sup>24</sup>。

#### 問 43 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか

【小・中学生保護者合計】



<sup>24</sup> 回答選択肢のうち、「相談したいと思ったことがなかった」の値はグラフには非掲載としました。

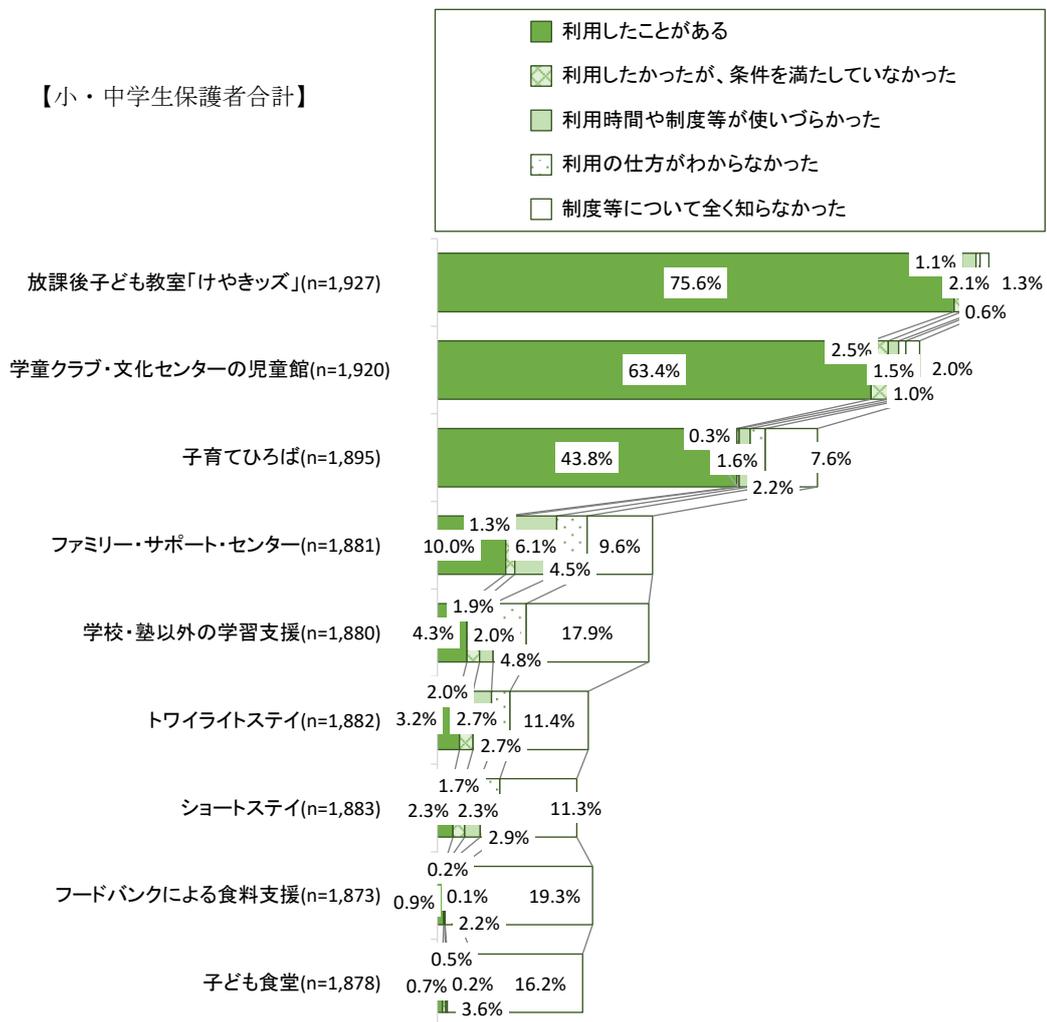
#### ④子育て・教育等に関する支援制度の利用状況

子育て・教育等に関する支援制度について、これまでに「利用したことがある」の割合は、「放課後こども教室『けやきッズ』」が約8割、「学童クラブ・文化センターの児童館」が約6割となっています。

また、いずれの支援制度も、「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用時間や制度等が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」「制度等について全く知らなかった」の回答が一定割合で見られます<sup>25</sup>。特に「フードバンクによる食料支援」「学校・塾以外の学習支援」「子ども食堂」については、「制度等について全く知らなかった」が約2割と比較的高くなっています。

#### 問 44 以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか

【小・中学生保護者合計】



<sup>25</sup> 回答選択肢のうち、「利用したいと思ったことがなかった」の値はグラフには非掲載としました。

## ⑤利用したことがある支援制度

「子育てひろば」「子ども食堂」「フードバンク等の食糧支援」「学校・塾以外の学習支援」を利用したことがある場合、それぞれの具体的な施設名や支援活動実施団体等については、次の回答がありました<sup>26</sup>。

### ⑤問 45 利用したことがある場合、具体的な施設名や支援活動実施団体等を教えてください

子育てひろば	たちち、ポップコーン、保育園・保育所、文化センター・児童館、しらとり、すきっぷ、すこやか（調布市）、郷土の森総合体育館、子ども・子育て総合センター（世田谷区）、ちびっこだんぶり、ほののぼ、小児科医院、女性センター、すくすく広場（三鷹市）、はぐ、はらっぱ、ひかりの広場、プラッツ、までいひろば、ママくらぶ、モグモグ（日野市）、0123 吉祥寺（武蔵野市）、他県・他自治体の施設
子ども食堂	こどもの居場所作り@府中、いっちゃん家わくわく子ども食堂、あおばこどもの居場所、グレイスキッチン、ひがしふちゅう駅前子ども食堂、みたかやま子ども食堂（三鷹市）
フードバンク等の食糧支援	コープとうきょう、しんぐるまぎあず・ふぁ〜らむ、2hj（セカンドハーベスト・ジャパン）
学校・塾以外の学習支援	F's home、あおば学習支援、教育センター、女性の会主催の勉強会、シルバー人材センターの学習支援、放課後等デイサービス、府中国際交流サロン児童学習支援、サマースクール、文化センター、プラッツ、他県の施設

<sup>26</sup> 回答件数が多かったものから順に掲載しています（件数が同一の場合は 50 音順）。「子育てひろば」については、場所としての回答と、取組名・団体名での回答とで同一のものを示している可能性がありますが、原則として記載どおりの内容で集計を行いました。府中市内の施設・団体だけでなく、近隣自治体のもので具体的に回答があったものは掲載をしています。なお、一部類似の回答や件数が少ない回答を集約したり、表記を修正したりして掲載しています。

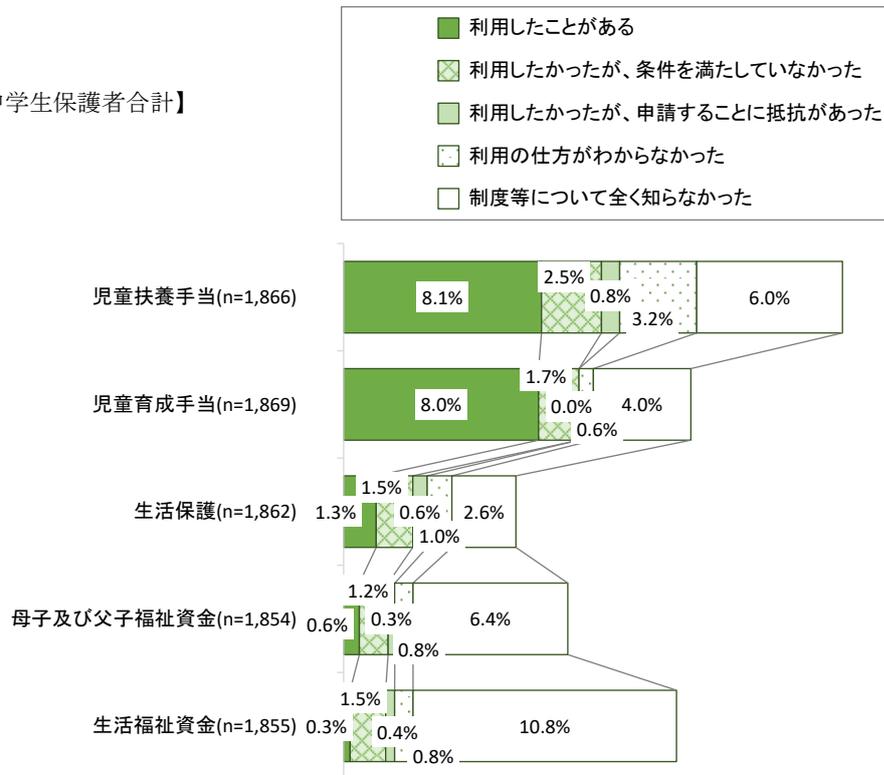
## ⑥資金貸付や手当等の支援制度の利用状況

資金貸付や手当等の支援制度について、「利用したことがある」の割合は、「児童扶養手当」「児童育成手当」がそれぞれ約1割となっています。

また、いずれの支援制度も、「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用したかったが、申請することに抵抗があった」「利用の仕方がわからなかった」「制度等について全く知らなかった」の回答が一定割合で見られ<sup>27</sup>、一部に利用したくてもできなかった方がいる可能性があることがうかがえます。

### 問 46 以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか

【小・中学生保護者合計】



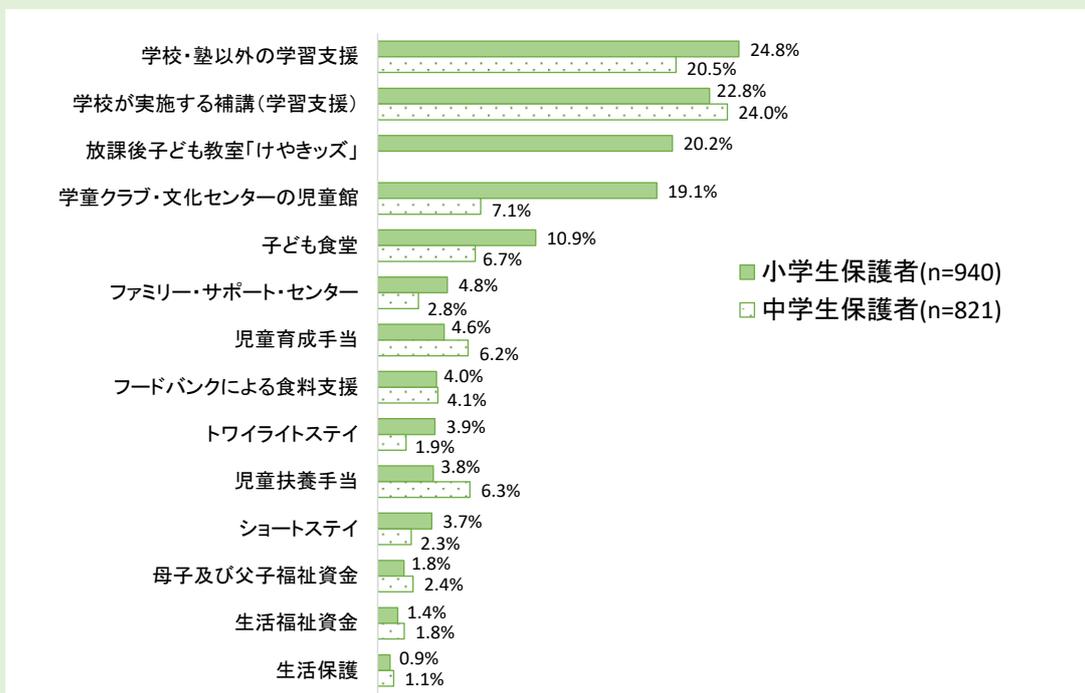
<sup>27</sup> 回答選択肢のうち、「利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）」の値はグラフには非掲載としました。

## ⑦ 支援制度の利用意向

子育て・教育等の支援制度や資金貸付や手当等の制度で、現在利用することに興味があるものとしては、「学校が実施する補講（学習支援）」や「学校・塾以外の学習支援」といった、学習支援に関する割合が高くなっています。また、「放課後子ども教室『けやきッズ』」や「学童クラブ・文化センターの児童館」といった、放課後・地域の居場所に関する割合も、特に小学生の保護者で高くなっています<sup>28</sup>。

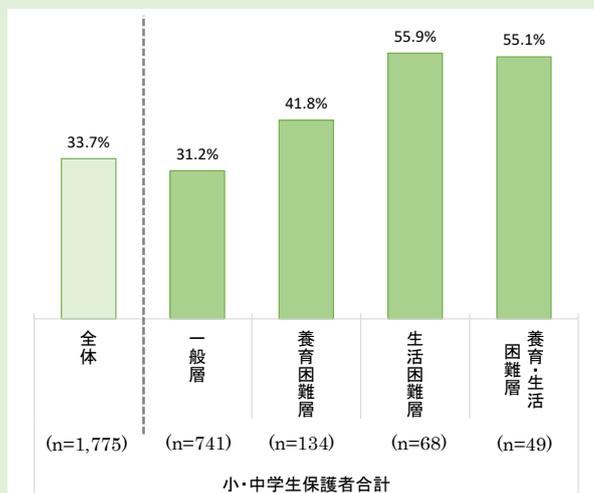
なお、学習支援に関する興味は、養育困難や生活困難の課題が見られる保護者で比較的高くなっています。

### ⑨ 問 47 以下の支援制度等を利用することに興味がありますか



### ⑨ 問 47 学習支援の利用に対する興味

(「学校が実施する補講（学習支援）」、又は「学校・塾以外の学習支援」と回答した割合)



<sup>28</sup> 「放課後子ども教室『けやきッズ』」に関しては小学生保護者の結果のみ掲載しました。

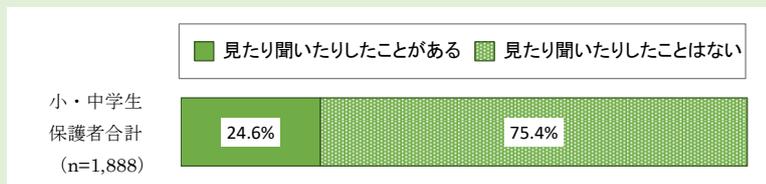
### ⑧周りの家庭の困りごとや悩みごとや、その解決に向けて

周りの家庭で子育てについて困っていることや悩みごとを抱えているようなことを「見たり聞いたりしたことがある」という回答は、約2割となっています。

見たり聞いたりしたことがある困りごとや悩みごとの内容としては、「家庭環境」に関することが最も多く、次いで「不登校・引きこもり」に関することが多くなっています。

更に、どのような支援等があればその困りごとや悩みごとが解決できそうだと思うかについては、「支援体制の構築・周知」に関する回答が多く寄せられました。

#### ⑨問 48 周りの家庭で子育てについて困っていることや悩みごとを抱えているようなことを見たり聞いたりしたことがありますか



#### ⑨問 48-1 見たり聞いたりしたことがある、周りの家庭での困りごとや悩みごとの内容

回答内容の分類	件数	回答内容の要約・例
家庭環境	70	○母子家庭で経済的に苦しい。子どもが一人で過ごしている。
不登校・引きこもり	65	○不登校。学校に行けない。
子どもの障害・疾病	40	○発達障害の悩みごと。十分な支援が受けられていない。
子どもとの関係・夫婦関係	35	○配偶者からのDV。子どもの反抗期。
子どもの預け先	22	○保育所には入れない。高学年の子どもの居場所がない。
行政・学校等への不満	19	○必要な支援が受けられない。相談しづらい。
子どもの人間関係・いじめ	17	○学校でのいじめ。友だちと仲良くできない。
勉強の遅れや進学への不安	17	○勉強しない。勉強できない。
学校教育・制度等	11	○親同士の付き合い。PTAに関する不満。
その他	32	—

#### ⑨問 48-1 周りの家庭での困りごとや悩みごとの解決に向けた支援等

回答内容の分類	件数	回答内容の要約・例
支援体制の構築・周知	41	○気軽に何でも相談できる窓口。 ○学校からの助言・支援体制の充実。
子どもの預け先の充実	12	○保育所や学童の拡充。
子どもの居場所づくり	9	○不登校の子どものための居場所づくり。
子育ての仲間づくり	9	○交流会等の充実。
経済的支援の充実	9	○児童手当以外の金銭的な支援の充実。母子世帯への支援。
専門家・専門機関による支援	8	○専門的な講座の開設や相談・カウンセリング。
その他	32	—

## ⑨困っていることや悩みごと、市への要望等

困っていることや悩みごと、市への要望等としては、自由記述により、次のような内容の回答がありました。

件数としては「教育費負担・経済支援」に関するものが最も多く、次いで「学校教育・制度等」に関するものが多くなっています。

### 問 49 あなたが今、困っていることや悩みごと、市への要望等がありましたら教えてください

回答内容の分類	件数	回答内容の要約・例
教育費負担・経済支援	185	○高校・大学等今後の教育費の負担が不安である。 ○教材費の負担が増えている。 ○税金の負担が大きい。 ○児童手当の増額や医療費無料の期間延長をしてほしい。
学校教育・制度等	86	○教員の質の向上、人数の増員等を行ってほしい。 ○支援級の設置など、発達支援・対策を充実してほしい。 ○PTAの役員や活動参加が負担である。
交通環境	32	○歩道、自転車専用道路、カーブミラー、歩道橋等の整備をしてほしい。
子どもの預け先	26	○学童、一時保育、保育園の定員や時間の拡充をしてほしい。
子どもの障害・疾病	25	○子どもに発達障害・学習障害等があり支援を充実してほしい。
遊び場所や機会、勉強場所	24	○子どもが遊べる場所、勉強できる場所を増やしてほしい。
家庭環境・夫婦関係	23	○配偶者が子育てに協力的でない。関係性が悪い。
支援体制、窓口や情報周知	23	○子育て等について相談できる場所がほしい。どこに相談したらよいかわからない。
教育・子育て支援の充実	21	○学習支援を充実してほしい。
学校の施設や設備	18	○学校設備の老朽化に対応してほしい。
子どもの生活	16	○勉強しない。ゲームばかりしている。無気力である。
仕事・育児・介護の両立	14	○仕事により子どもとの時間がなかなか作れない。
市役所業務・窓口対応	12	○市役所窓口での対応が親切でない。利用しにくい。
調査に関する要望・意見	12	○オンラインで回答できるようにしてほしい。分量が多い。
図書館の改善	7	○図書館を使用しやすくしてほしい。蔵書等を充実してほしい。
地域でのつながりづくり	6	○地域の人とつながりたいのでイベント等を充実してほしい。
その他	42	—

## 2-3 子どもの生活状況・課題

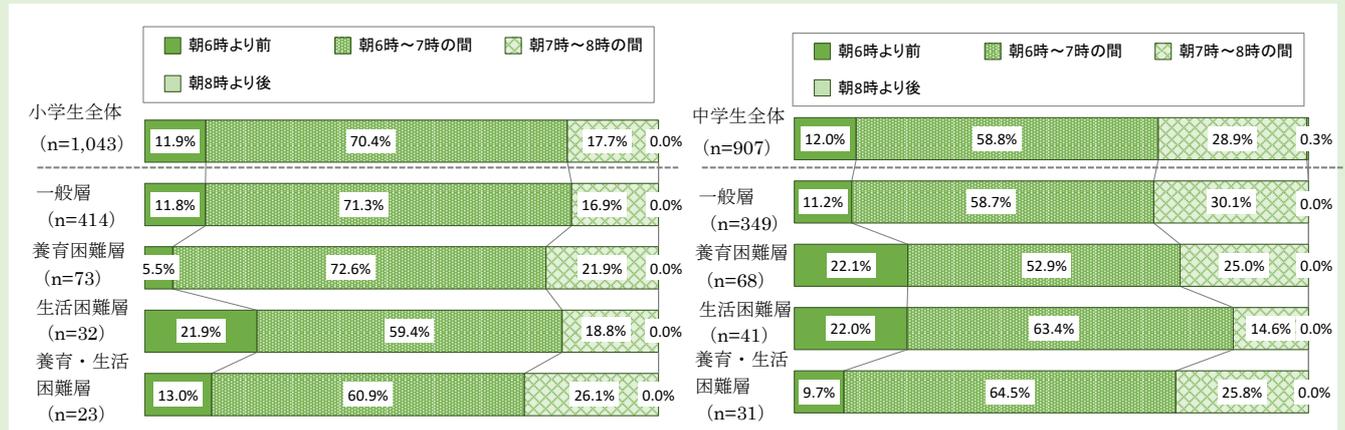
### (1)生活習慣・健康に関する状況

#### ①朝起きる時間、夜寝る時間

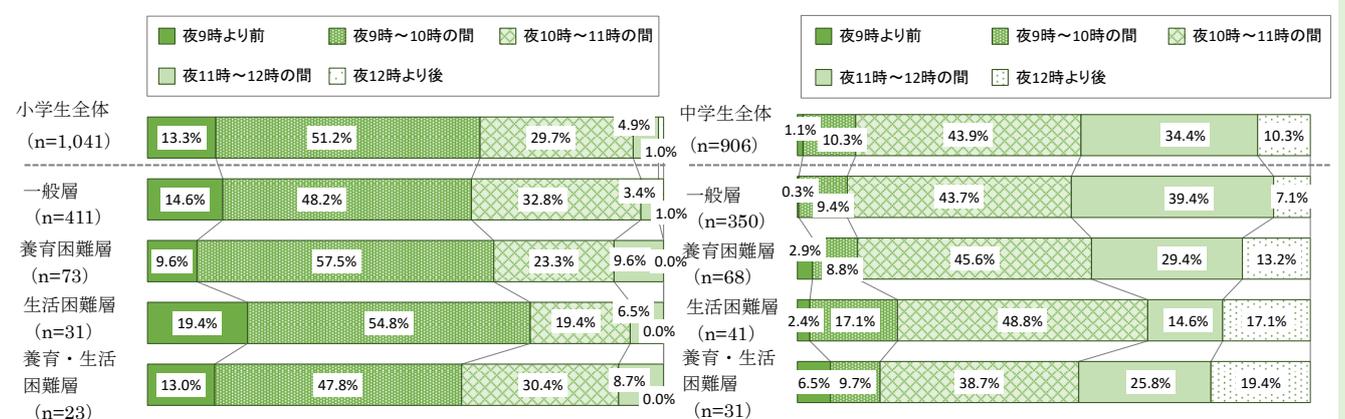
平日（学校に行く日）に朝何時ごろに起きるかについて、小学生で約7割、中学生で約6割が「朝6時～7時の間」と回答しています。（小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし）

夜何時ごろに寝るかについては、小学生で「夜9時～夜10時の間」が約5割、中学生で「夜10時～11時の間」が約4割となっています。困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭の中学生で「夜12時より後<sup>29)</sup>」と、遅い時間帯である割合が比較的高くなっています。（小学生については統計的な有意差なし）

問2 平日（学校に行く日）に毎日、朝何時ごろに起きますか



問3 平日（学校に行く日）に毎日、夜何時ごろに寝ますか



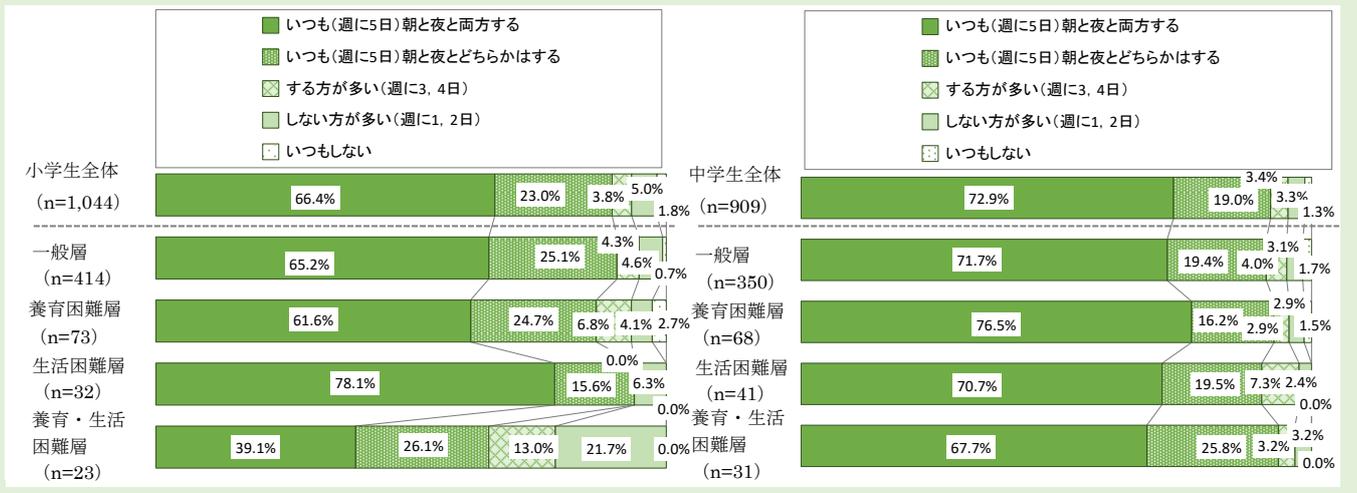
<sup>29)</sup> 「夜12時～1時の間」と「夜1時より後」の選択肢による回答を合わせて集計しています。

## ②歯磨きの習慣

平日（学校に行く日）に毎日、家で歯磨きをするかについて、小学生・中学生ともに約7割が「いつも（週に5日）朝と夜と両方する」と回答しており、「いつも（週に5日）朝と夜とどちらかはする」の回答と合わせると、その割合は約9割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭の小学生で「いつも」の割合が他の類型と比べて低く、「しない方が多い（週に1，2日）」の割合が高くなっています。（中学生については統計的な有意差なし）

### 問4 平日（学校に行く日）に毎日、家で歯磨きをしますか



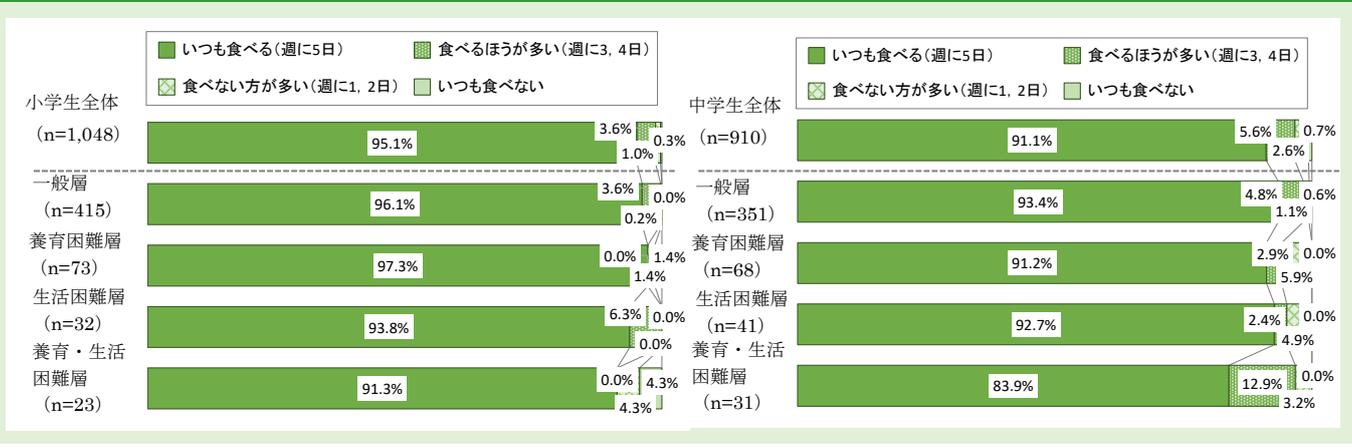
### ③朝ごはんの摂取

平日（学校に行く日）に毎日朝ごはんを食べるかについて、小学生・中学生ともに9割以上が「いつも食べる（週に5日）」と回答しており、「いつも食べない」は1%未満となっています。困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭の小学生で「いつも食べない」「食べない方が多い（週に1, 2日）」の割合が他の類型と比べて高くなっています。（中学生については統計的な有意差なし）

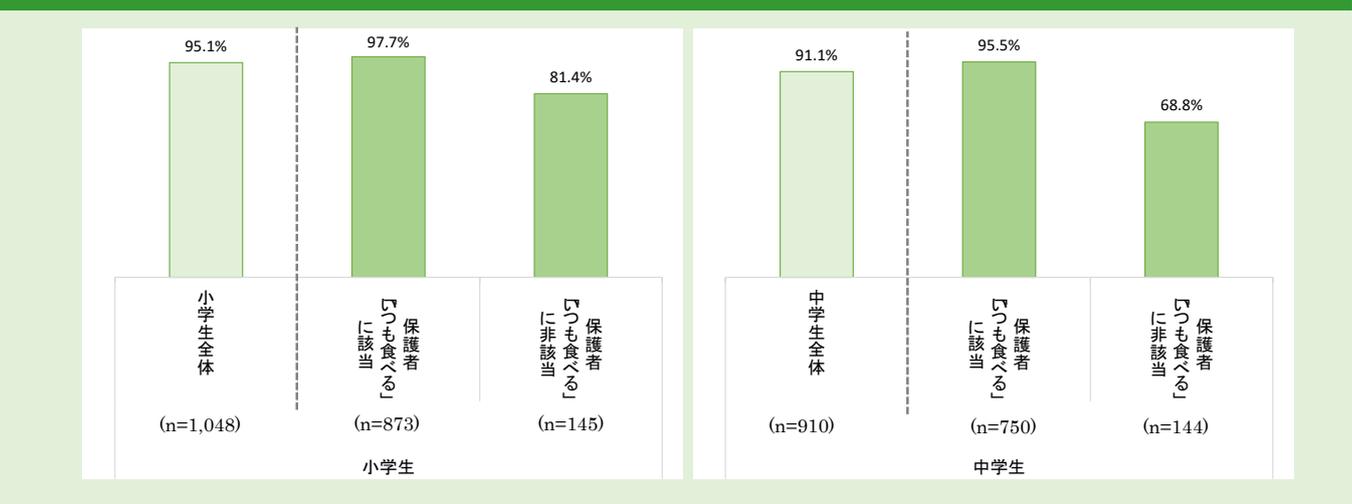
なお、朝ごはんをいつも食べない理由としては、小学生・中学生ともに「おなかがすいていないから」が最も多く挙げられています<sup>30</sup>。

また、保護者の状況と子どもの状況の関連性を見ると、朝ごはんをいつも食べる習慣がない保護者の子どもで、「いつも食べる（週に5日）」の割合が相対的に低くなっています。

#### 問5 平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか



#### 問5 平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか（子どもが「いつも食べる（週に5日）」の割合）

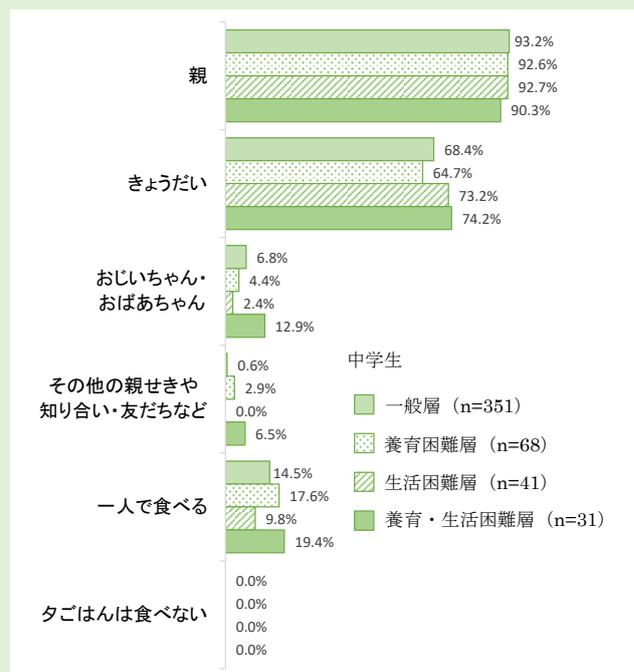
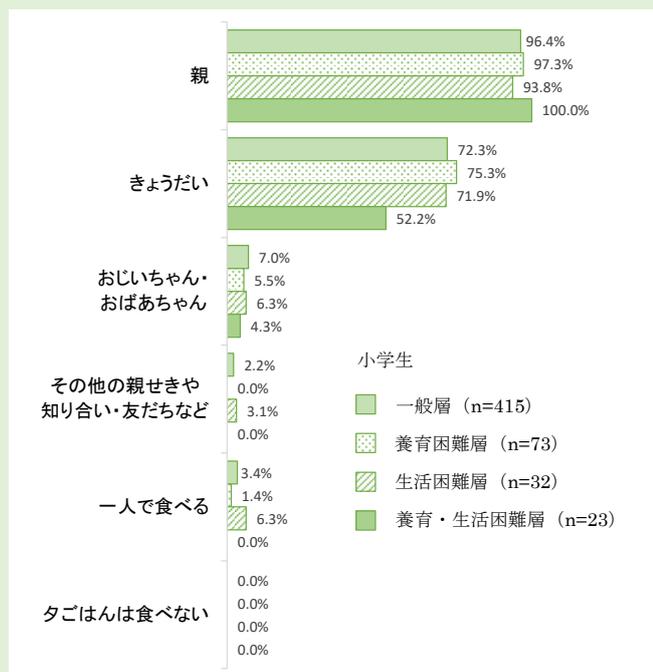
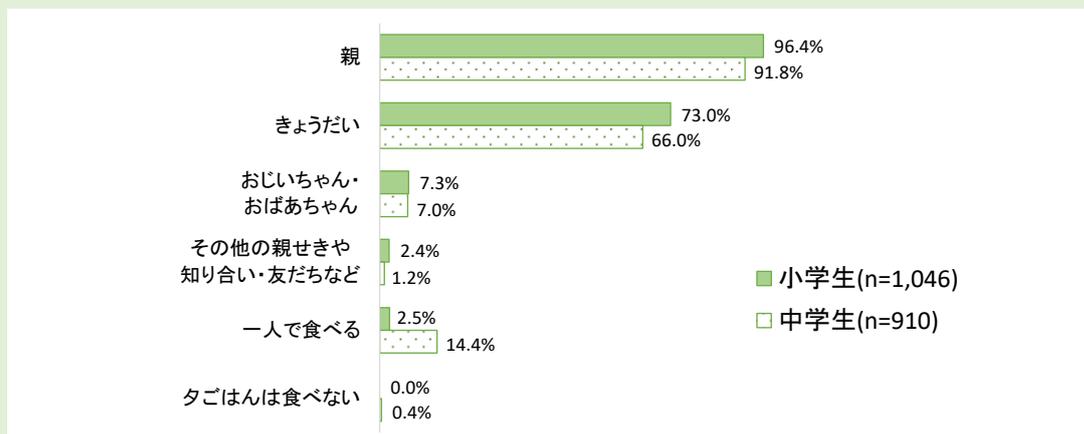


<sup>30</sup> 集計対象の件数が少ないことから、図表としては掲載していません。

#### ④夕ごはんを食べる相手

平日（学校に行く日）に夕ごはんを誰と食べるかについて、小学生・中学生ともに9割以上が「親」と回答しています。「一人で食べる」の割合は、小学生で2.5%、中学生で14.4%となっています<sup>31</sup>。（小学生・中学生ともに、「一人で食べる」の回答について、困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし）

#### 問6 平日（学校に行く日）に夕ごはんを誰と食べますか



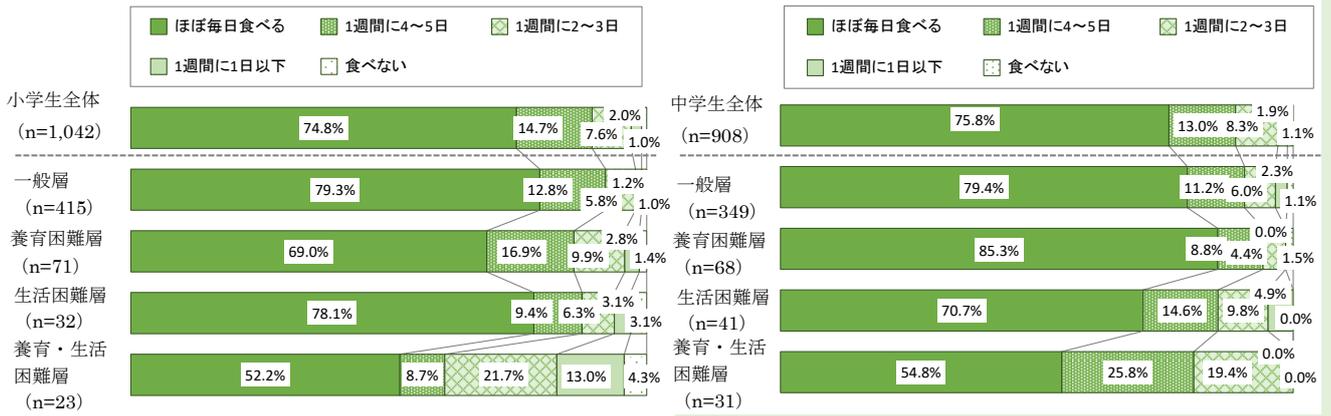
<sup>31</sup> 複数選択での回答であり、親など誰かと一緒に食べるという項目と、「一人で食べる」の項目と両方を選択している場合があります。

## ⑤食べ物の内容

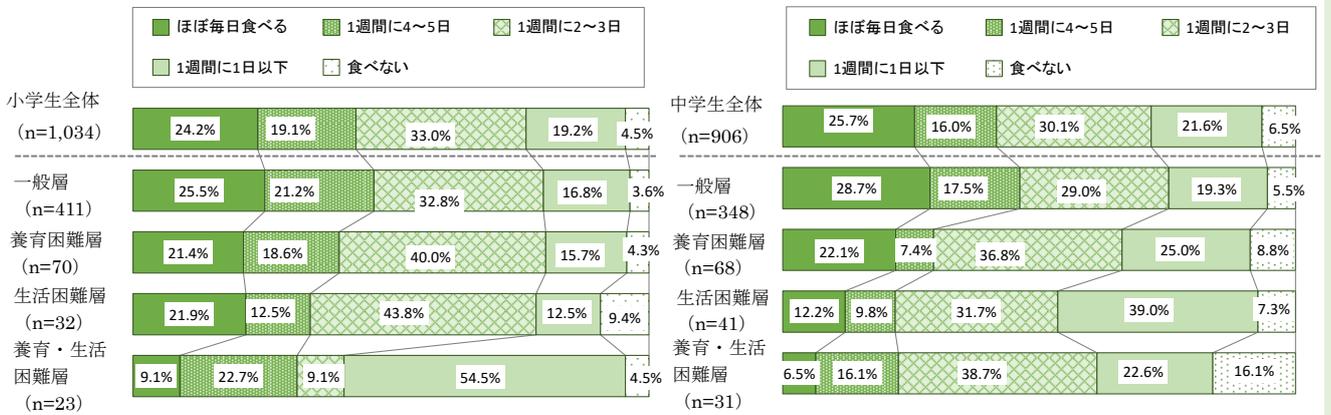
給食以外でふだん食べる物について、「野菜」「くだもの」「肉か魚」「お菓子」に関しては、養育・生活困難層の家庭の子どもで「ほぼ毎日食べる」の割合が他の類型と比べて低い傾向にあります。

（「肉か魚」と「お菓子」は小学生では統計的な有意差なし、「カップめん・インスタントめん」と「お店で買ったおにぎり・お弁当」は小学生・中学生ともに統計的な有意差なし）

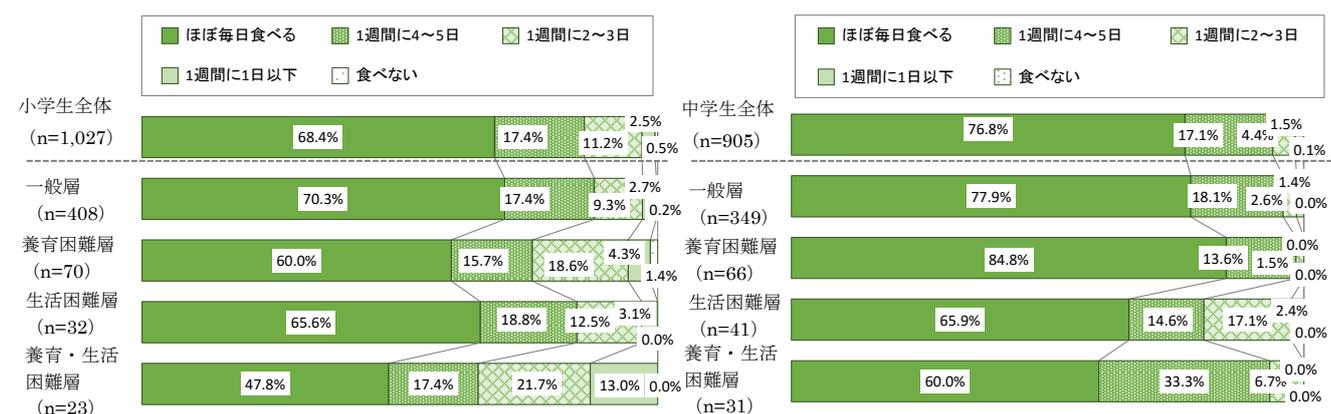
### 問7A 給食以外でどれくらい食べるか「野菜」



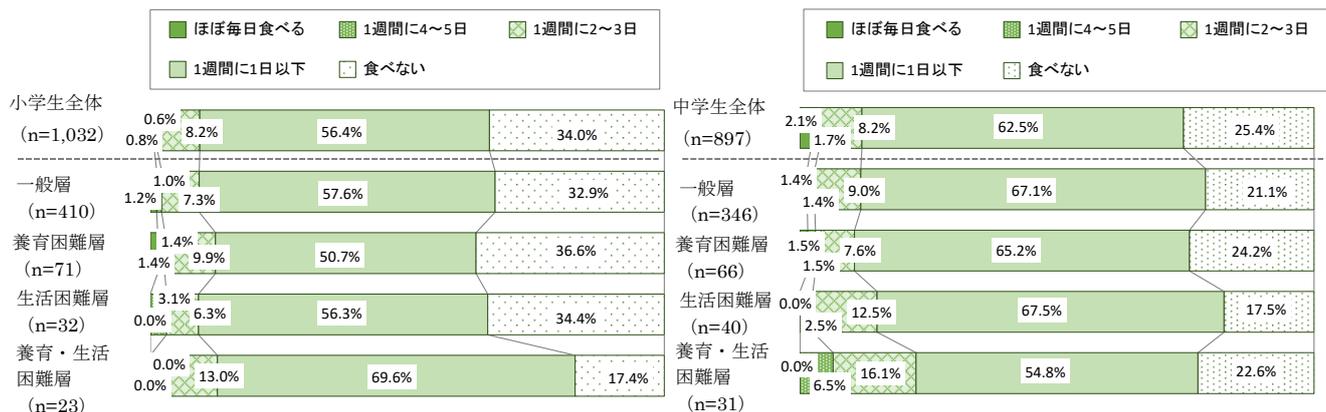
### 問7B 給食以外でどれくらい食べるか「くだもの」



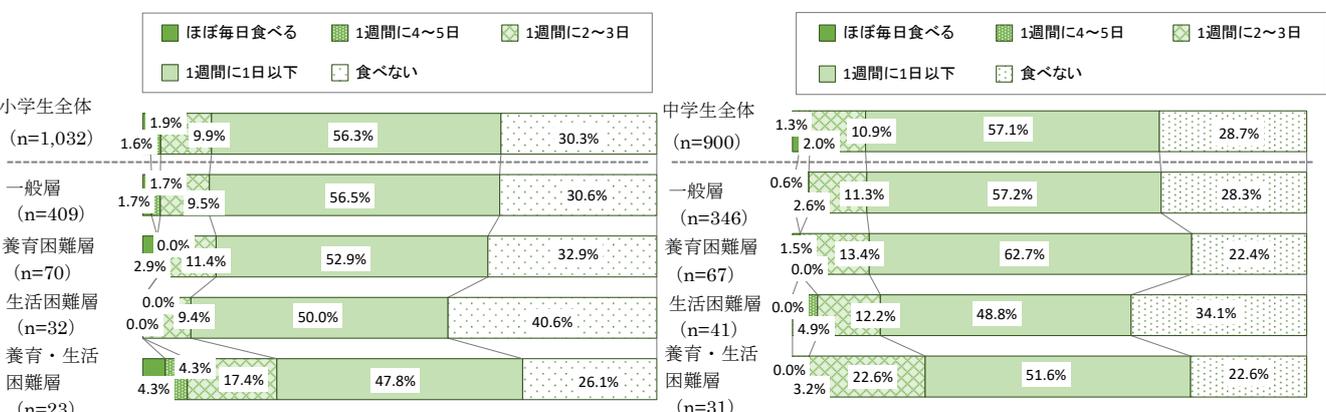
### 問7C 給食以外でどれくらい食べるか「肉か魚」



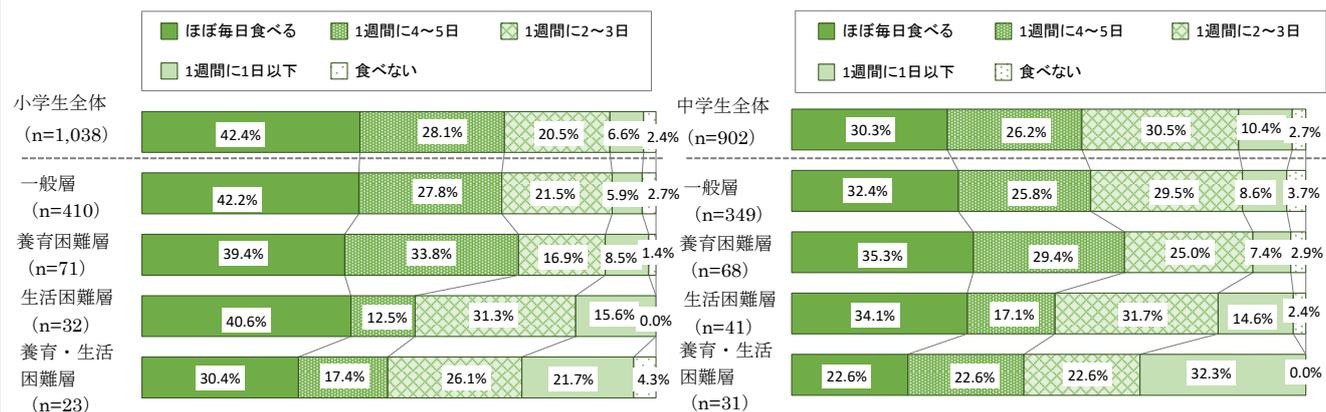
### 問7D 給食以外でどれくらい食べるか「カップめん・インスタントめん」



### 問7E 給食以外でどれくらい食べるか「お店で買ったおにぎり・お弁当」



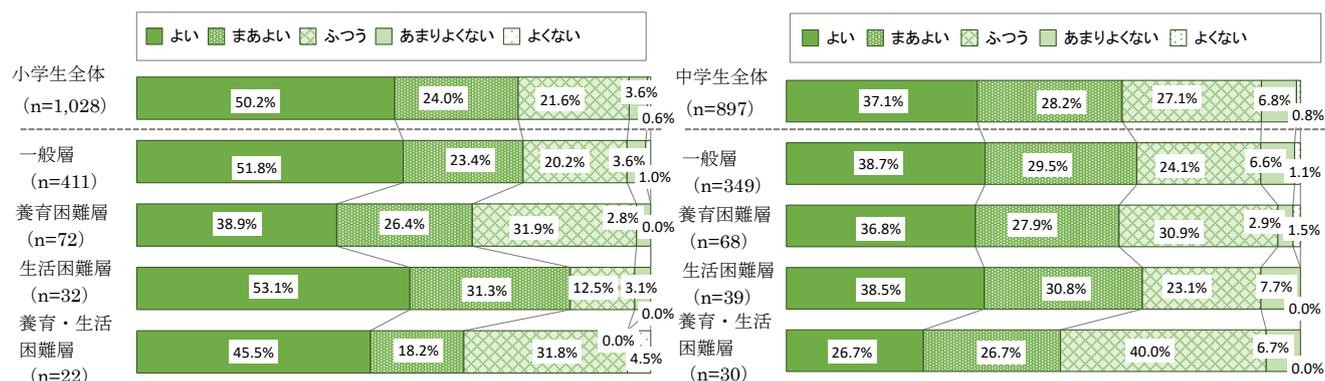
### 問7F 給食以外でどれくらい食べるか「お菓子」



## ⑥健康状態

自分の健康状態について、小学生で約5割が、中学生で約4割が「よい」と回答しており、「まあよい」の回答と合わせると、その割合は約7割となっています。一方、「あまりよくない」と「よくない」の回答合計は、小学生で4.2%、中学生で7.6%となっています。（小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし）

### 問8 自分の健康状態についてどう感じていますか



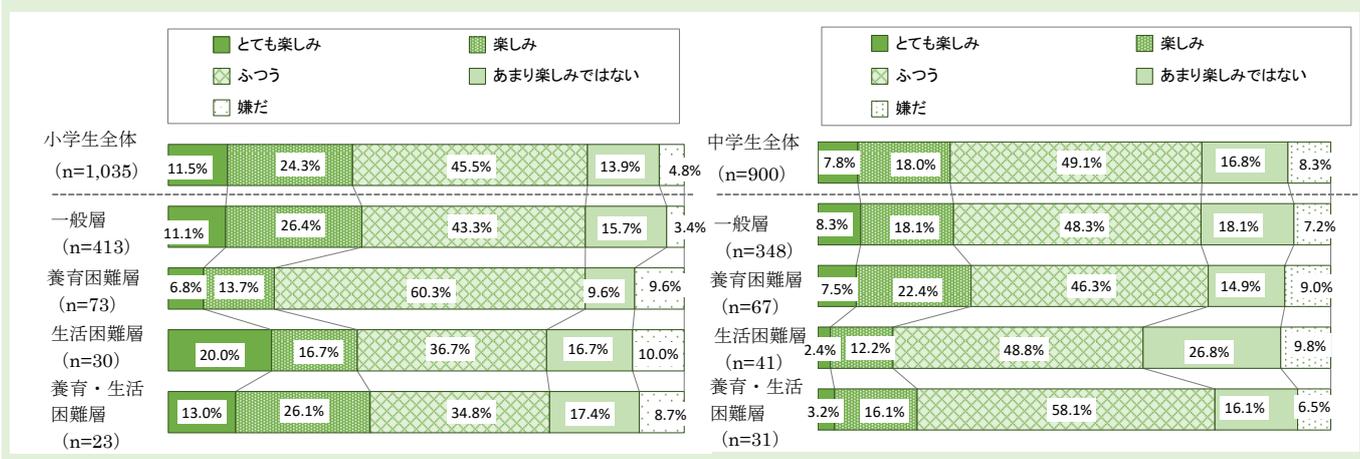
## (2)学習の状況

### ①学校生活の状況

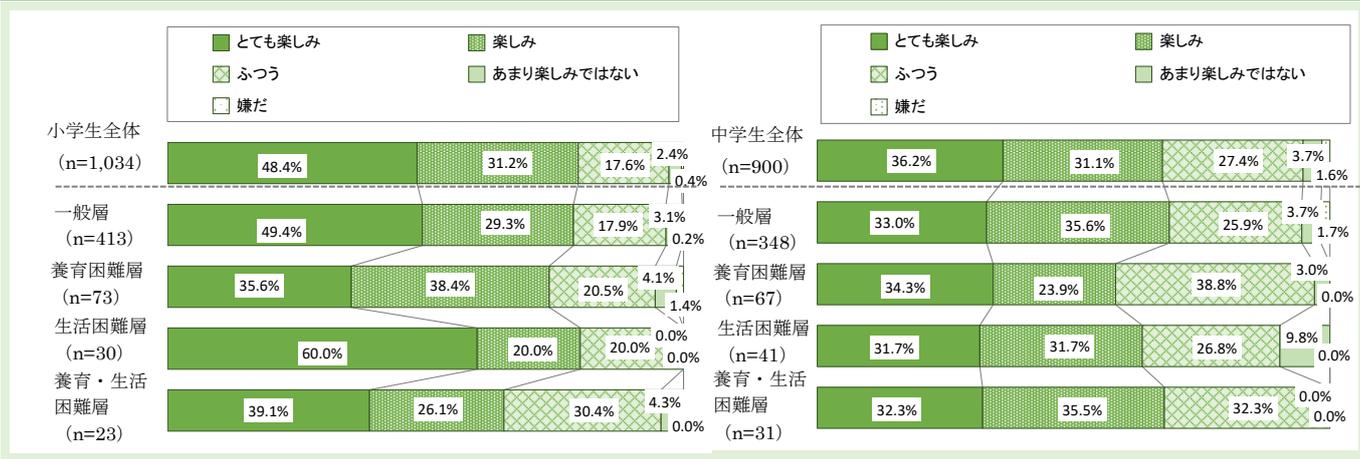
学校生活で「授業」などが楽しみと思うかについて、困難の重なりによる4類型別では、生活困難層と養育・生活困難層の家庭の小学生で「授業」が「あまり楽しみではない」、又は「嫌だ」の割合が他の類型と比べて高くなっています。

また、養育・生活困難層の家庭の中学生では、「給食（お弁当）の時間」が「とても楽しみ」、又は「楽しみ」の割合が他の類型と比べて低くなっています。（その他の点に関しては小学生・中学生ともに統計的な有意差なし）

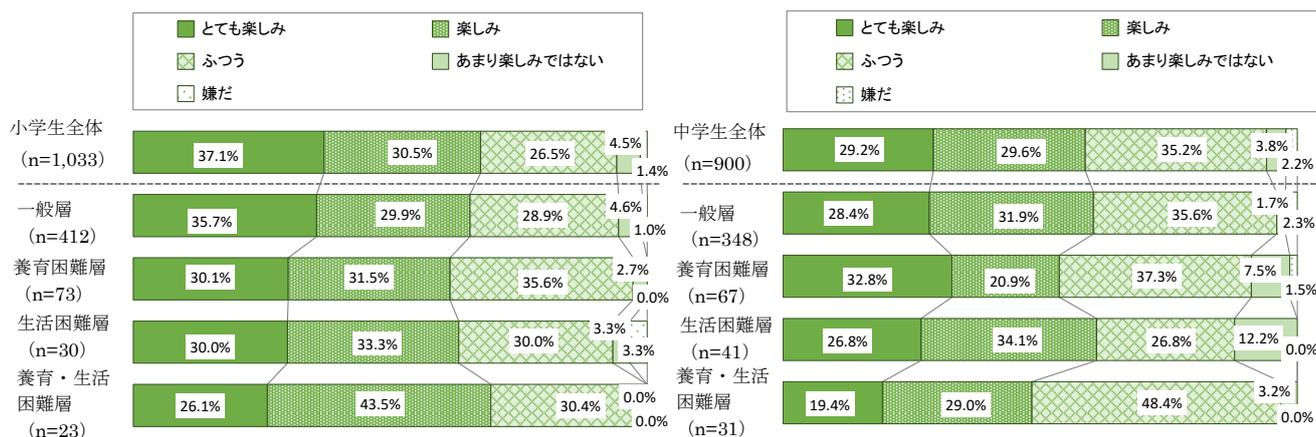
#### 問 25A 学校生活について「授業」



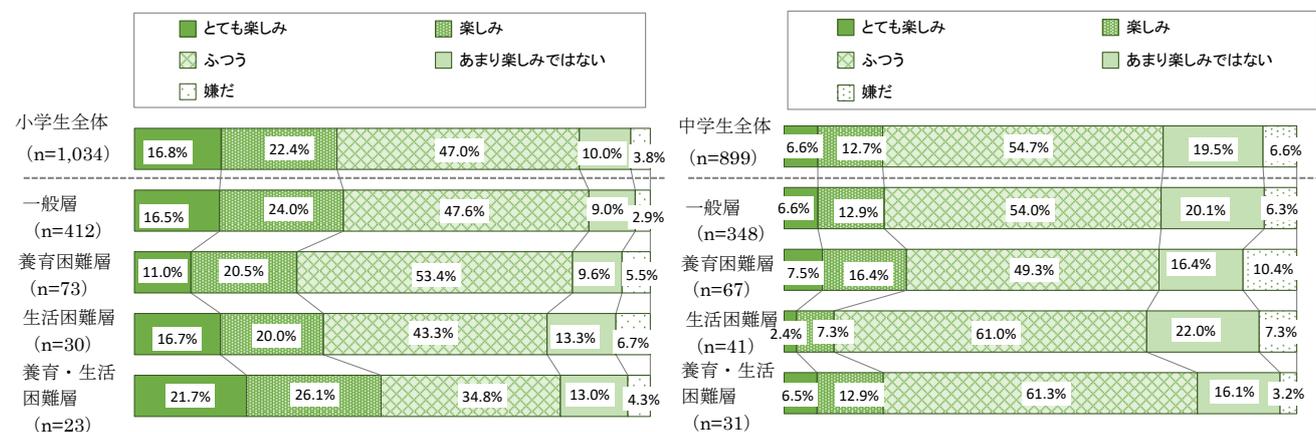
#### 問 25B 学校生活について「休み時間」



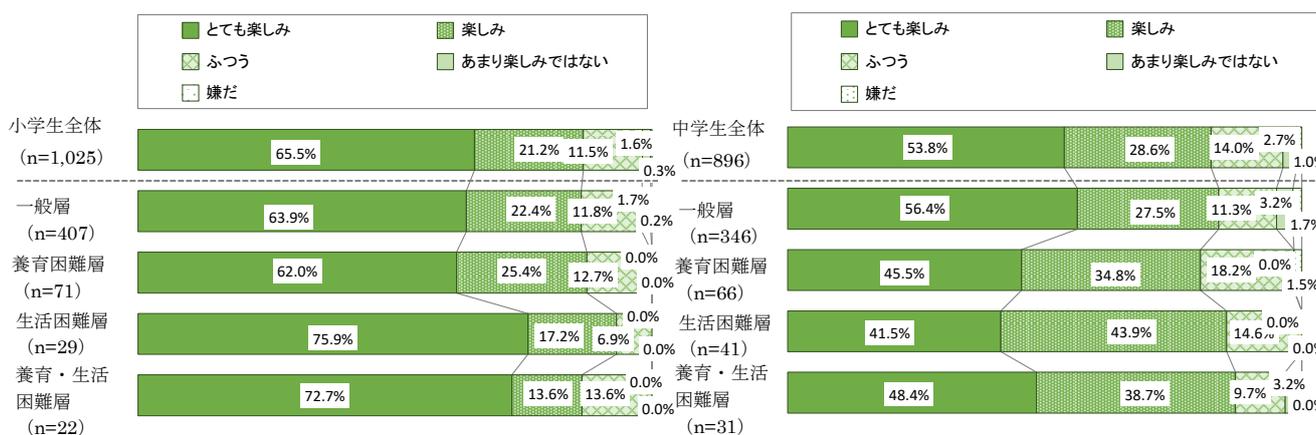
### 問 25C 学校生活について「給食（お弁当）の時間」



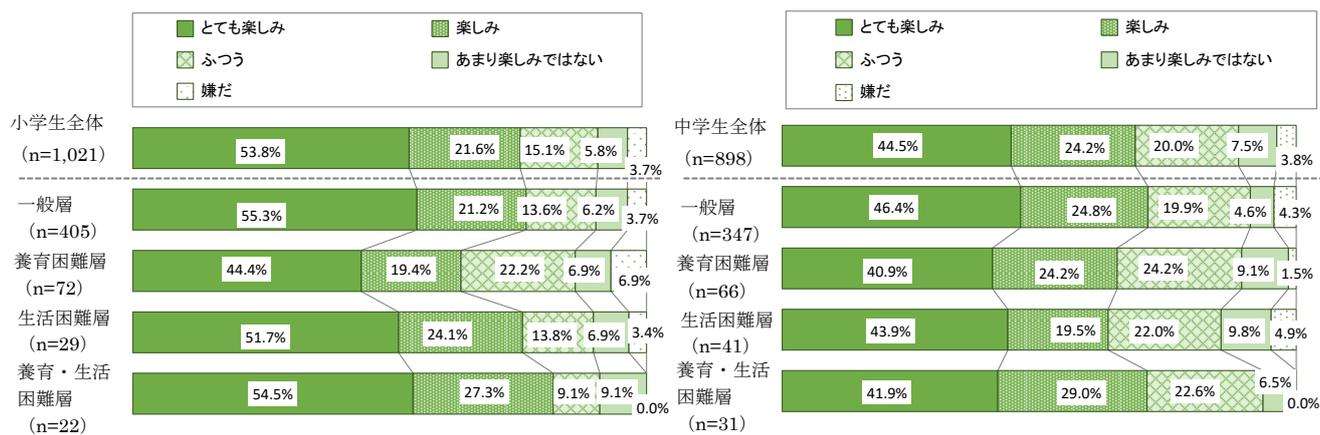
### 問 25D 学校生活について「先生に会うこと」



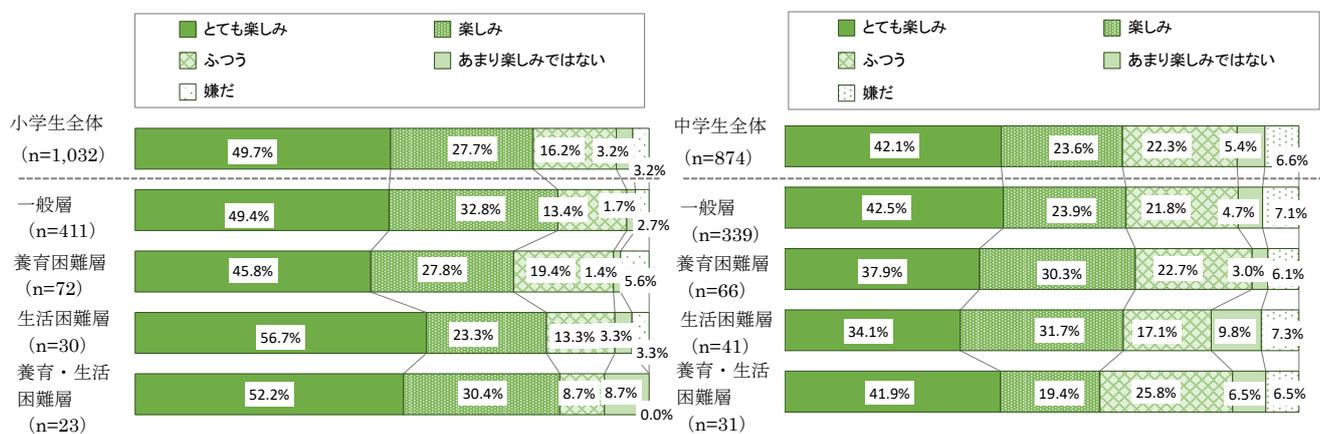
### 問 25E 学校生活について「友だちに会うこと」



問 25F 学校生活について「行事（校外学習や運動会など）」「行事（校外学習や体育祭など）」



問 25G 学校生活について「クラブ活動」「部活動」

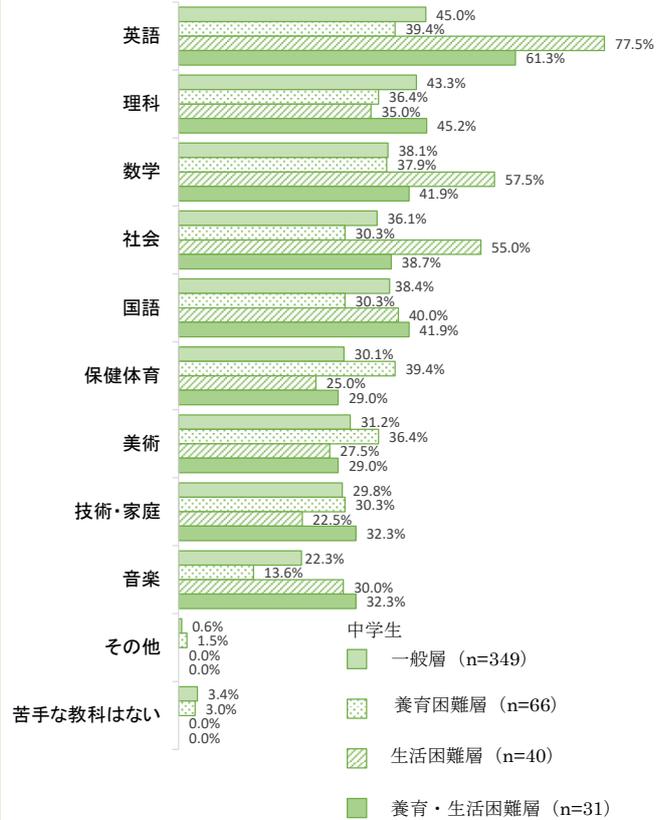
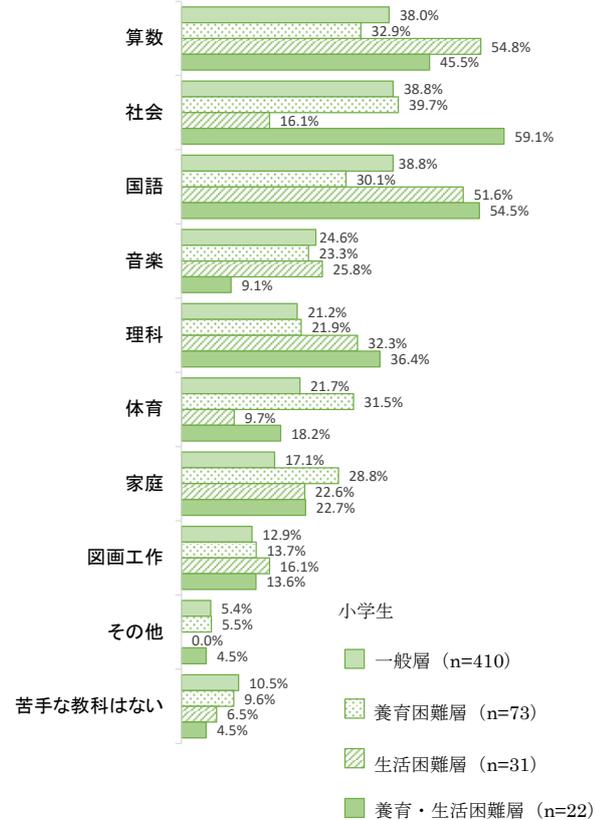
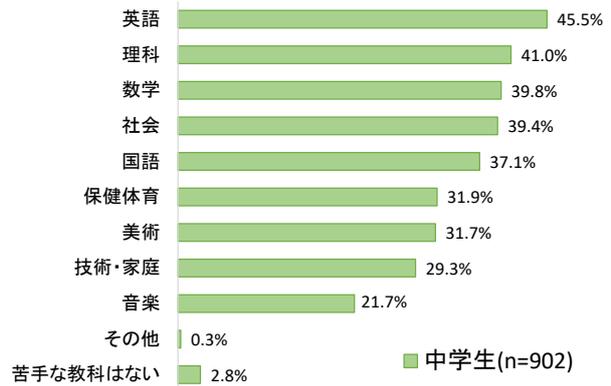
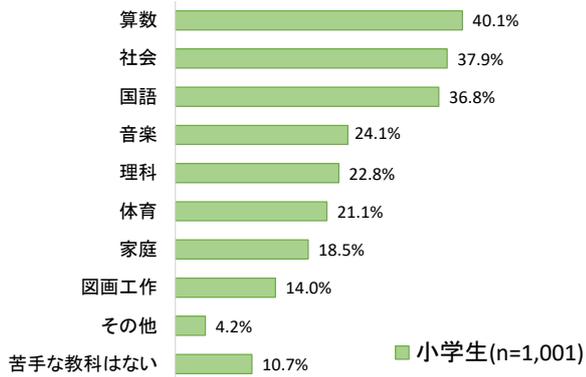


## ②苦手な教科

苦手な教科について、小学生では「算数」「社会」「国語」が約4割となっています。中学生では「英語」が約5割、「理科」「数学」「社会」「国語」がそれぞれ約4割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生で「社会」について養育・生活困難層の家庭で割合が比較的高く、中学生で「英語」について生活困難層と養育・生活困難層の家庭で割合が比較的高くなっています。(その他の点に関しては小学生・中学生ともに統計的な有意差なし)

### 問 26 苦手な教科がありますか

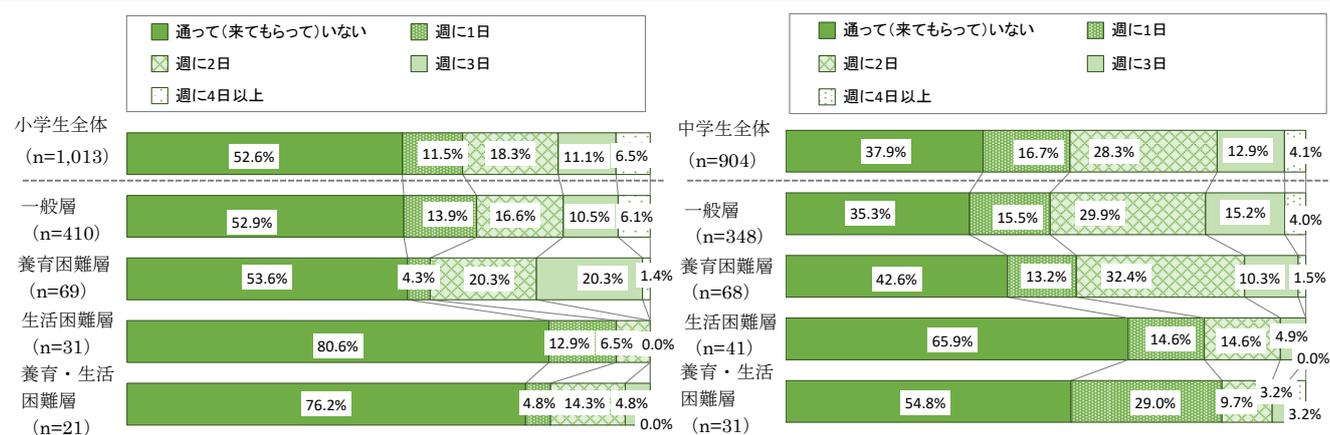


### ③学習塾・家庭教師の利用状況

学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらったりしているかについて、小学生で約5割、中学生で約4割が「通って（来てもらって）いない」と回答しています。他方で、小学生・中学生ともに、「週に3日」と「週に4日以上<sup>32</sup>」の回答を合わせるとその割合は約2割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生・中学生ともに、生活困難層と養育・生活困難層の家庭で「通って（来てもらって）いない」の割合が比較的高くなっています。

問 27 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらったりしていますか



<sup>32</sup> 「週に4日」「週に5日」「週に6日」「毎日」の選択肢による回答を合わせて集計しています。

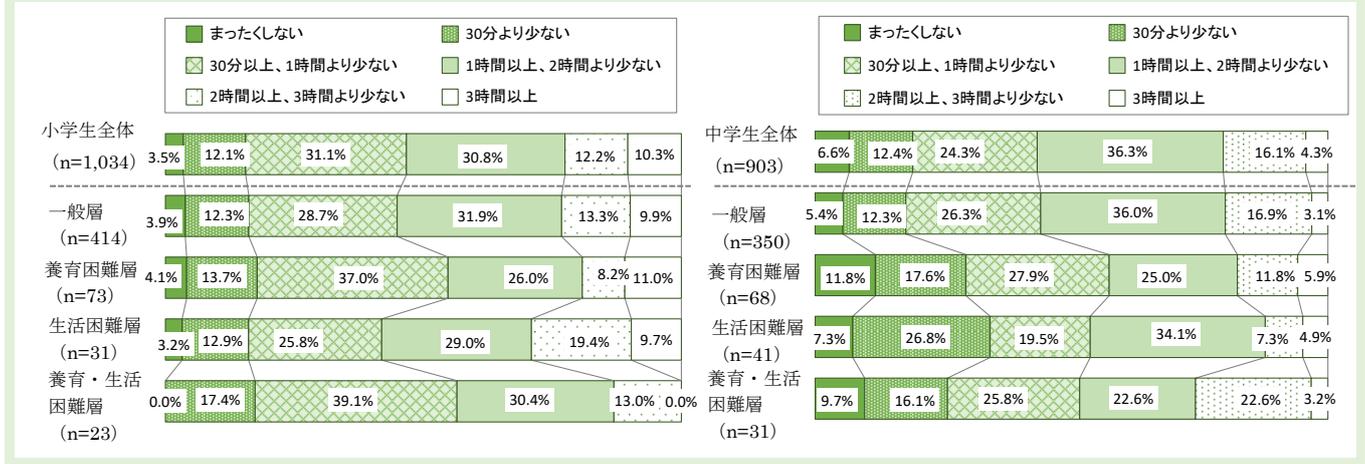
#### ④学校の授業以外の学習時間

ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間勉強をするかについて、小学生で「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ約3割、中学生で「1時間以上、2時間より少ない」が約4割となっています<sup>33</sup>。

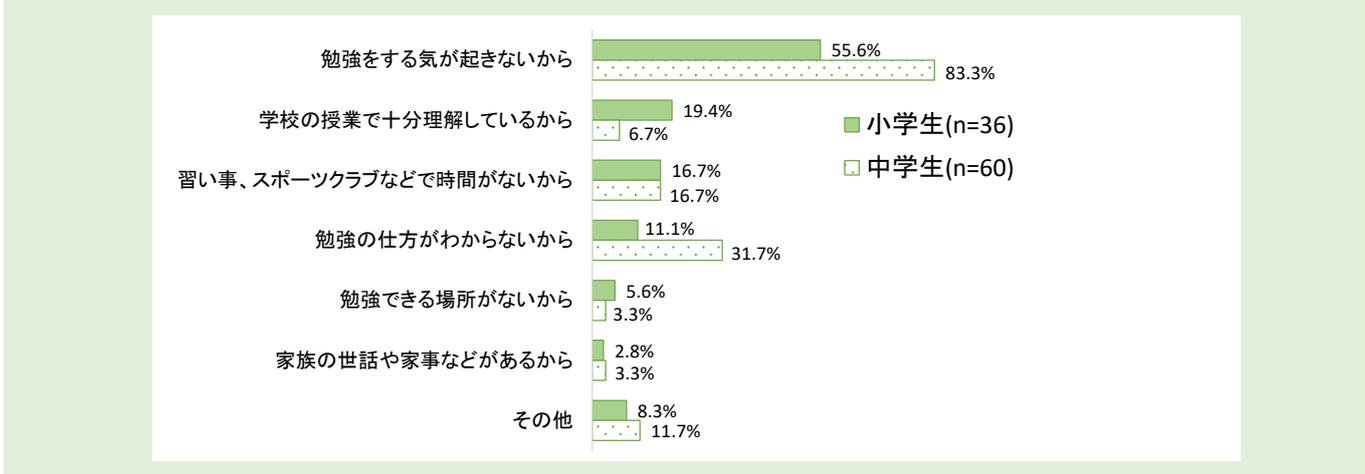
困難の重なりによる4類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の中学生で「まったくしない」、又は「30分より少ない」と回答した割合が比較的高くなっています<sup>34</sup>。（小学生については統計的な有意差なし）

勉強を全くしない場合の理由については、小学生・中学生ともに「勉強をする気が起きないから」の割合が最も高くなっています<sup>35</sup>。

### 問 28 ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか



### 問 28-1 勉強をまったくしない理由は何ですか



<sup>33</sup> 塾などでの時間も含めて回答されたものです。

<sup>34</sup> 養育・生活困難層では「2時間以上、3時間より少ない」の割合も高く、比較的長い時間勉強をしている子どもも見られます。

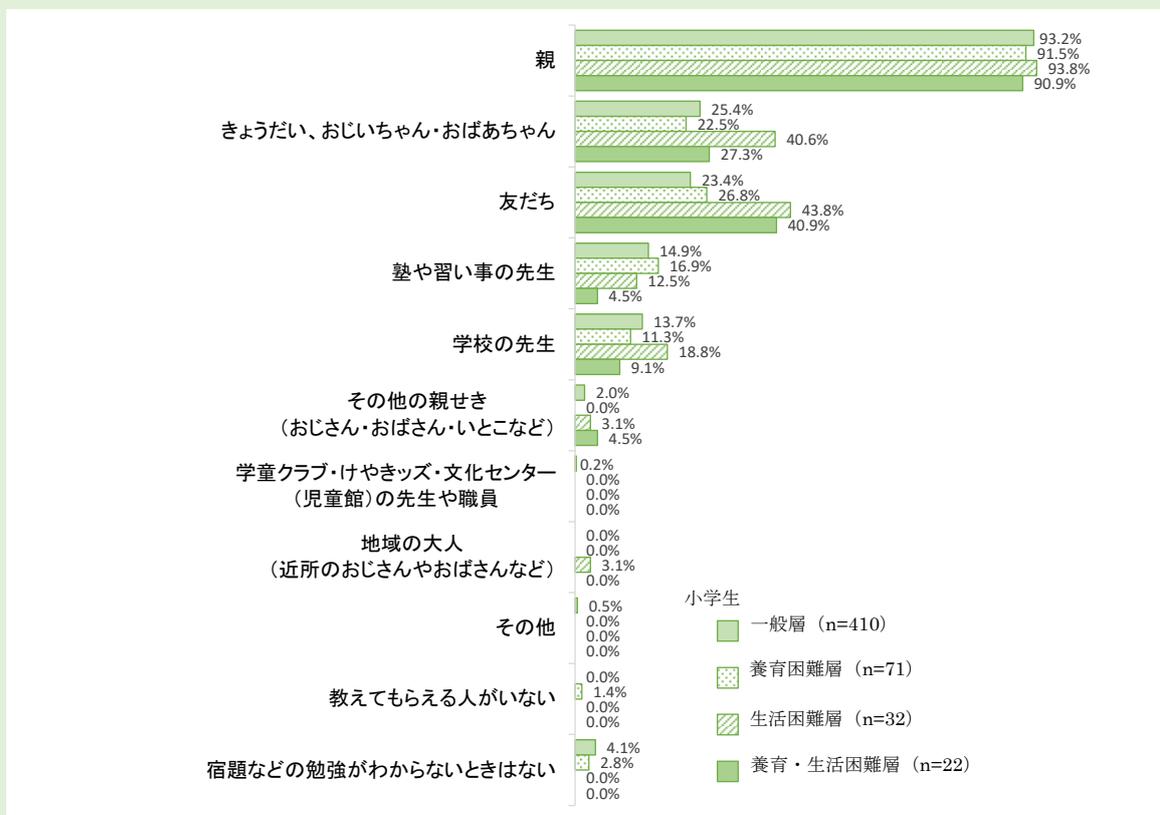
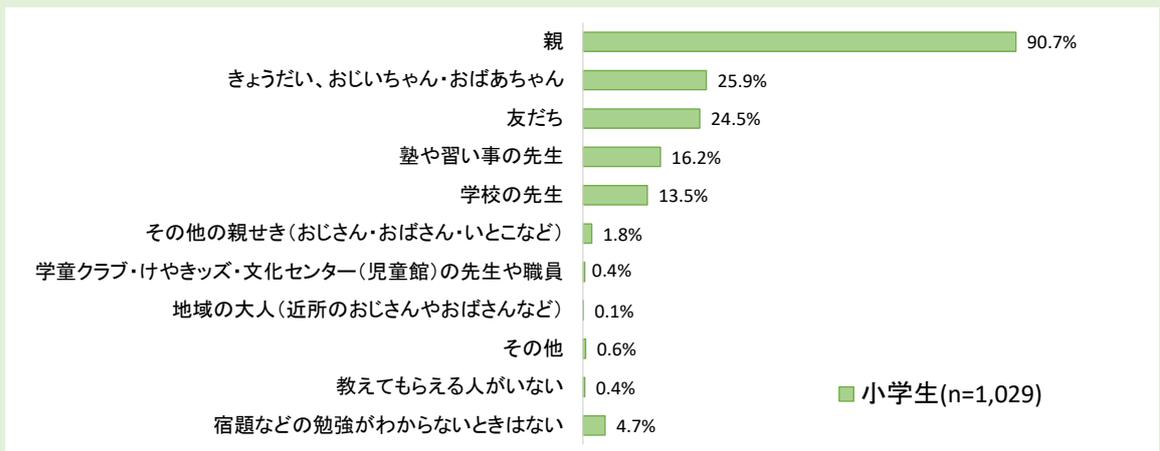
<sup>35</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する子どもだけでなく、「まったくしない」と回答した全ての子どもに関する集計結果です。

### ⑤勉強がわからない時には誰にみてもらうか

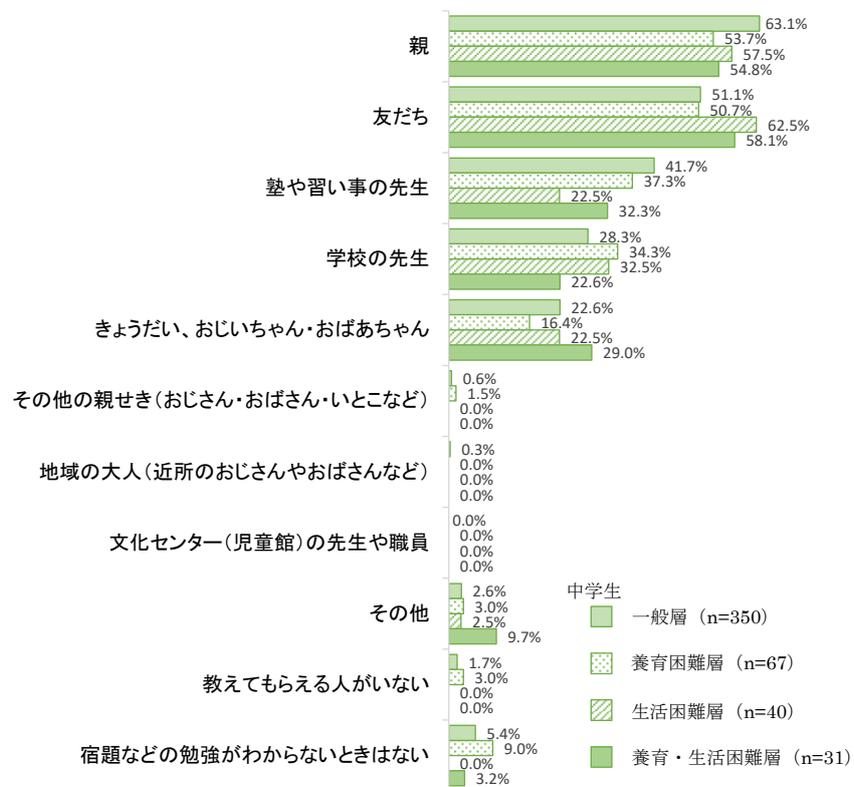
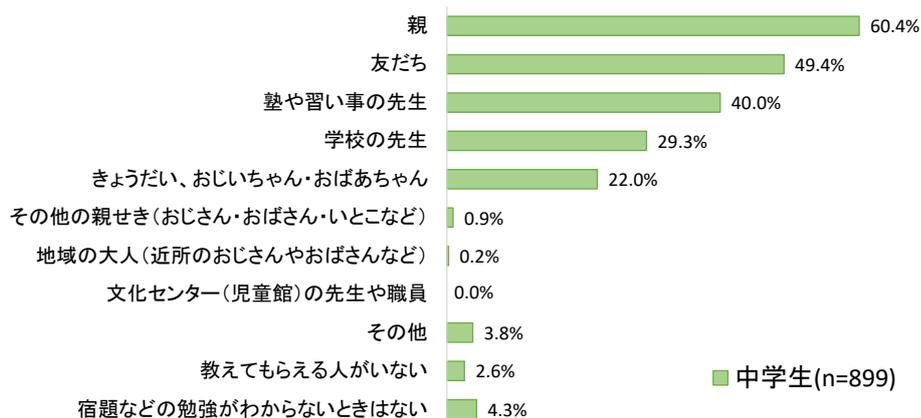
宿題などの勉強を、わからない時には誰にみてもらうかについて、小学生で約9割が「親」と回答しており、次いで「きょうだい、おじいちゃん・おばあちゃん」「友だち」の順となっています。中学生では約6割が「親」と回答しており、次いで「友だち」「塾や習い事の先生」の順となっています。

困難の重なりによる4類型別では、小学生で「友だち」について生活困難層や養育・生活困難層の家庭で割合が比較的高くなっています。(その他の点に関しては小学生・中学生ともに統計的な有意差なし)

### 問 29 宿題などの勉強を、わからないときには誰にみてもらいますか（小学生）



問 29 宿題などの勉強を、わからないときには誰にみてもらいますか（中学生）



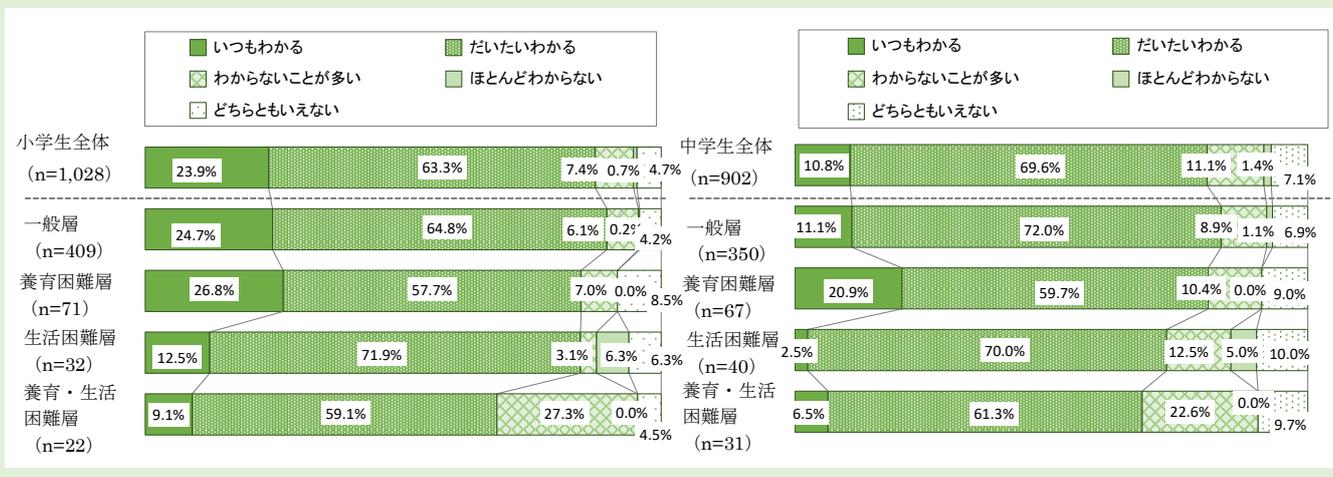
## ⑥学校の授業がわからないことがあるか

学校の授業がわからないことがあるかについて、小学生で「いつもわかる」が約2割で、「だいたいわかる」と合わせるとその割合は約9割となっています。中学生では「いつもわかる」が約1割、「だいたいわかる」と合わせると約8割となっています。

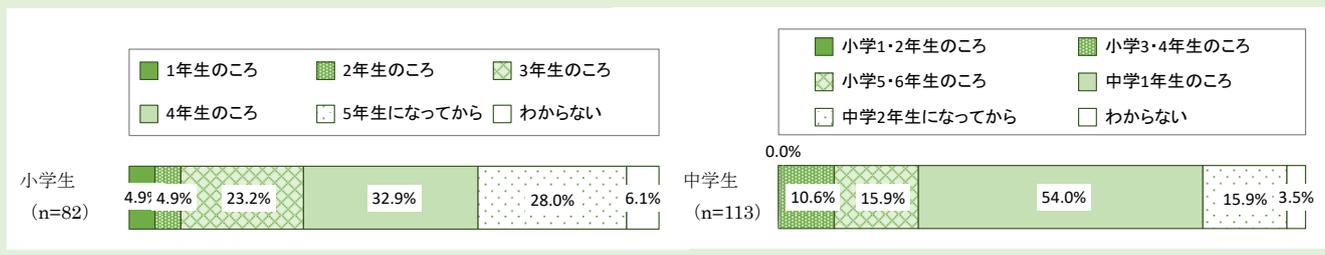
困難の重なりによる4類型別では、小学生・中学生ともに、養育・生活困難層の家庭で「いつもわかる」、又は「だいたいわかる」の割合が他の類型と比べて低くなっています。

学校の授業が「わからないことが多い」、又は「ほとんどわからない」と回答した子どもに関して、いつごろから授業がわからなくなったかについては、小学生で「4年生のころ」との回答が最も多くなっています。中学生では、「中学1年生のころ」との回答が最も多くなっています<sup>36</sup>。

### 問 30 学校の授業がわからないことがありますか



### 問 30-1 いつごろから、授業がわからなくなりましたか



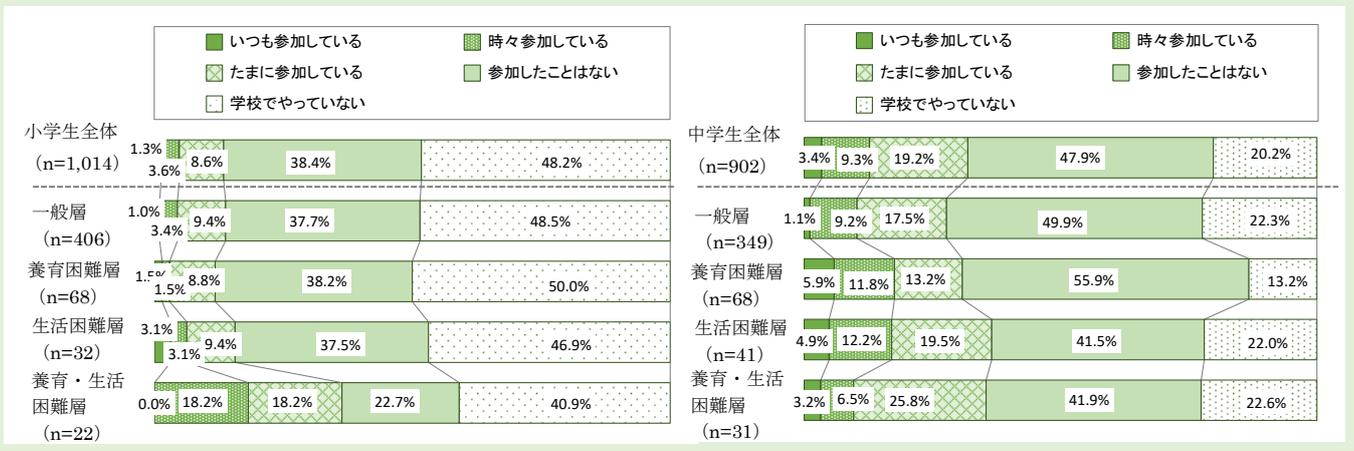
<sup>36</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する子どもだけでなく、「わからないことが多い」、又は「ほとんどわからない」と回答した全ての子どもに関する集計結果です。

## ⑦補習教室の参加の状況

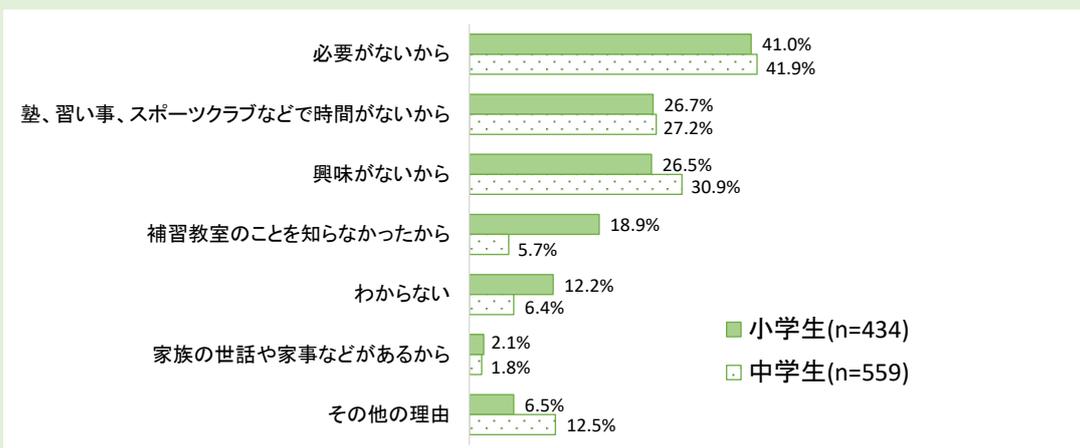
学校での補習教室の参加の状況について、小学生で約5割が「学校でやっていない」、約4割が「参加したことはない」と回答しており、参加したことがあるのは約1割となっています。中学生では約2割が「学校でやっていない」、約5割が「参加したことはない」と回答しており、参加したことがあるのは約3割となっています。(小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的有意差なし)

「たまに参加している」、又は「参加したことはない」場合の理由については、小学生・中学生ともに「必要がないから」が約4割、「興味がないから」と「塾、習い事、スポーツクラブなどで時間がないから」がそれぞれ約3割となっています<sup>37</sup>。

### 問 31 学校での補習教室に参加していますか



### 問 31-1 あまり参加しない理由は何ですか



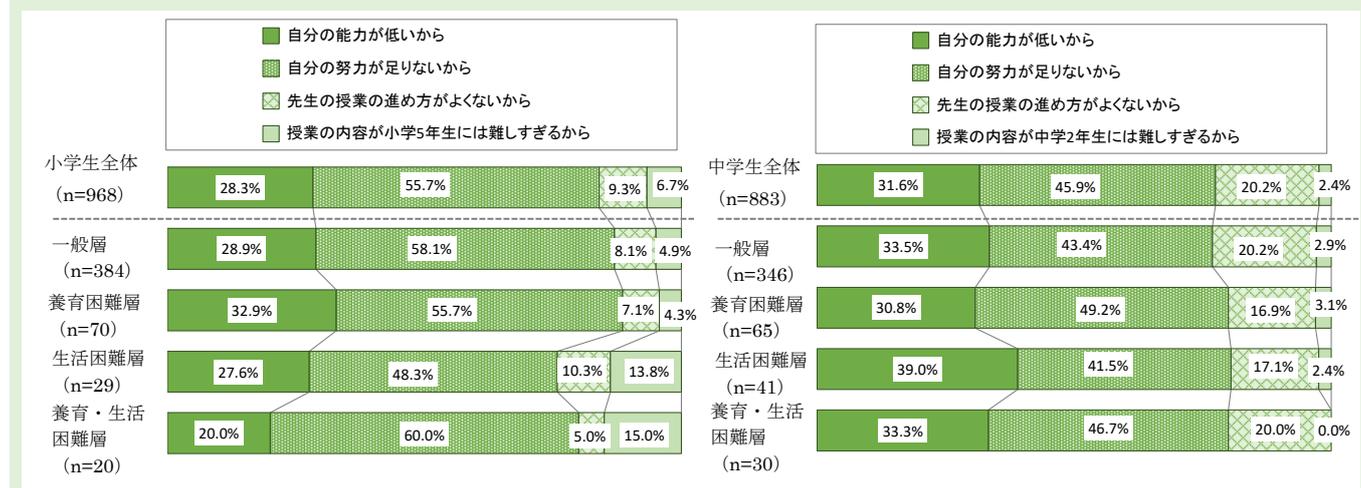
<sup>37</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する子どもだけでなく、「たまに参加している」、又は「参加したことはない」と回答した全ての子どもに関する集計結果です。

## ⑧授業がわからなくなったときの原因についての意識

授業をしっかり聞いているのに内容がわからなくなったときの原因をどのように考えるかについては、小学生で約6割、中学生で約5割が「自分の努力が足りないから」と回答しています。

(小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

### 問 35 もしあなたが授業をしっかり聞いているのに内容がわからなくなったら、その原因は何ですか

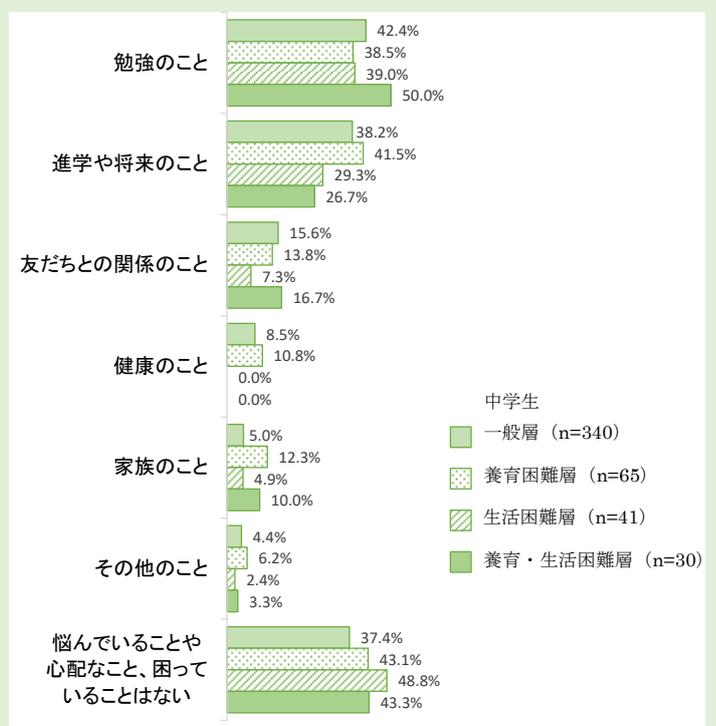
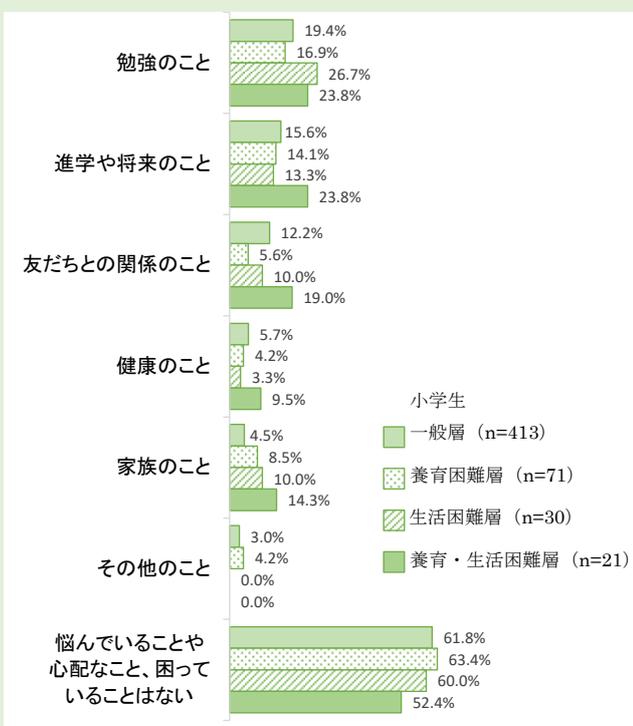
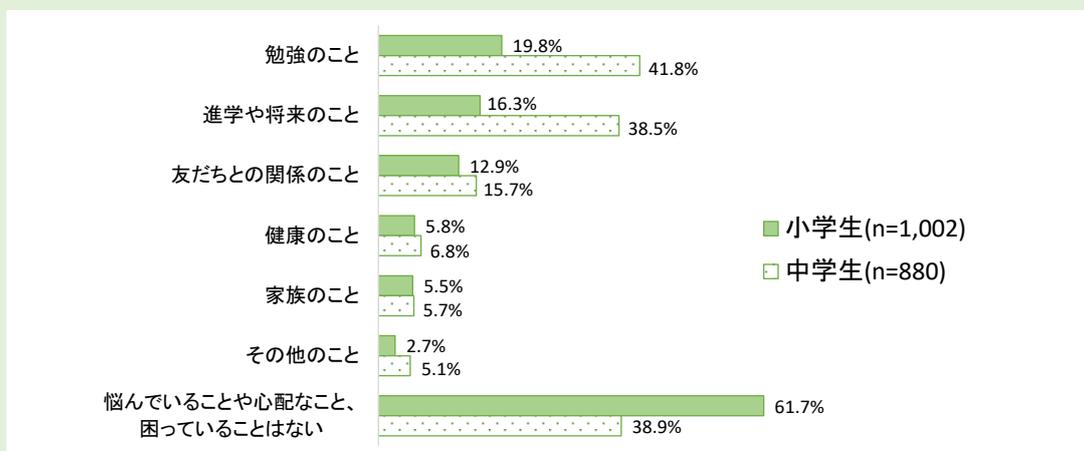


### (3)自己肯定感等の意識の状況

#### ①悩んでいることなど

悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることについて、小学生で「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」が約6割となっています。中学生では、「勉強のこと」「進学や将来のこと」がそれぞれ約4割となっています。(小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

問 11 悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば教えてください



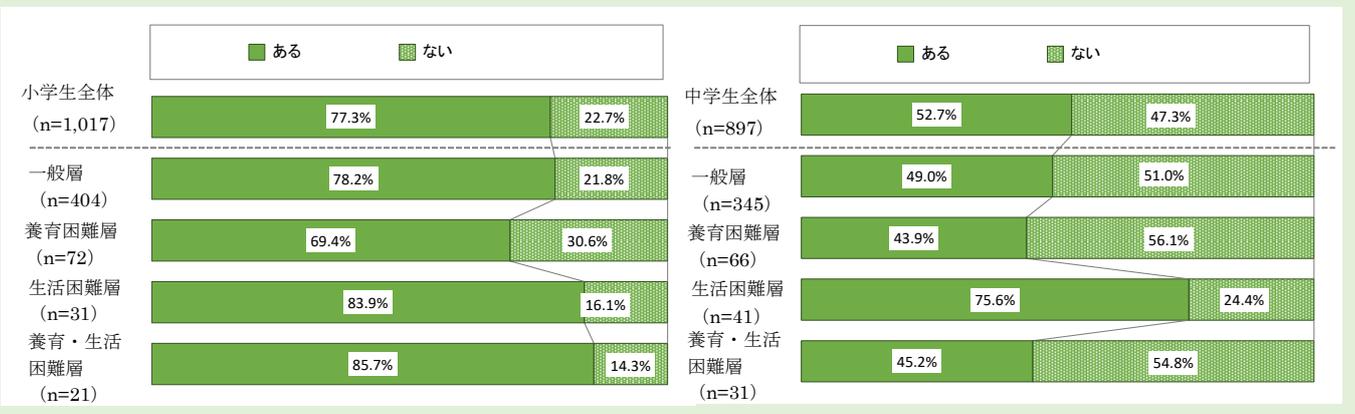
## ②将来の夢

将来の夢があるかについて、「ある」の割合は、小学生で約8割、中学生で約5割となっています。困難の重なりによる4類型別では、生活困難層の家庭の中学生で「ある」の割合が高くなっています。(小学生については統計的な有意差なし)

将来の夢が「ある」と回答した人の夢の内容としては、小学生で「スポーツ選手」、中学生で「医療関連職（医師、看護師、その他）」の回答件数が多くなっています<sup>38</sup>。

将来の夢が「ない」と回答した理由については、小学生・中学生ともに「具体的に、何も思いうかばないから」の割合が最も高く、次いで「わからない」「夢がかなうのがむずかしいと思うから」の順になっています<sup>39</sup>。

### 問 15 将来の夢がありますか



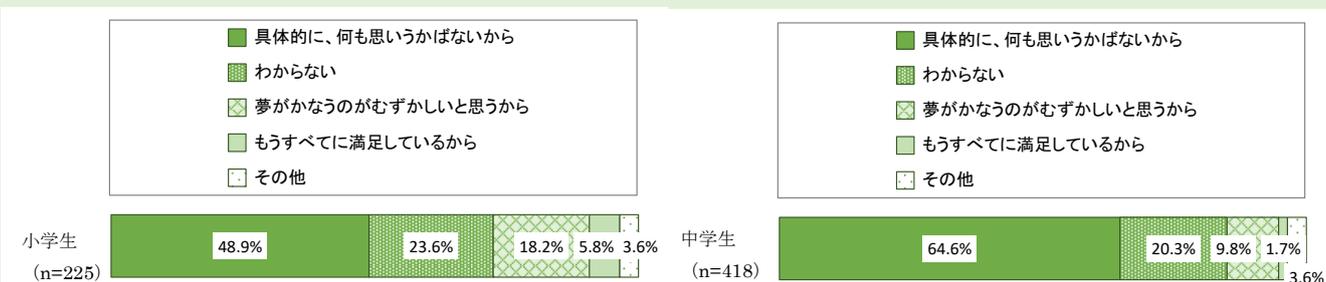
<sup>38</sup> 小学生・中学生それぞれ回答件数上位 15 の分類を掲載しました。

<sup>39</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する子どもだけでなく、将来の夢について「ない」と回答した全ての子どもに関する集計結果です。

### 問 15-1 将来の夢は何ですか

順位	小学生		中学生	
	回答内容の分類	件数	回答内容の分類	件数
1	スポーツ選手	208	医療関係（医師、看護師、その他）	66
2	学校・保育園・幼稚園などの先生	88	学校・保育園・幼稚園などの先生	57
3	医療関係（医師、看護師、その他）	87	スポーツ選手	52
4	調理・料理関係（パティシエなど）	62	動物関係（獣医師、トリマー、飼育員など）	27
5	動物関係（獣医師、トリマー、飼育員など）	53	芸能関係（女優俳優、アナウンサーなど）	25
6	芸能関係（女優俳優、アナウンサーなど）	40	ファッション関係（デザイン、モデル等）	22
7	ファッション関係（デザイン、モデル等）	37	芸術関係（芸術家、音楽家、ダンサーなど）	21
8	学者・研究者	36	学者・研究者	19
9	芸術関係（芸術家、音楽家、ダンサーなど）	32	調理・料理関係（パティシエなど）	17
10	出版関係	27	美容関係（美容師、ネイリストなど）	16
11	鉄道・バス等の運転手など	26	航空関係（パイロット、宇宙飛行士、CAなど）	16
12	美容関係（美容師、ネイリストなど）	23	公務員（外交官、司書含む）	14
13	大工・建築・設計	23	スポーツ関係（トレーナーなど）	13
14	ゲーム関係	20	出版関係	13
15	公安関係（警察、消防士、自衛官など）	19	大工・建築・設計	13
—	その他	132	その他	144

### 問 15-2 将来の夢がない理由は何ですか

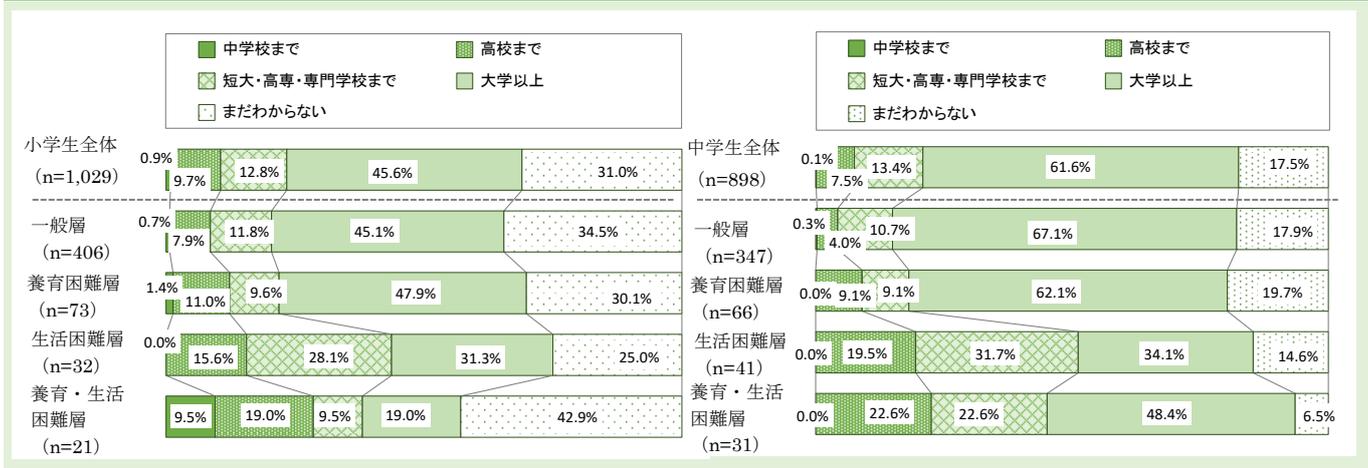


### ③将来どの学校まで行きたいと思うか

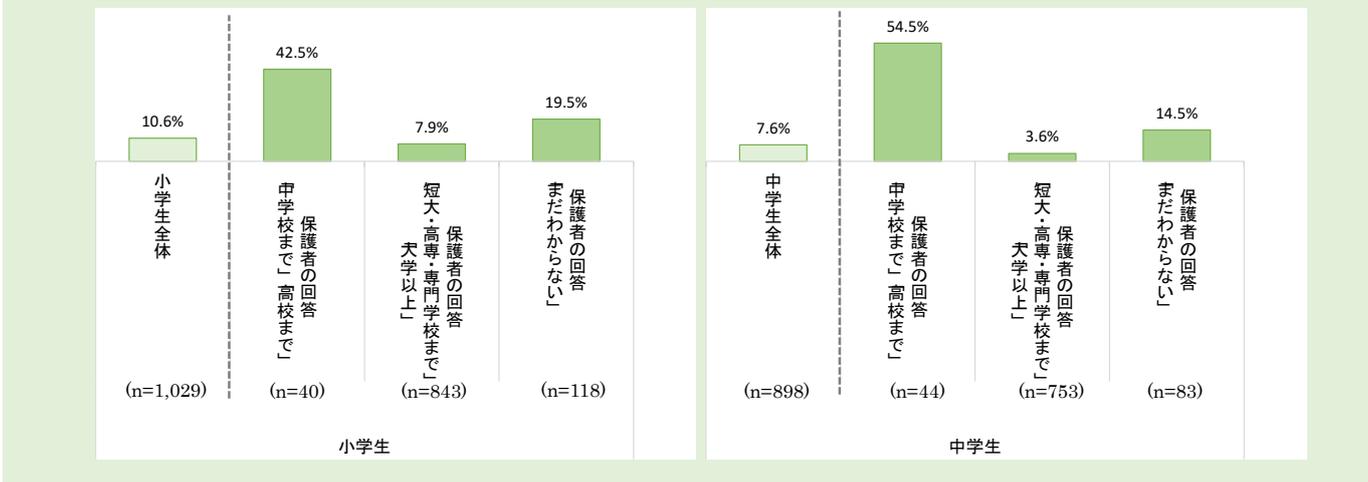
将来どの学校まで行きたいと思うかについて、小学生で約5割、中学生で約6割が「大学以上」と回答しています。困難の重なりによる4類型別では、小学生・中学生ともに、生活困難層、又は養育・生活困難層の家庭で「大学以上」の割合が比較的低くなっています。

また、保護者の考えと子どもの考えの関連性を見ると、「中学校まで」、又は「高校まで」と回答した保護者の子どもで、「中学校まで」、又は「高校まで」と回答する割合が相対的に高くなっています。

#### 問 16 将来どの学校まで行きたいと思いますか



#### 問 16 将来どの学校まで行きたいと思いますか (「中学校まで」、又は「高校まで」の割合)



#### ④自己肯定感、将来意識等

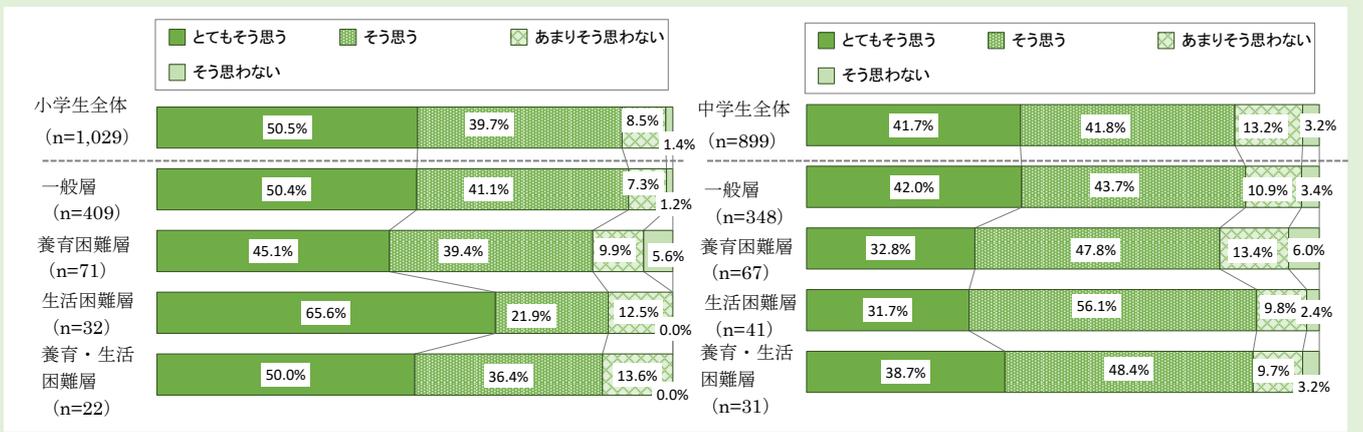
自己肯定感や将来意識等に関し、「今のままの自分が好きだ」については、養育困難層の家庭の小学生で「とてもそう思う」、又は「そう思う」と回答した割合が他の類型と比べて低くなっています。

「自分は家族に大切にされていると思う」については、小学生・中学生ともに、養育・生活困難層の家庭で「とてもそう思う」と回答した割合が他の類型と比べて低くなっています。また、「自分は家族を大切にしていると思う」については、養育・生活困難層の家庭の中学生で「とてもそう思う」と回答した割合が他の類型と比べて低くなっています。

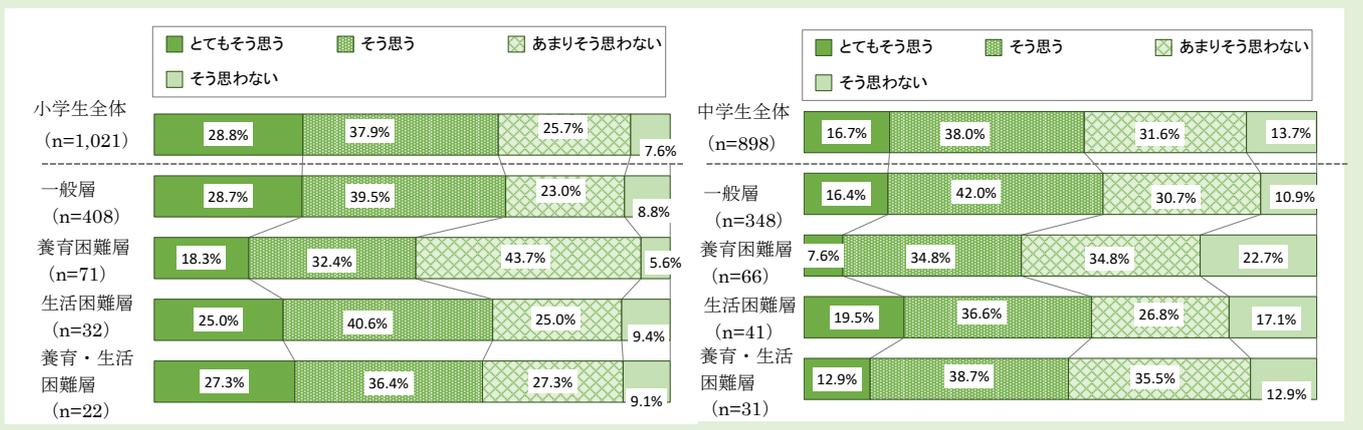
「不安に感じることはない」については、小学生・中学生ともに、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭で「とてもそう思う」、又は「そう思う」と回答した割合が比較的低くなっています。

(その他の点については困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

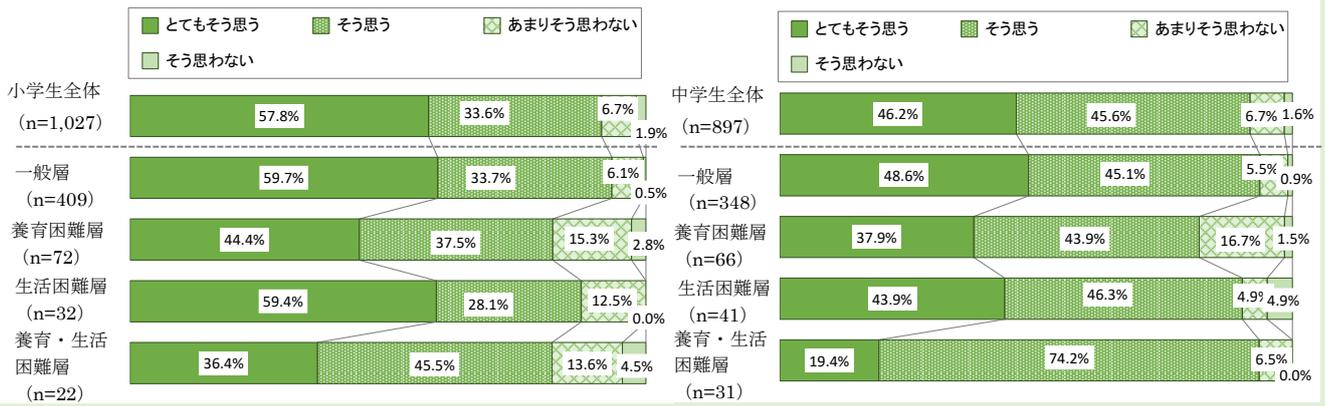
#### 問 33A あなたの思いや気持ちについて「がんばれば、いい結果が出ると思う」



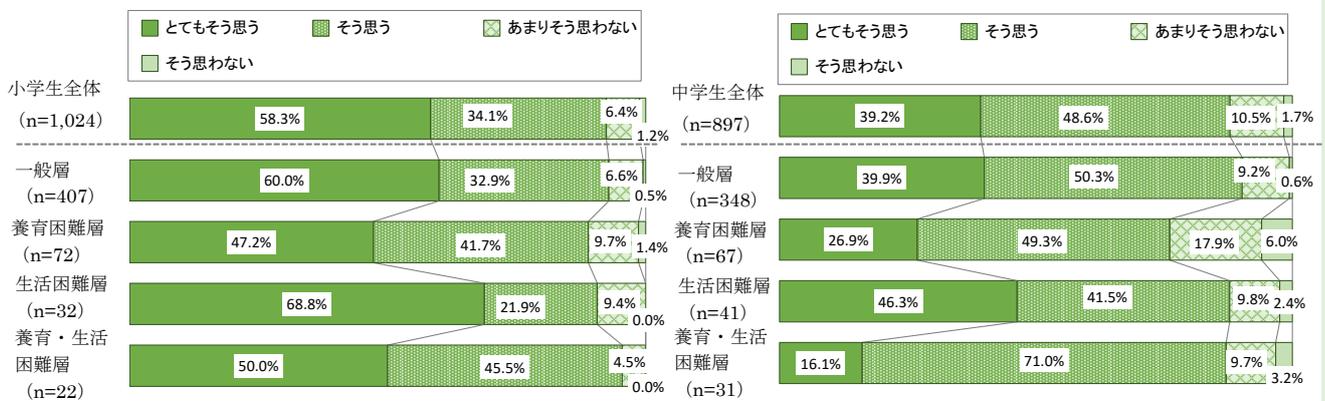
#### 問 33B あなたの思いや気持ちについて「今のままの自分が好きだ」



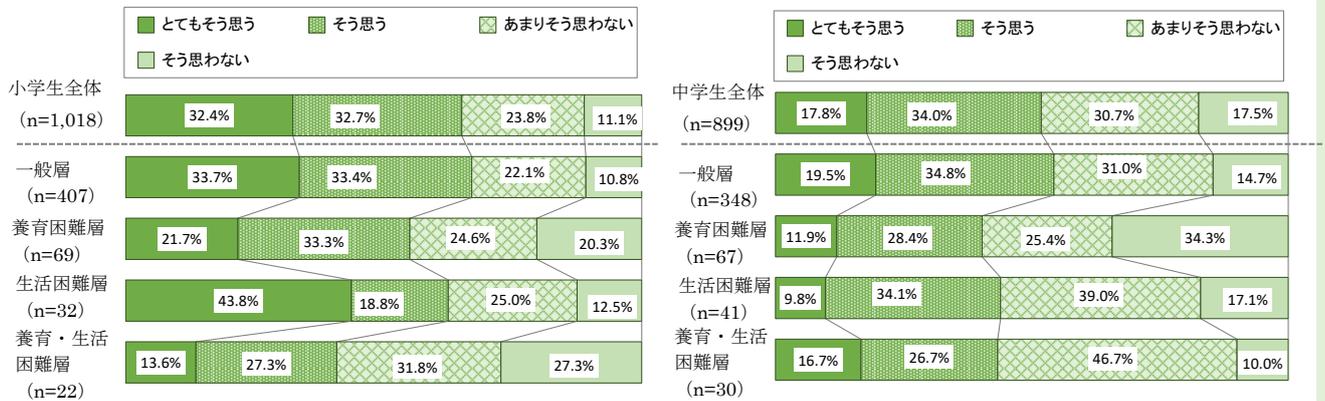
問 33C あなたの思いや気持ちについて「自分は家族に大事にされていると思う」



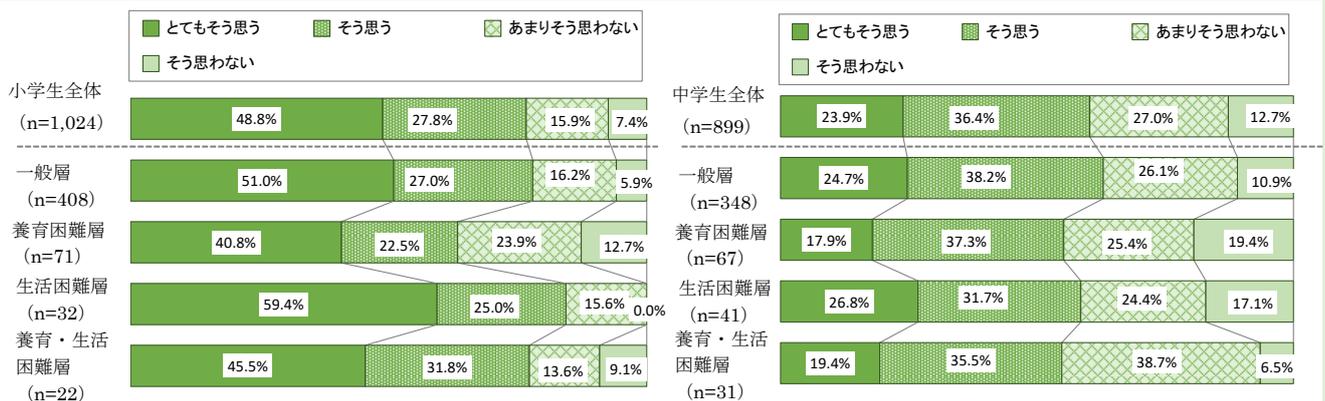
問 33D あなたの思いや気持ちについて「自分は家族を大切にしていると思う」



問 33E あなたの思いや気持ちについて「不安に感じることはない」



問 33F あなたの思いや気持ちについて「未来の自分が楽しみだ」

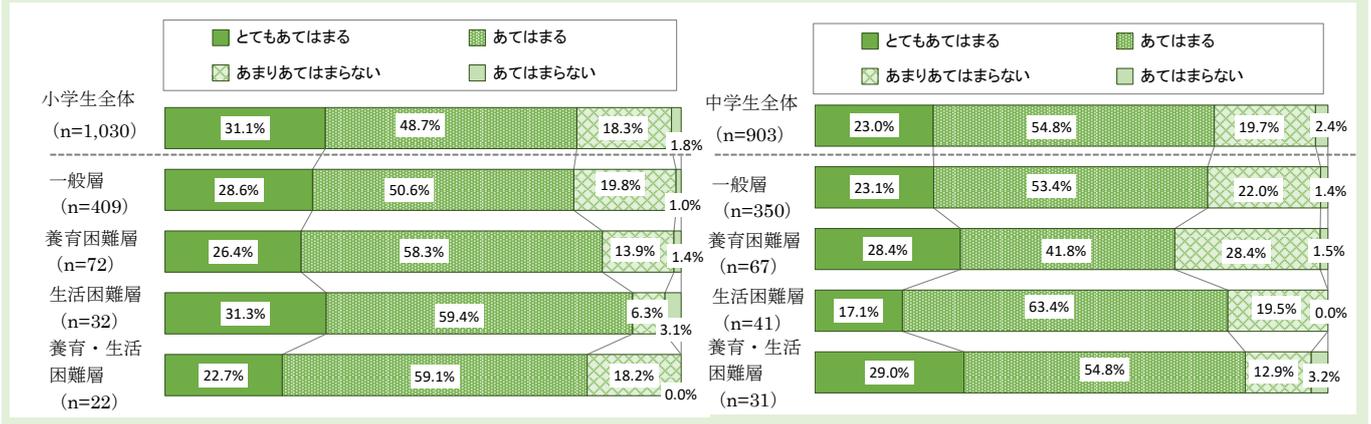


### ⑤自身の能力等に関する認識

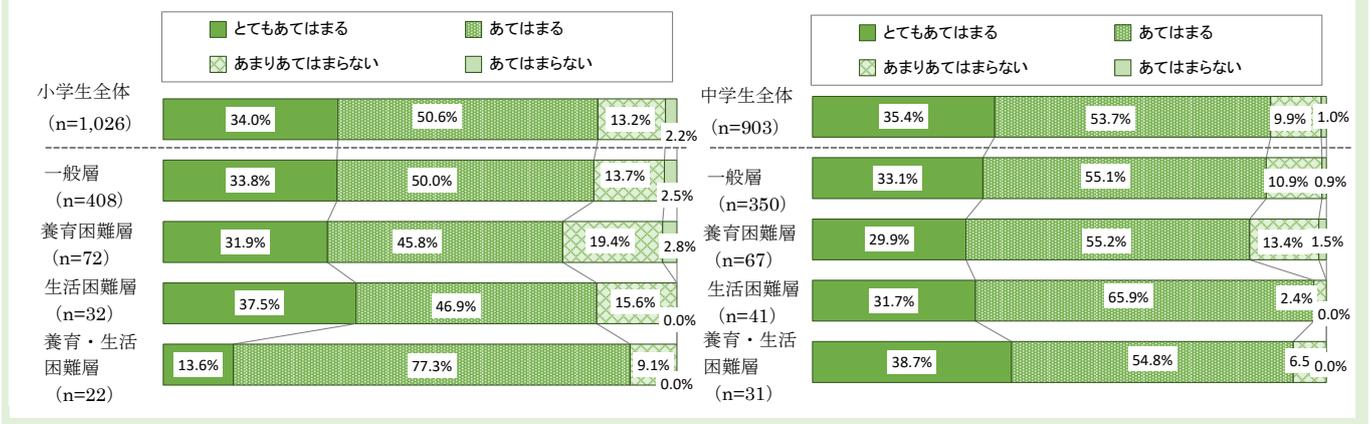
自分の能力等としてあてはまることに関し、「はじめて会った人とでもすぐに話ができる」については、生活困難層と養育・生活困難層の家庭の小学生で「とてもあてはまる」、又は「あてはまる」の割合が比較的高くなっています。

(その他の点については困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

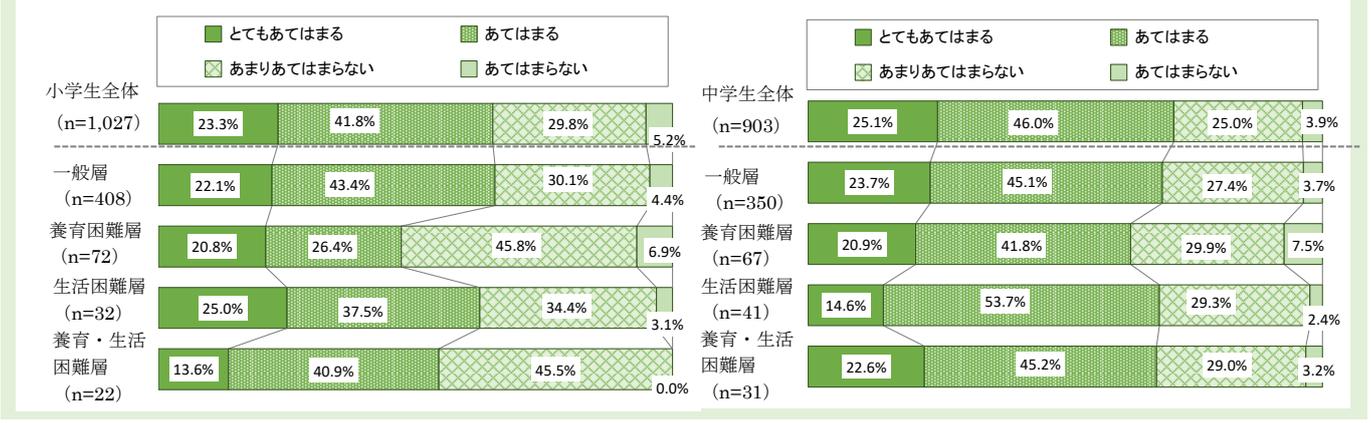
#### 問 34A あなたのことについて「必要なときには、苦手なことにもがんばって取り組むようにしている」



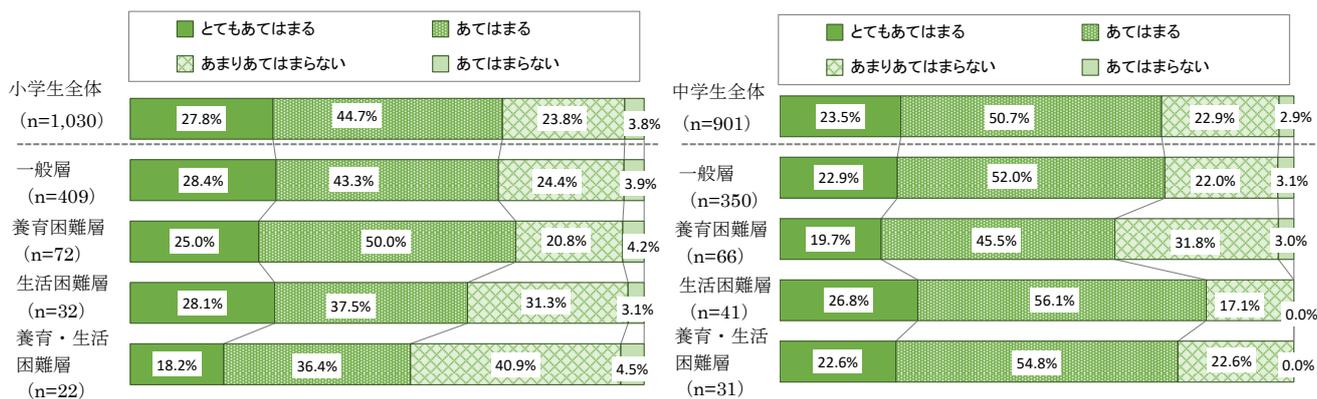
#### 問 34B あなたのことについて「相手の気持ちを考えて話をするようにしている」



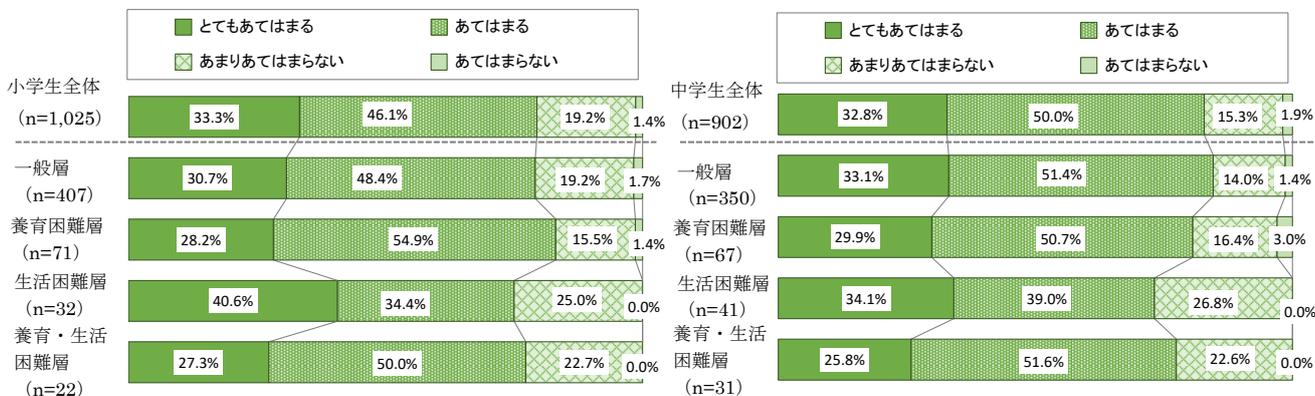
#### 問 34C あなたのことについて「わからないことがあったときには、自分からすすんで調べることができる」



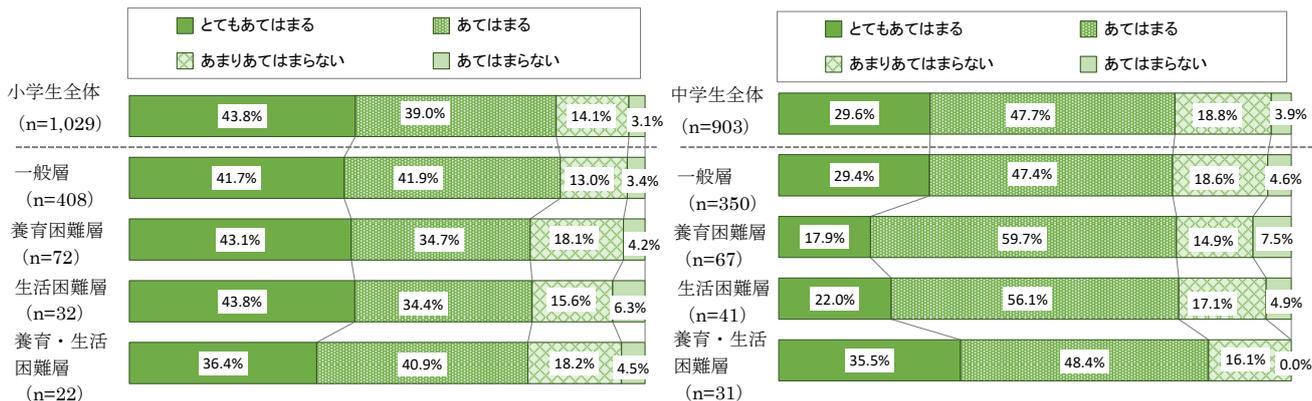
問 34D あなたのことについて「身のまわりのことはできるだけ自分でしている」



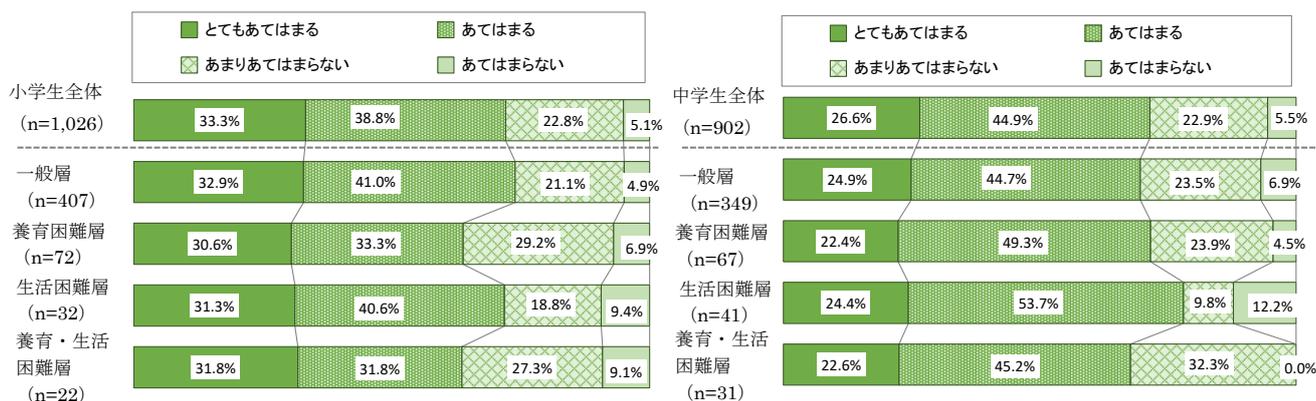
問 34E あなたのことについて「決められたことは守ることができる」



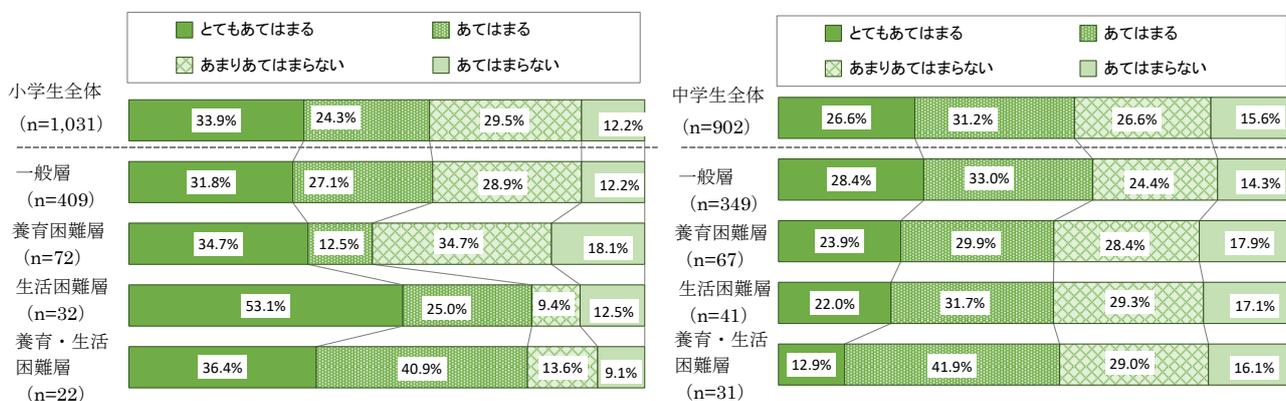
問 34F あなたのことについて「失敗してもまたがんばろうと思う」



問 34G あなたのことについて「嫌なことがあっても気持ちを切りかえることができる」



問 34H あなたのことについて「はじめてあった人とでもすぐに話ができる」

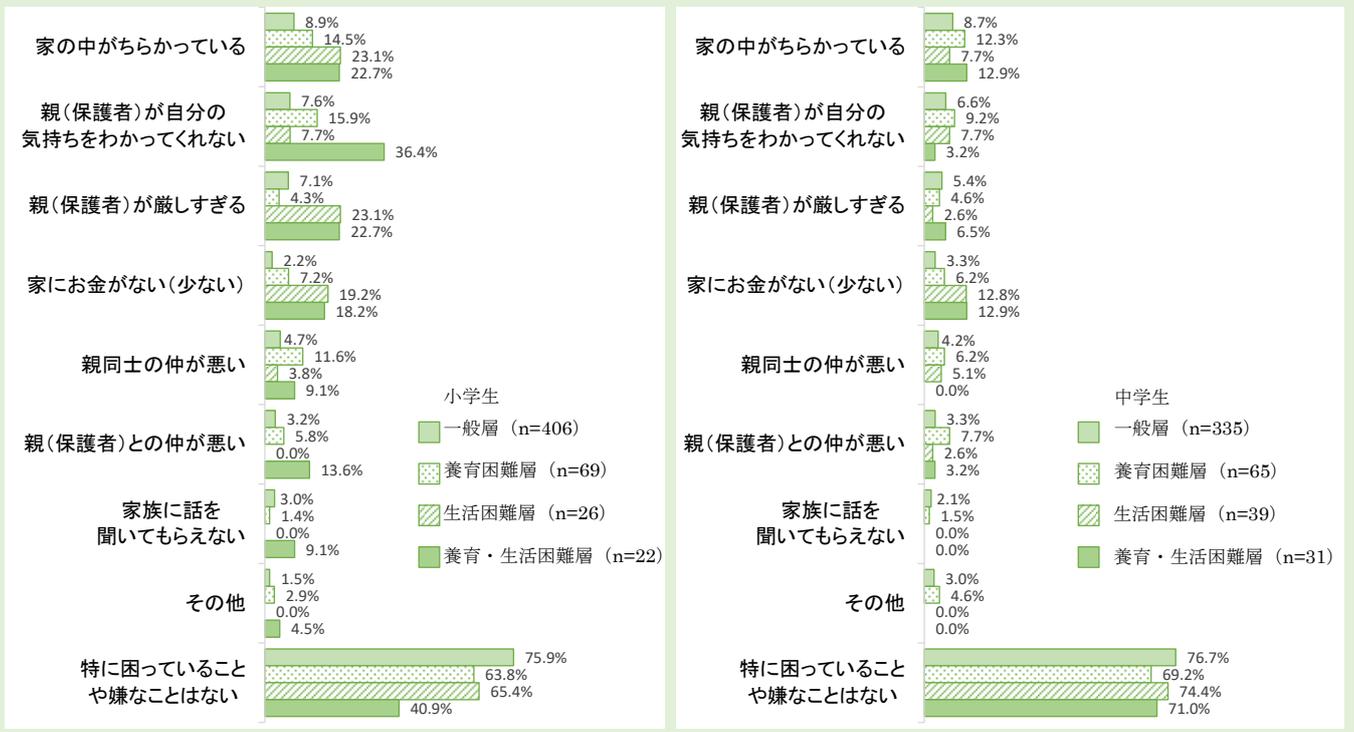
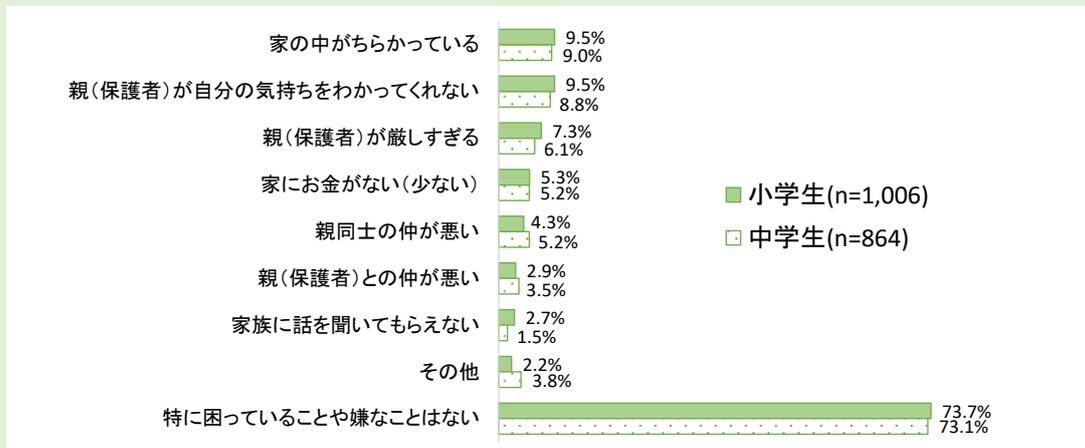


## ⑥家族のことなどで困っていることや嫌なこと

家族のことなどで困っていることや嫌なことについて、小学生・中学生ともに約7割が「特に困っていることや嫌なことはない」と回答しています。他方、「家の中がちらかっている」や「親（保護者）が自分の気持ちをわかってくれない」がそれぞれ約1割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭の小学生で、「親（保護者）が自分の気持ちをわかってくれない」「親（保護者）が厳しすぎる」「家にお金がない（少ない）」「親（保護者）との仲が悪い」について割合が比較的高く、「特に困っていることや嫌なことはない」の割合は他の類型と比べて低くなっています。中学生では、「家にお金がない（少ない）」の割合が、生活困難層と養育・生活困難層の家庭で比較的高くなっています。

問 36 家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことはありますか

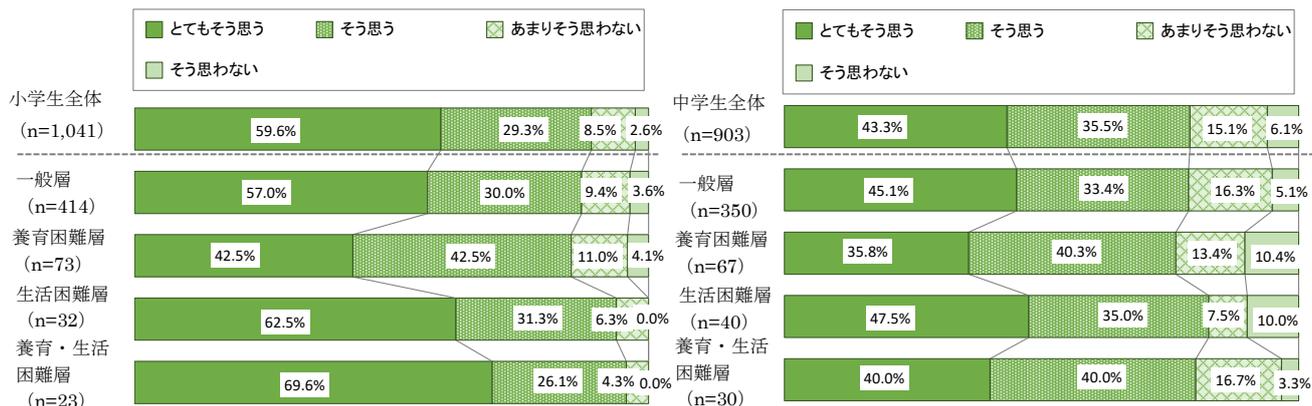


## (4)居場所・経験に関する状況

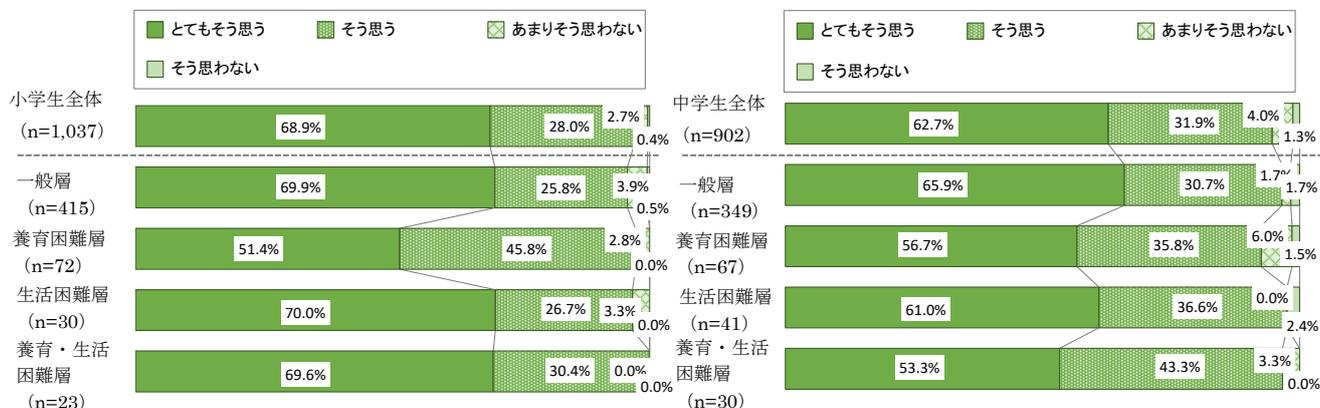
### ①友だちとの関係

友だちとの関係をどのように思うかについて、困難の重なりによる4類型別では、小学生・中学生ともに、養育・生活困難層の家庭で、「友だちに好かれていると思う」に関し「とてもそう思う」と回答した割合が他の類型と比べて低くなっています。

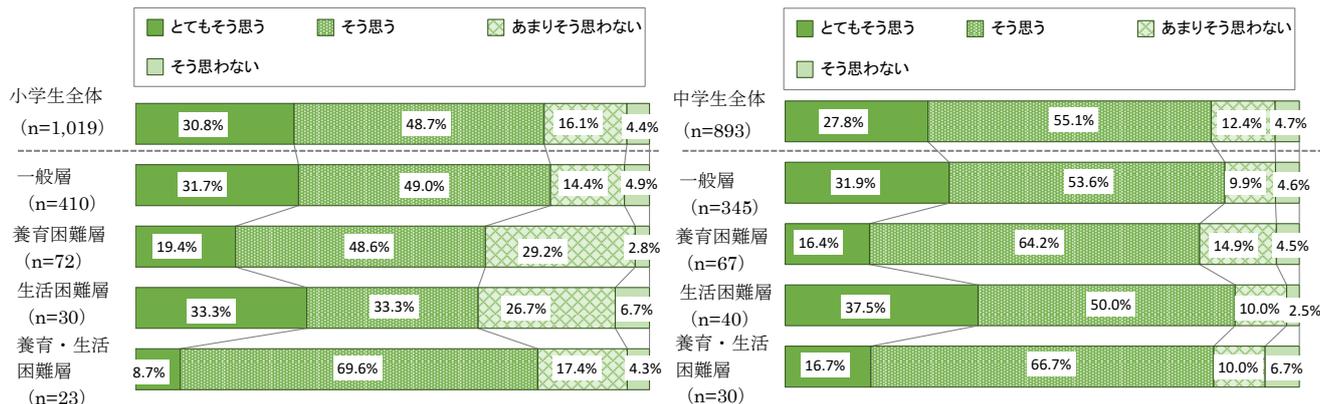
#### 問9A 友だちとの関係「友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う」



#### 問9B 友だちとの関係「友だちと仲良くしていると思う」



#### 問9C 友だちとの関係「友だちに好かれていると思う」

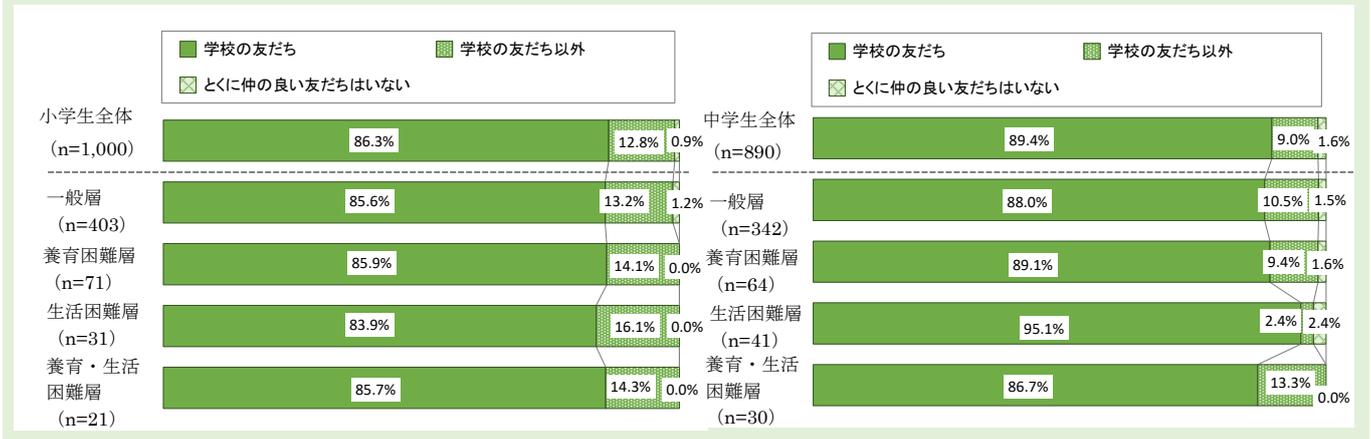


## ②一番仲が良い友だち

一番仲が良い友だちについて、小学生・中学生ともに「学校の友だち」が約9割となっています<sup>40</sup>。なお、「とくに仲の良い友だちはいない」の割合は小学生で0.9%、中学生で1.6%となっています。

(小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

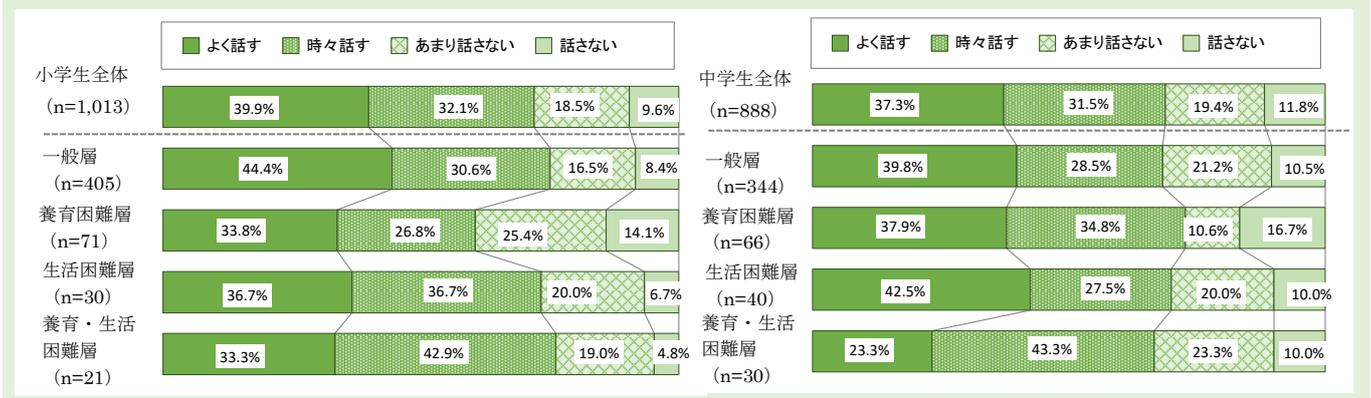
### 問 10 一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか



## ③困っていることや悩みごとの話し相手

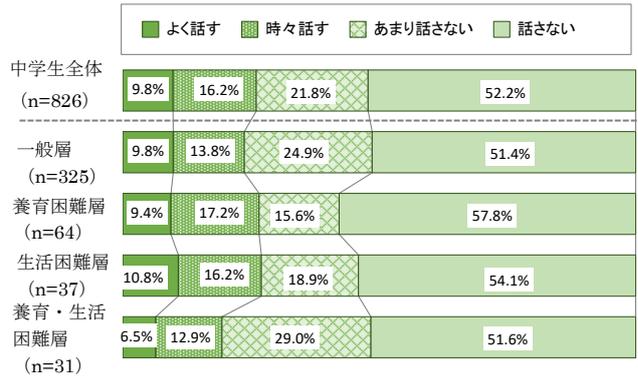
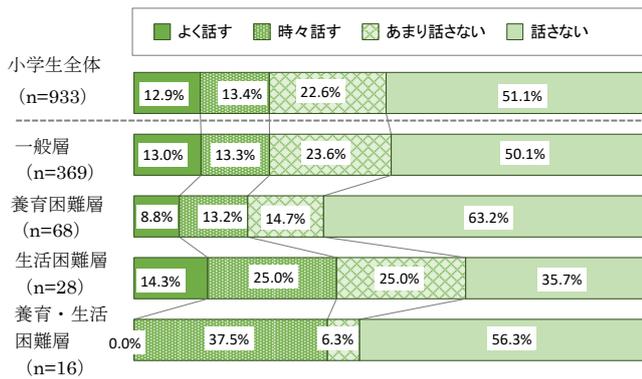
ふだん、困っていることや悩みごとを他の人にどれくらい話すかについて、困難の重なりによる4類型別では、生活困難層や養育・生活困難層の家庭の小学生で「きょうだい」に対して「よく話す」、又は「時々話す」の割合が比較的高くなっています。また、養育困難層や養育・生活困難層の家庭の小学生で「おじいちゃん・おばあちゃん・その他の親せき」に対して「よく話す」、又は「時々話す」の割合が比較的低くなっています。(中学生については統計的な有意差なし)

### 問 12A 困っていることや悩みごとの話し相手「親」

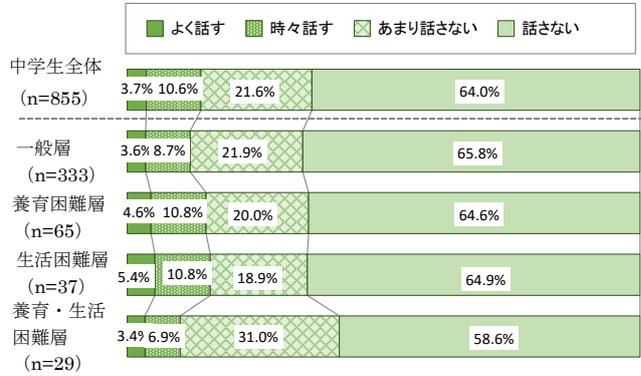
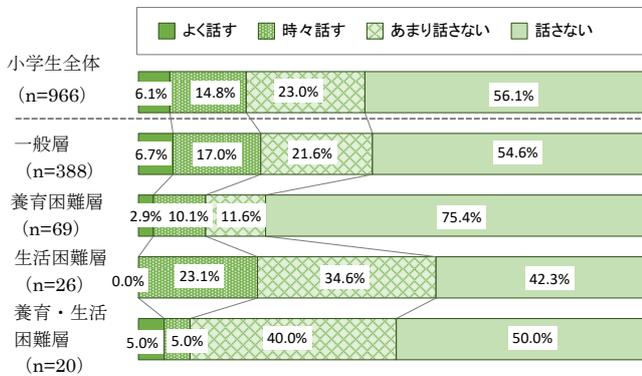


<sup>40</sup> 「学校はいっしょではないけれども、近所に住んでいる友だち」「地域のスポーツクラブの友だち」「塾の友だち」「塾以外の習い事の友だち」「SNSなど、インターネットで知り合った友だち」「その他の友だち」の選択肢による回答を合わせて「学校の友だち以外」として集計しています。

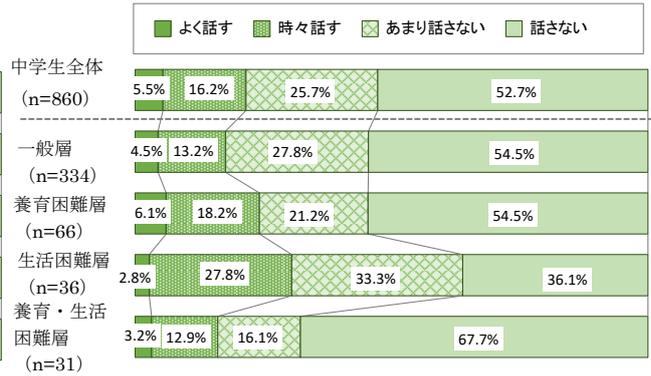
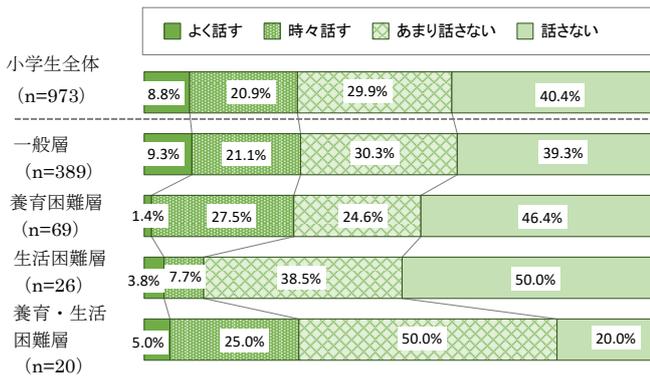
## 問 12B 困っていることや悩みごとの話し相手「きょうだい」



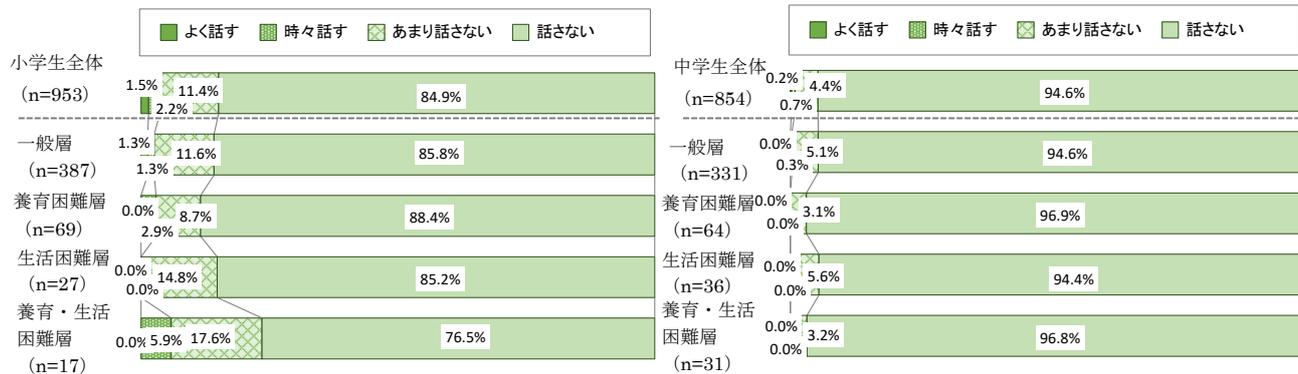
## 問 12C 困っていることや悩みごとの話し相手「おじいちゃん・おばあちゃん・その他の親せき」



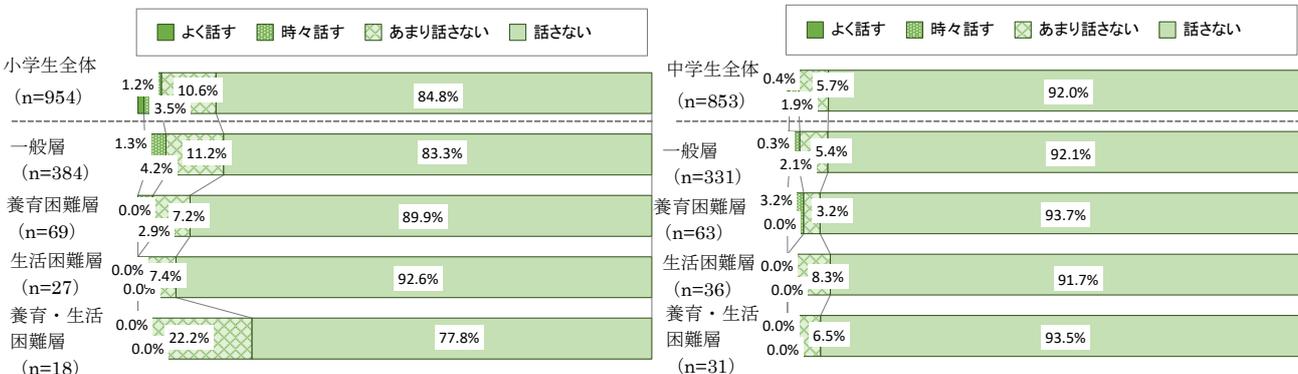
## 問 12D 困っていることや悩みごとの話し相手「学校の先生」



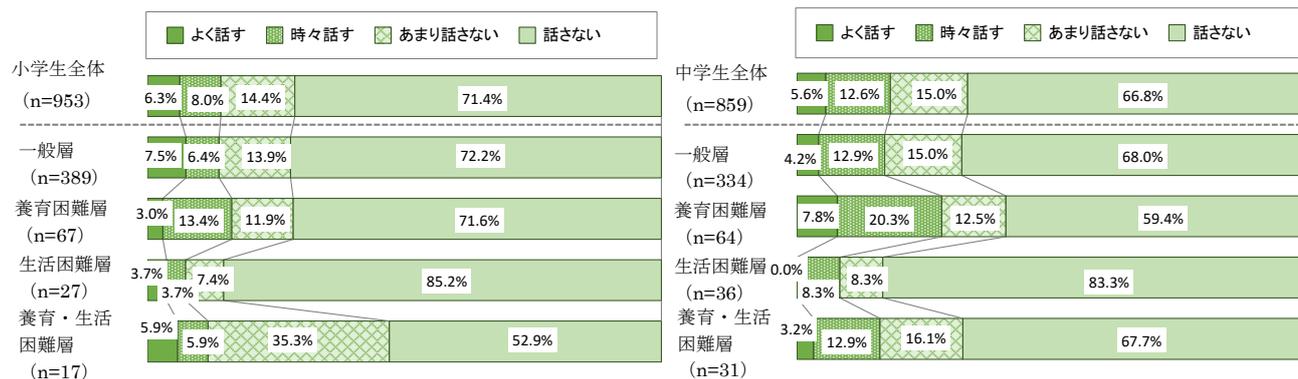
問 12E 困っていることや悩みごとの話し相手「学童クラブ・けやきッズ・文化センター（児童館）の先生や職員」「文化センター（児童館）の先生や職員」



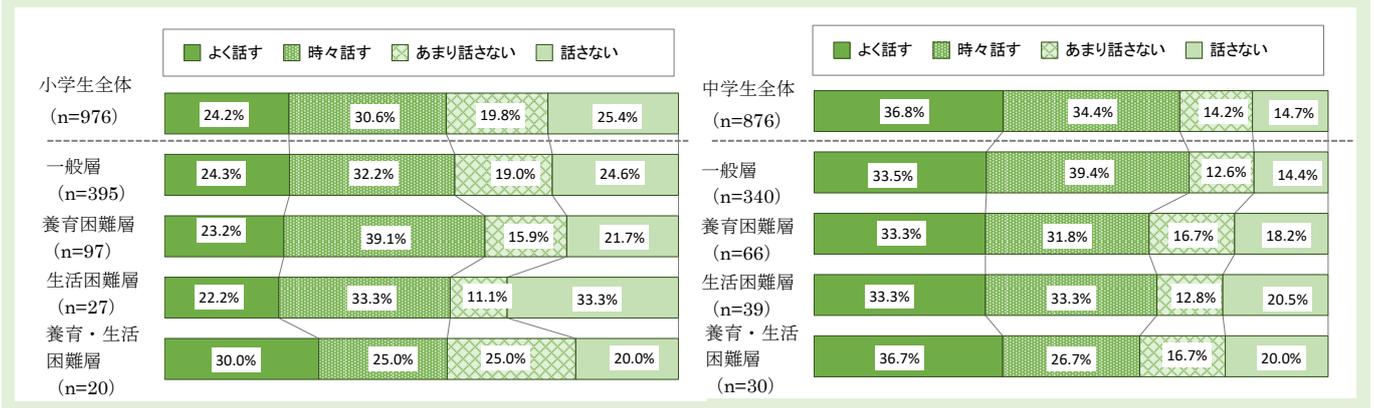
問 12F 困っていることや悩みごとの話し相手「地域の大人（近所のおじさんやおばさんなど）」



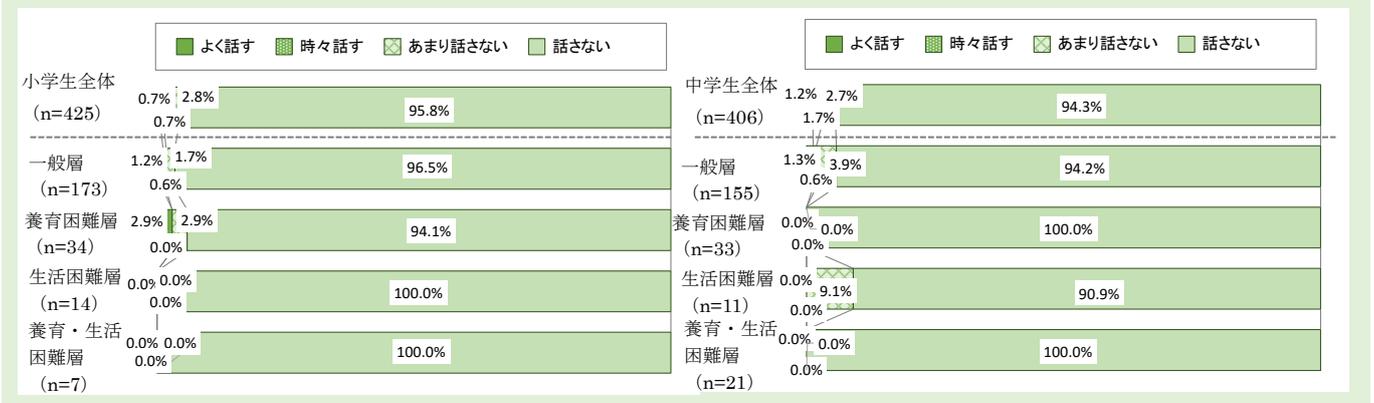
問 12G 困っていることや悩みごとの話し相手「塾・習い事・スポーツクラブなどの先生」



## 問 12H 困っていることや悩みごとの話し相手「友だち」



## 問 12I 困っていることや悩みごとの話し相手「その他」

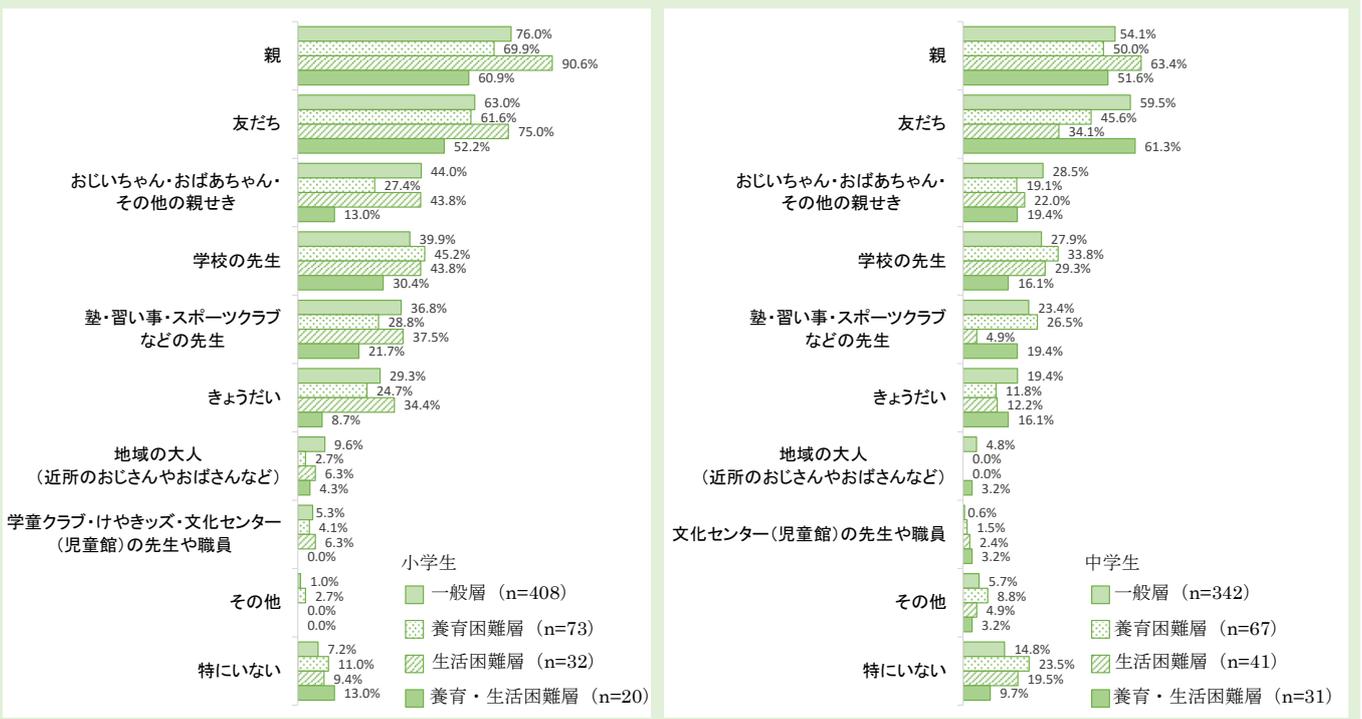
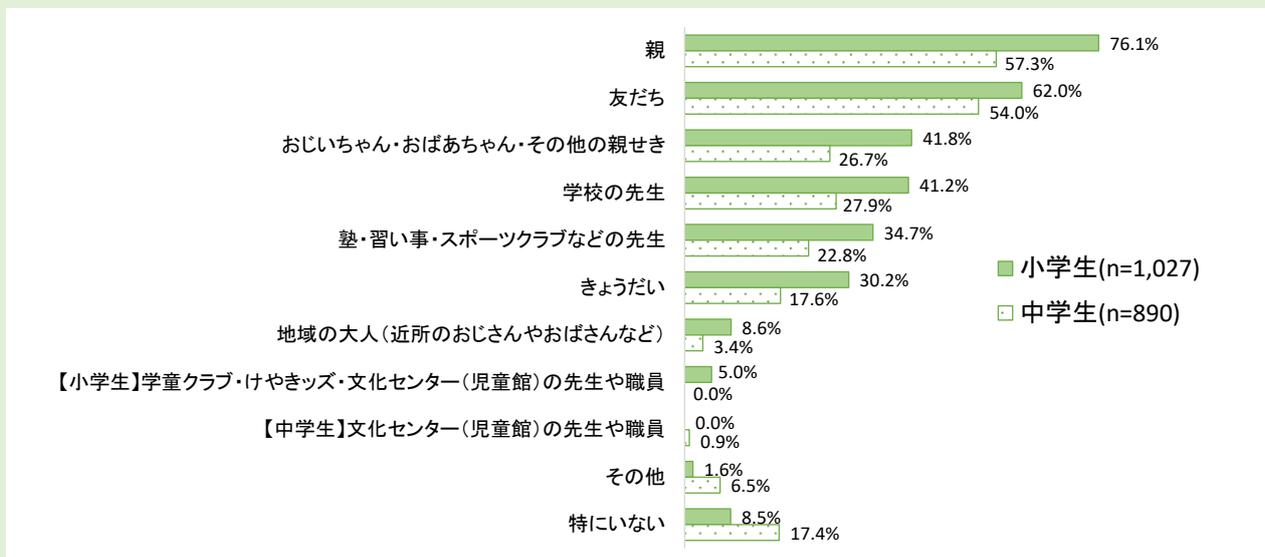


#### ④まわりで尊敬できる人

まわりで尊敬できる人について、小学生・中学生ともに「親」の割合が最も高く、次いで「友だち」が高くなっています。なお、「特にいない」の割合は、小学生で約1割、中学生で約2割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭の小学生で、「親」と「おじいちゃん・おばあちゃん・その他の親せき」の割合が他の類型と比べて低くなっています。中学生では、生活困難層の家庭で「塾・習い事・スポーツクラブなどの先生」と「友だち」の割合が他の類型と比べて低くなっています。

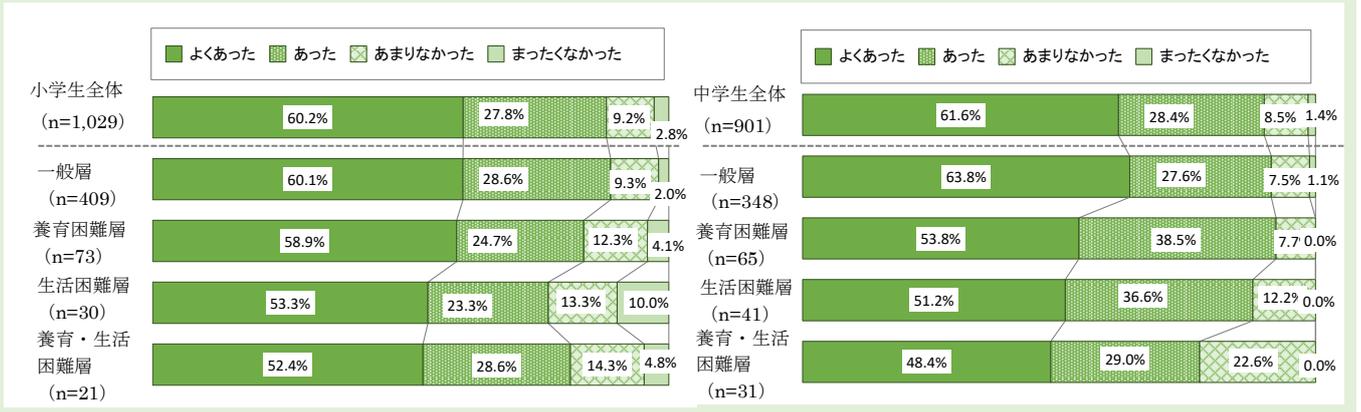
問 13 まわりで尊敬できる人は誰ですか



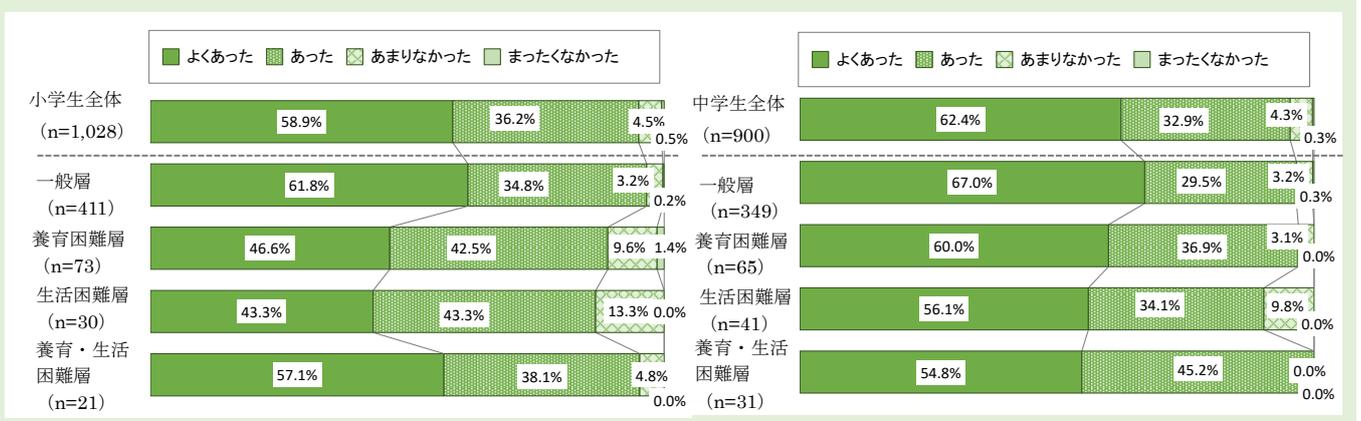
### ⑤幼少期（小学生になる前）の経験

幼少期（小学生になる前）の経験について、困難の重なりによる4類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の小学生で「家族の人にほめられたこと」「家族でレジャー（遊び）に出かけたこと」「家族の人に公園などで遊んでもらったこと」が「よくあった」と回答する割合が、一般層と比べて低い傾向があります。（中学生については統計的有意差なし）

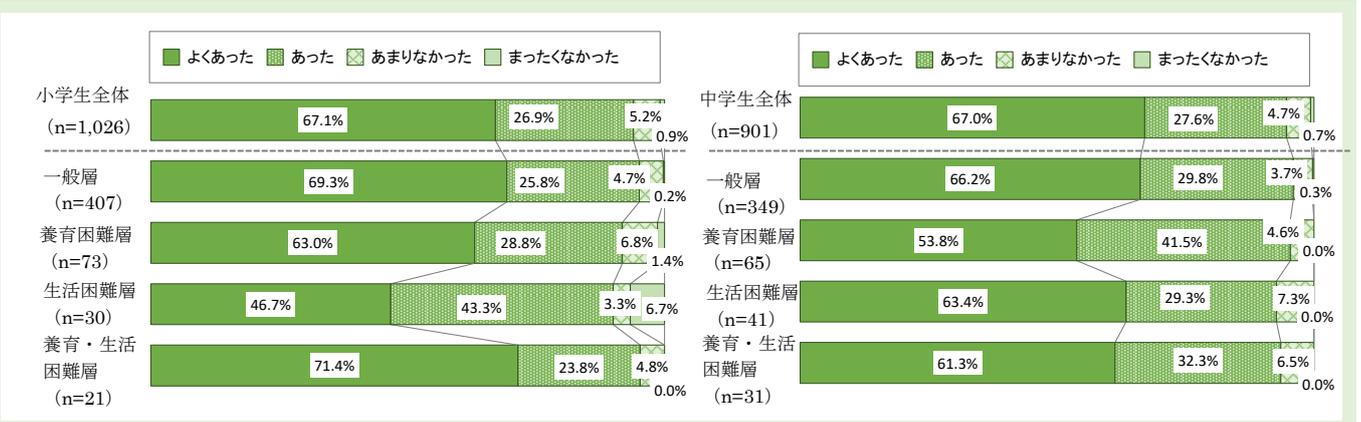
問 14A 小学生になる前の経験「家族の人に本や絵本を読んでもらったこと」



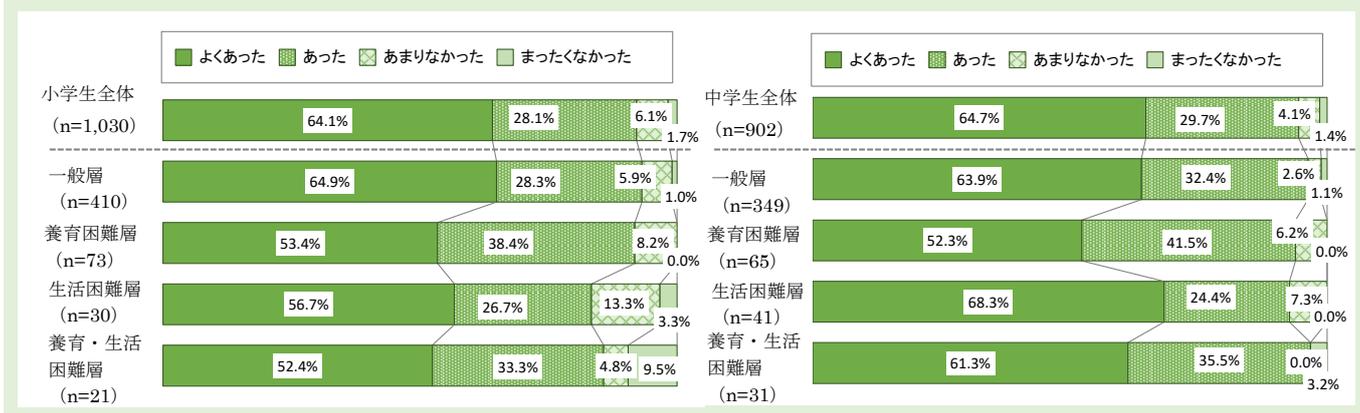
問 14B 小学生になる前の経験「家族の人にほめられたこと」



問 14C 小学生になる前の経験「家族でレジャー（遊び）に出かけたこと」



## 問 14D 小学生になる前の経験「家族の人に公園などで遊んでもらったこと」

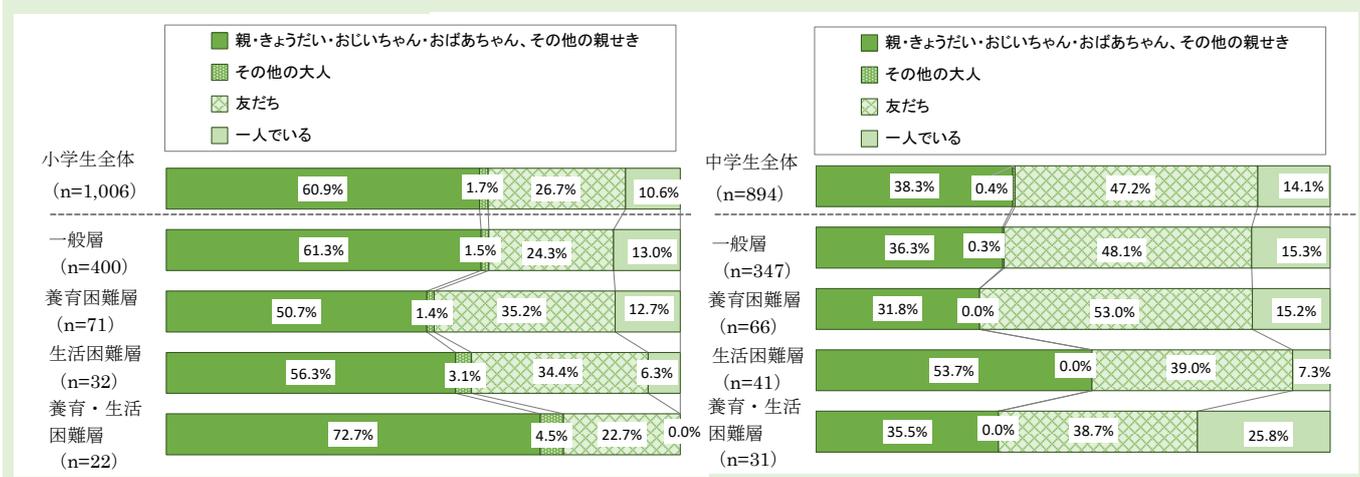


## ⑥放課後誰と過ごすか

平日（学校に行く日）の学校が終わってから夕方6時くらいまで誰と過ごすことが一番多いかについて、小学生で「親・きょうだい・おじいちゃん・おばあちゃん、その他の親せき」が約6割、中学生で「友だち」が約5割となっています。

なお、小学生・中学生ともに、「一人でのいる」の割合は約1割となっています。（小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし）

## 問 19 平日（学校に行く日）の学校が終わってから夕方6時くらいまでは誰と過ごしますか

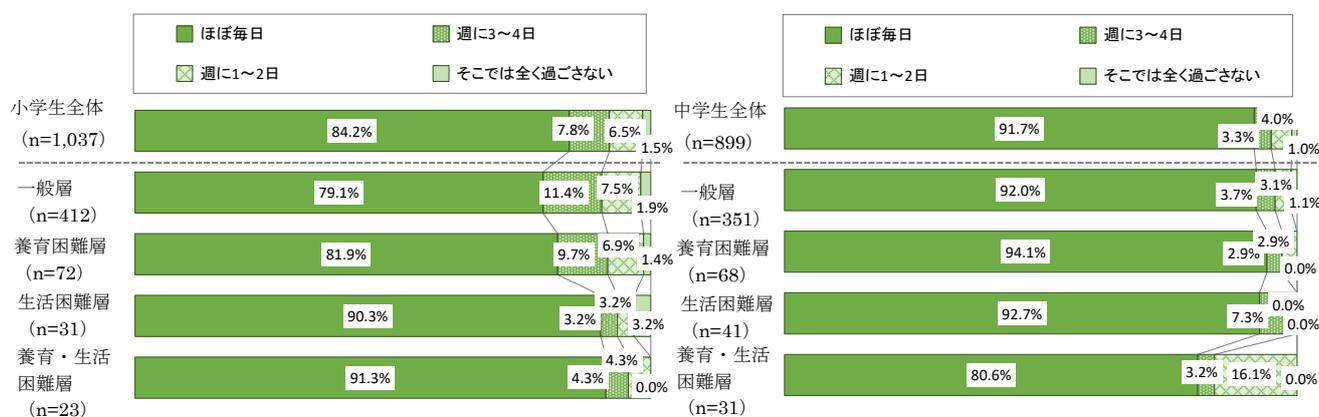


## ⑦放課後どこで過ごすか

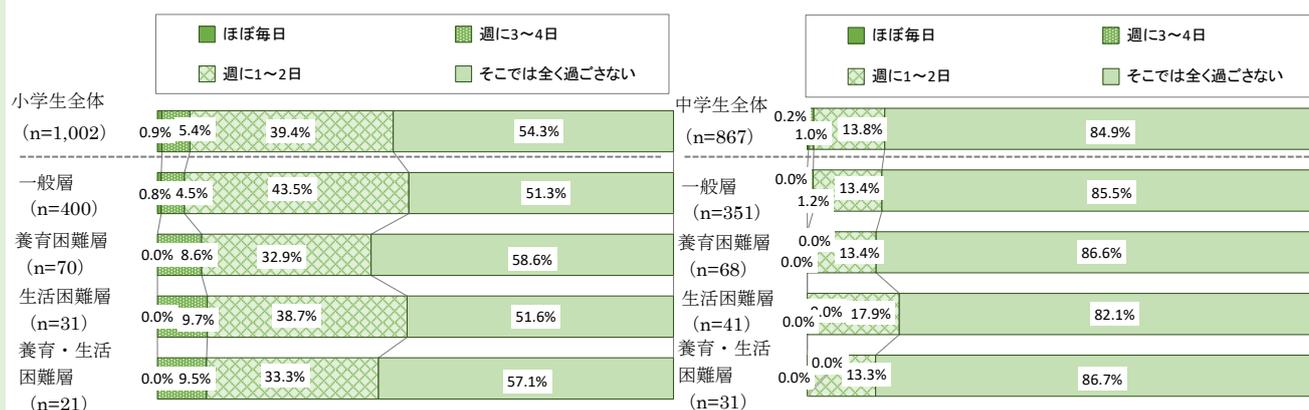
平日（学校に行く日）の学校が終わってから寝るまでの間に過ごすことがある場所について、困難の重なりによる4類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の小学生で「塾や習い事、スポーツクラブの活動の場」であまり過ごさない傾向が見られます。また、養育・生活困難層の家庭の小学生では、「学童クラブ」で「ほぼ毎日」過ごす割合が他の類型と比べて高くなっています。

中学生では、養育・生活困難層の家庭で「自分の家」で「ほぼ毎日」過ごす割合が他の類型と比べて低くなっています。

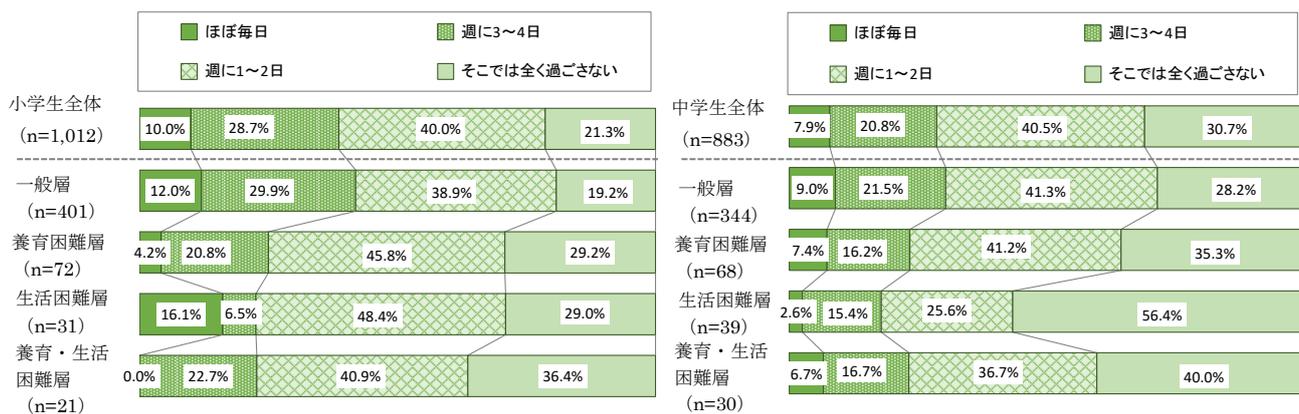
### 問 20A 平日（学校に行く日）に過ごす場所「自分の家」



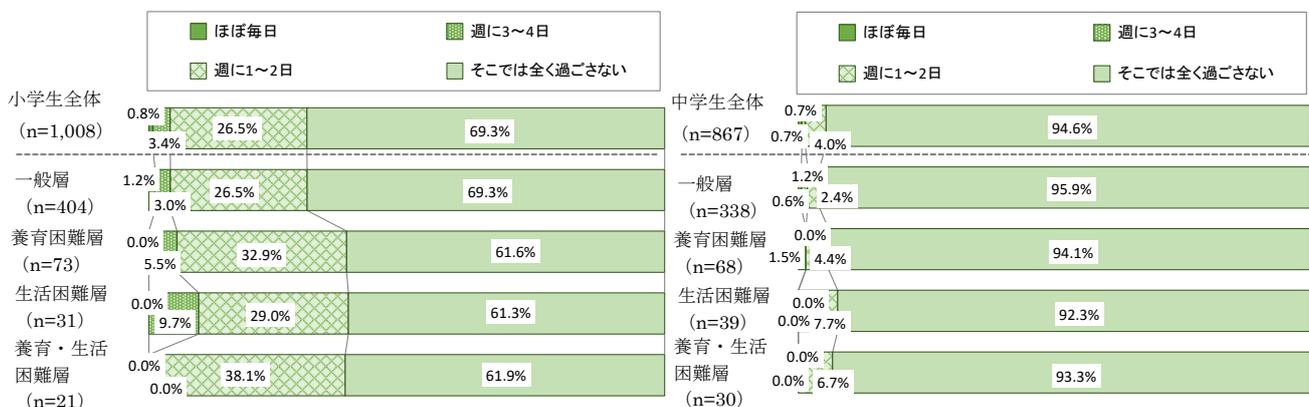
### 問 20B 平日（学校に行く日）に過ごす場所「友だちの家」



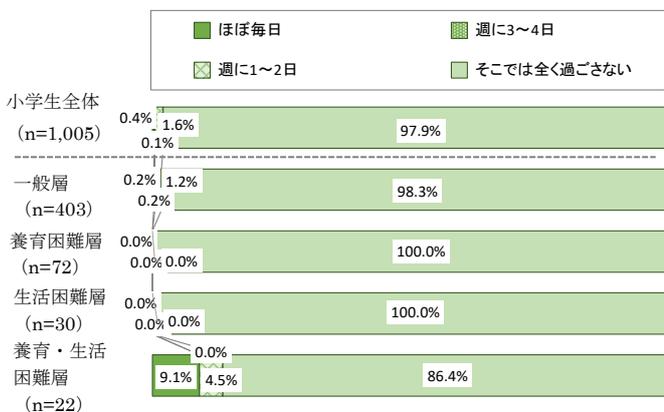
問 20C 平日（学校に行く日）に過ごす場所「塾や習い事、スポーツクラブの活動の場」



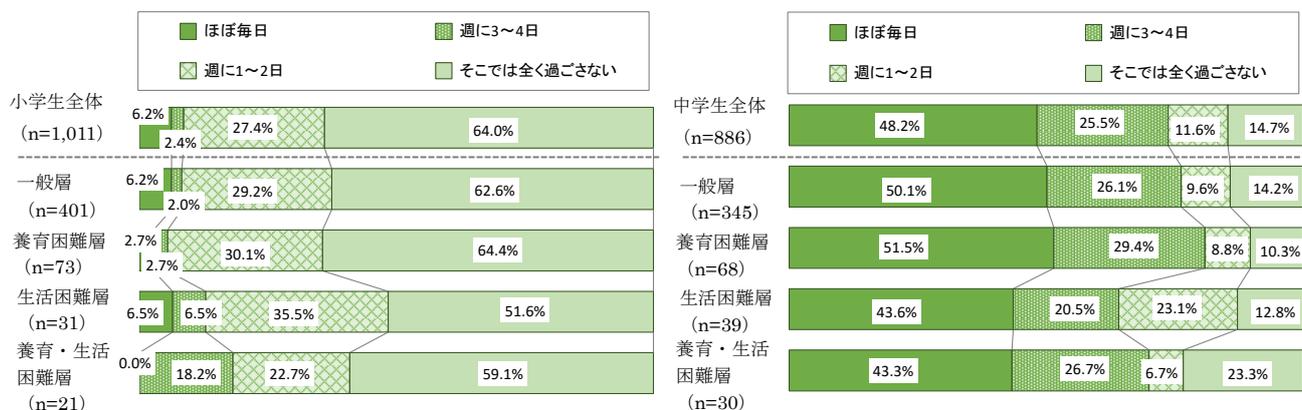
問 20D 平日（学校に行く日）に過ごす場所「文化センター（児童館）」



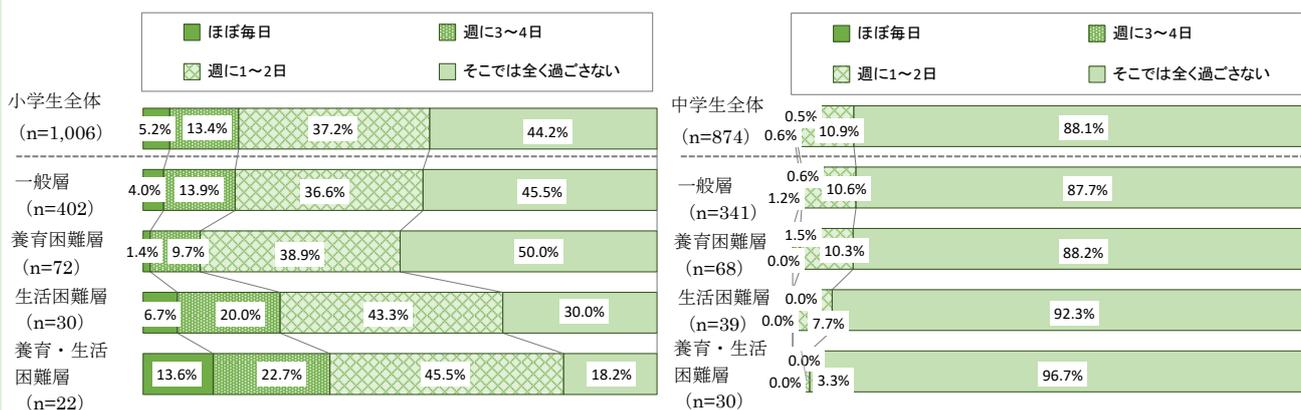
問 20E 平日（学校に行く日）に過ごす場所「学童クラブ」（小学生のみ）



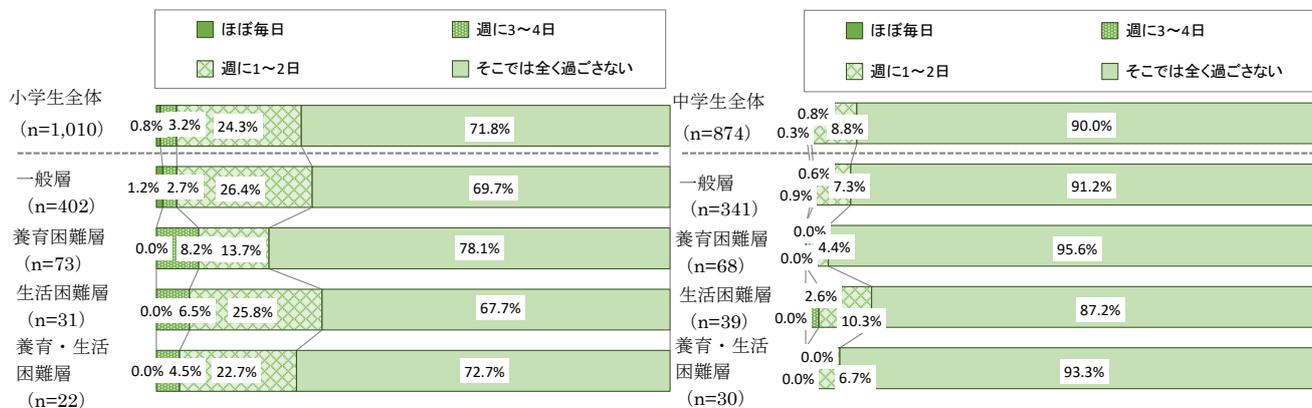
問 20F (問 20E) 平日 (学校に行く日) に過ごす場所  
「学校 (クラブ活動、けやきッズなど)」「学校 (部活動)」



問 20G (問 20F) 平日 (学校に行く日) に過ごす場所「公園」

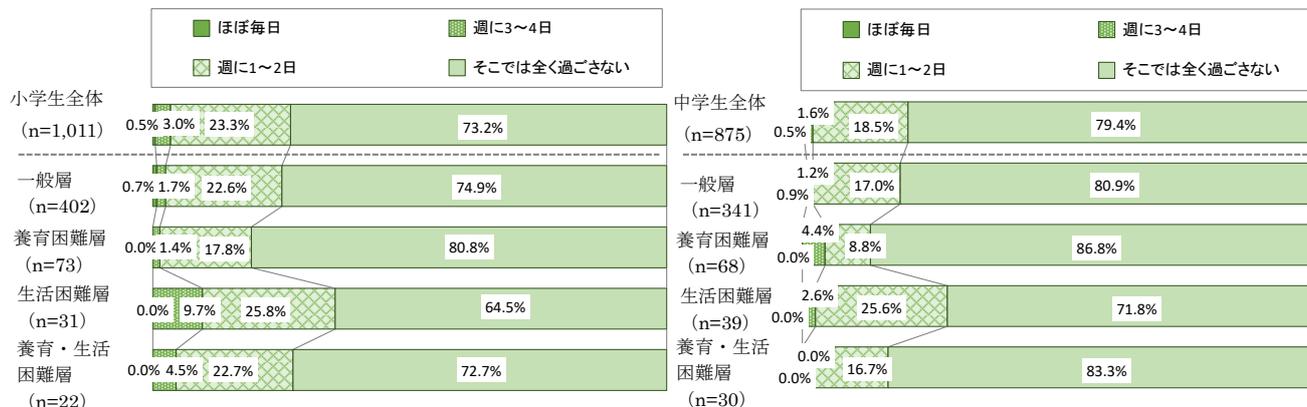


問 20H (問 20G) 平日 (学校に行く日) に過ごす場所「図書館」

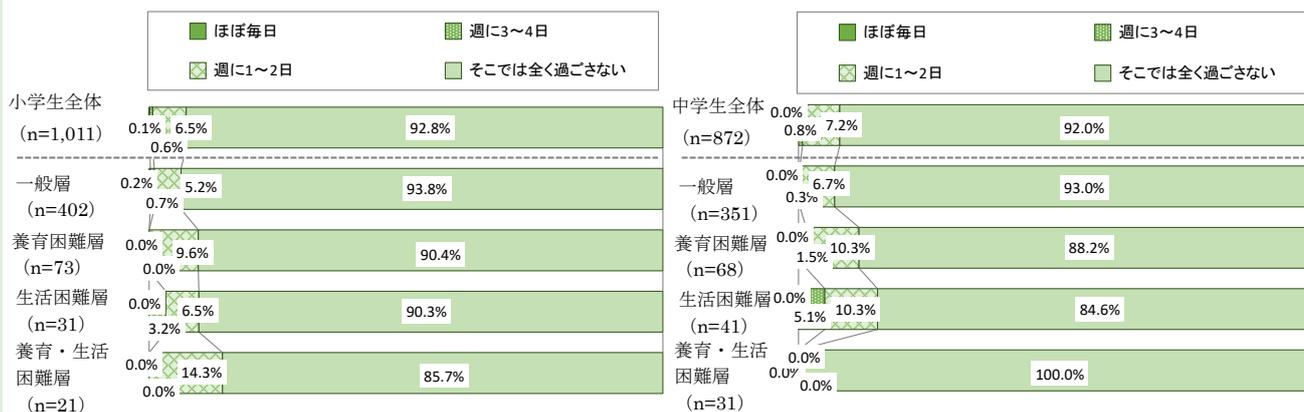


問 20I (問 20H) 平日 (学校に行く日) に過ごす場所

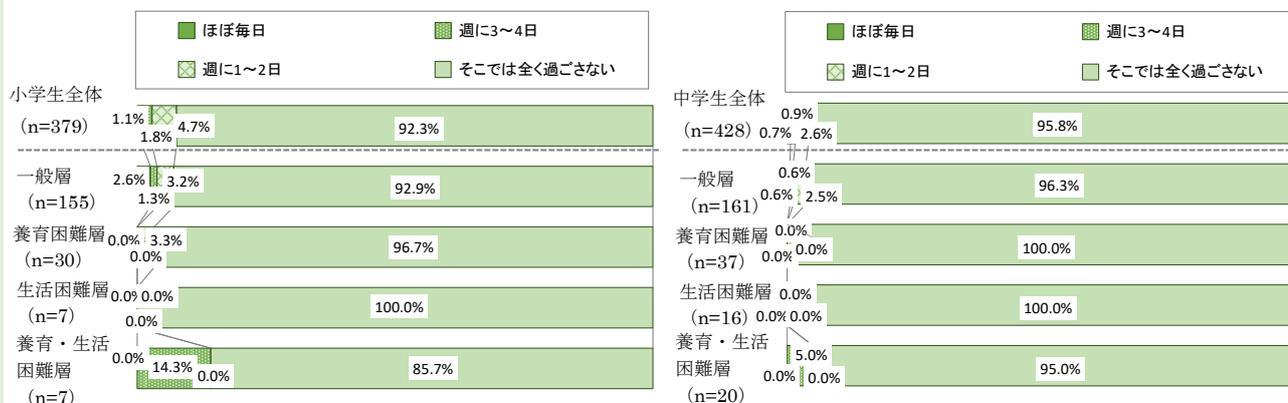
「ショッピングモール (いろいろなお店があり買い物するところ)」



問 20J (問 20I) 平日 (学校に行く日) に過ごす場所「ゲームセンター」



問 20K (問 20J) 平日 (学校に行く日) に過ごす場所「その他」

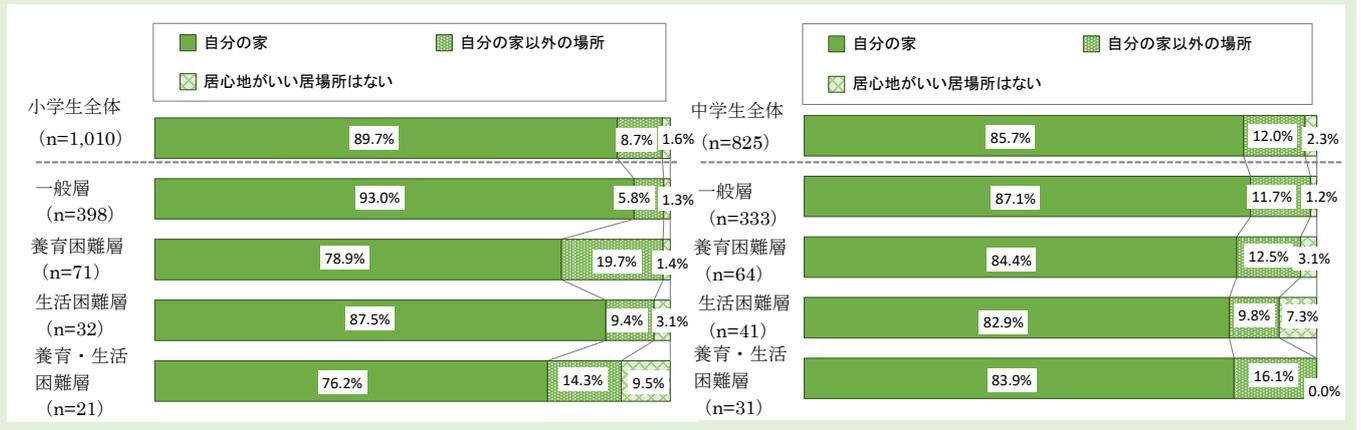


### ⑧一番居心地がいい居場所

平日（学校に行く日）の学校が終わってから寝るまでの間に過ごすことがある場所の中で、一番居心地がいい居場所については、小学生・中学生ともに約9割は「自分の家」と回答しています。

困難の重なりによる4類型別には、養育・生活困難層の家庭の小学生で、他の類型と比べて「自分の家」の割合が低く、「居心地がいい居場所はない」の割合が高くなっています<sup>41</sup>。（中学生については統計的な有意差なし）

問 21 平日（学校に行く日）の学校が終わってから寝るまでの間に過ごすことがある場所の中で、あなたにとって一番居心地がいい居場所はどこですか



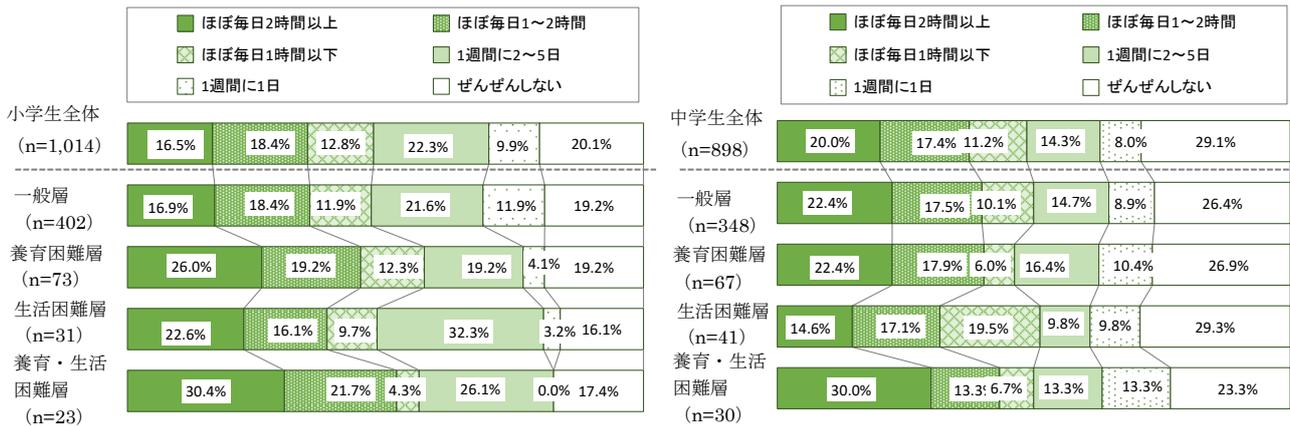
<sup>41</sup> 「友だちの家」「塾や習い事、スポーツクラブの活動の場」「文化センター（児童館）」「学童クラブ」「学校（クラブ活動、けやきッズなど）」「学校（部活動）」「公園」「図書館」「ショッピングモール（いろいろなお店があり買物するところ）」「ゲームセンター」「その他」の選択肢による回答を合わせて「自宅以外の場所」として集計しています。

## ⑨ふだんの活動の状況

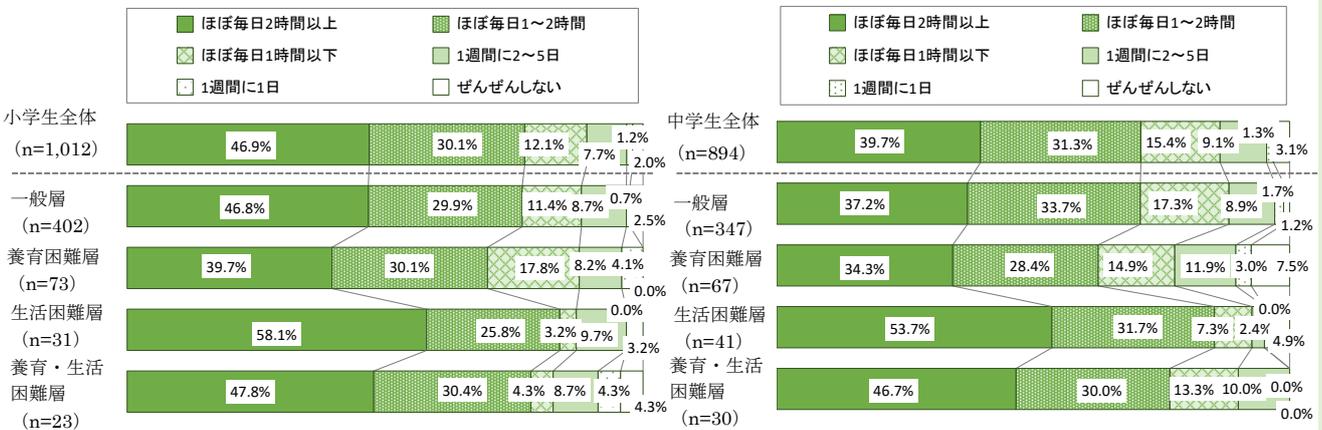
ふだんの活動の状況について、困難の重なりによる4類型別では、養育困難や生活困難の課題が見られる家庭の小学生で「外（公園など）で遊ぶ」の活動頻度が高い（時間が長い）傾向が見られます<sup>42</sup>。

中学生では、生活困難層で「テレビを見る」の時間が比較的長くなっています。また、「家事をする（洗濯、掃除、料理、片付けなど）」の活動頻度が比較的高くなっています。

### 問 22A ふだんの活動「ゲームで遊ぶ」

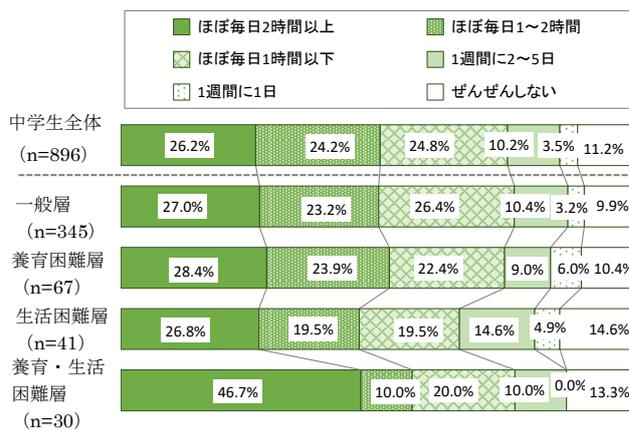
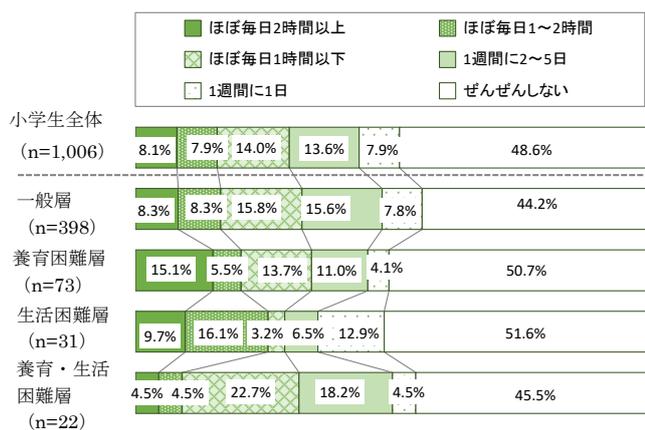


### 問 22B ふだんの活動「テレビを見る」

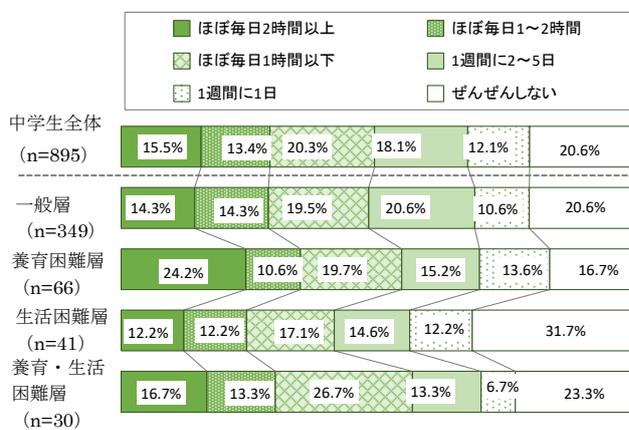
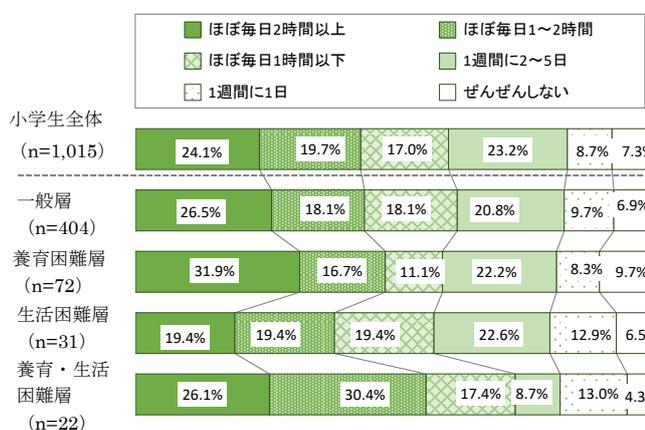


<sup>42</sup> 「ほほ毎日3時間以上」と「ほほ毎日2～3時間」の選択肢による回答を合わせて「ほほ毎日2時間以上」として集計し、「1週間に4～5日」と「1週間に2～3日」の回答を合わせて「1週間に2～5日」として集計しています。

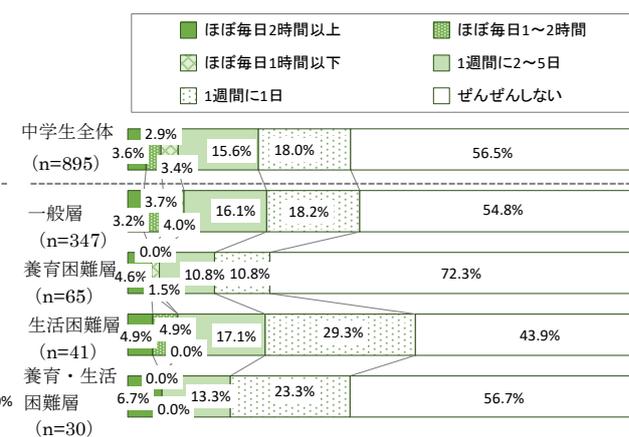
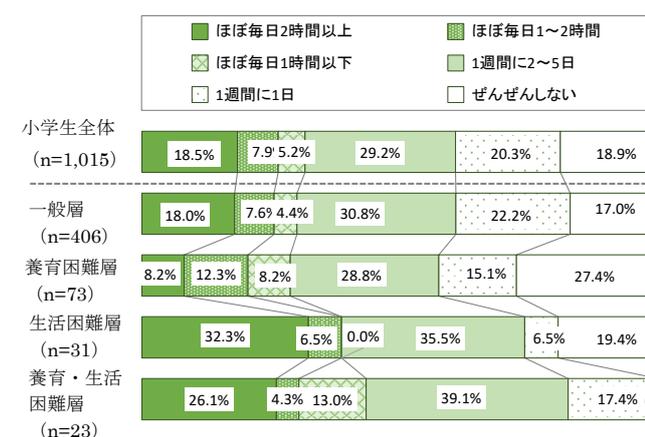
## 問 22C ふだんの活動「メールやSNS をする・インターネットを見る」



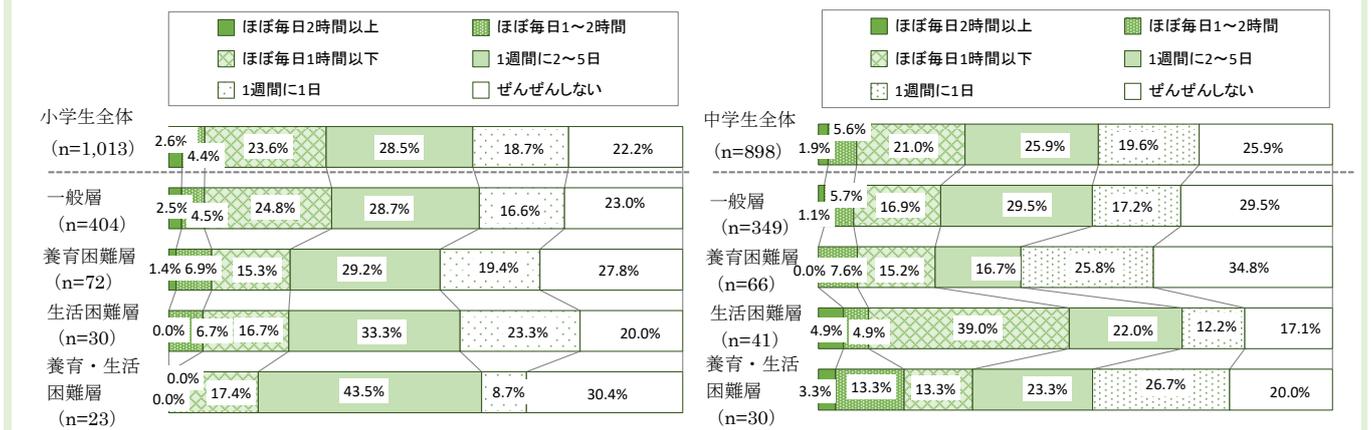
## 問 22D ふだんの活動「室内で遊ぶ（読書をふくむ）」



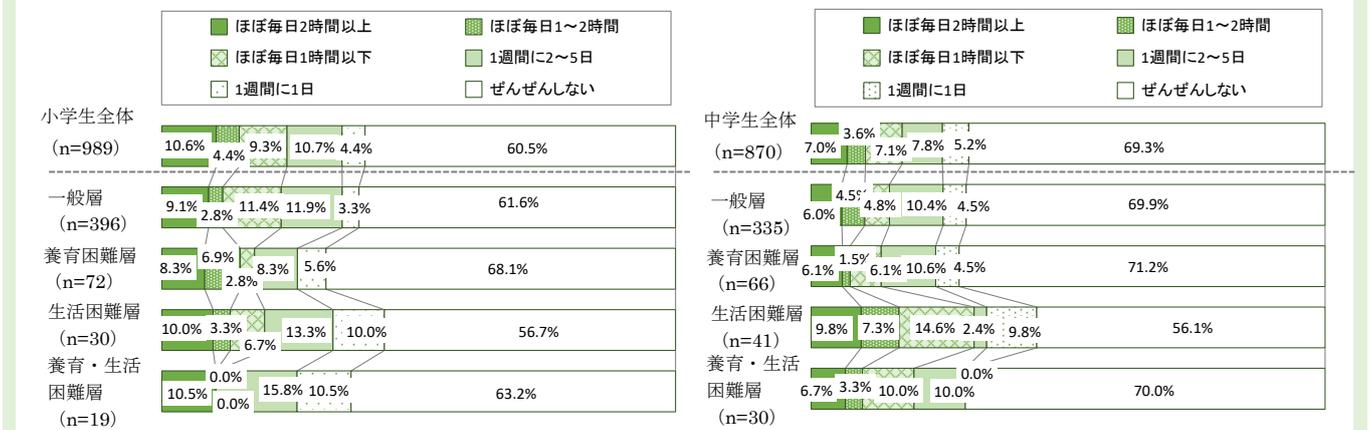
## 問 22E ふだんの活動「外（公園など）で遊ぶ」



## 問 22F ふだんの活動「家事をする（洗濯、掃除、料理、片付けなど）」



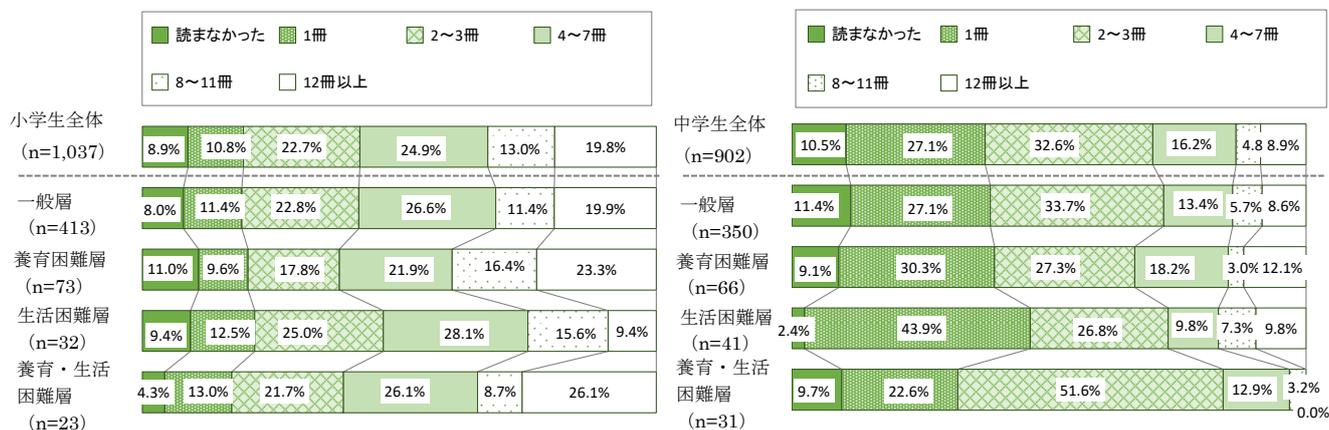
## 問 22G ふだんの活動「きょうだいなどの世話をする」



## ⑩読書冊数

1か月の間に読んだ本の冊数について、小学生で「4～7冊」の割合が最も高く、次いで「2～3冊」「12冊以上」の順になっています。中学生では、「2～3冊」の割合が最も高く、次いで「1冊」「4～7冊」の順になっています。(小学生・中学生ともに困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

### 問 23 1か月の間に本（雑誌やマンガ以外）を何冊くらい読みましたか

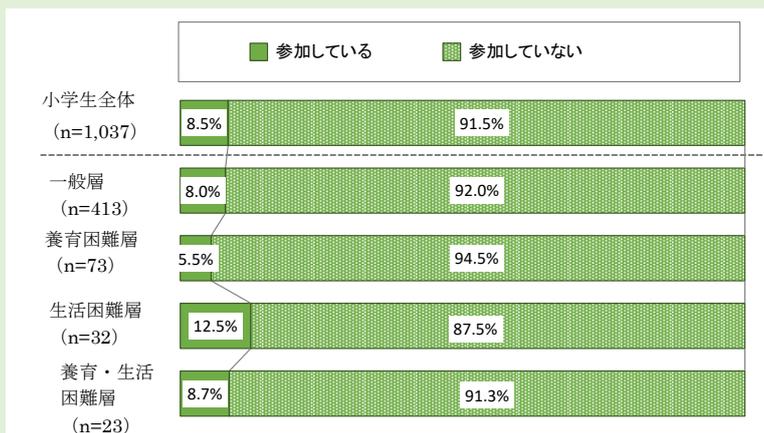


## ⑪ 「けやきッズ」の参加状況

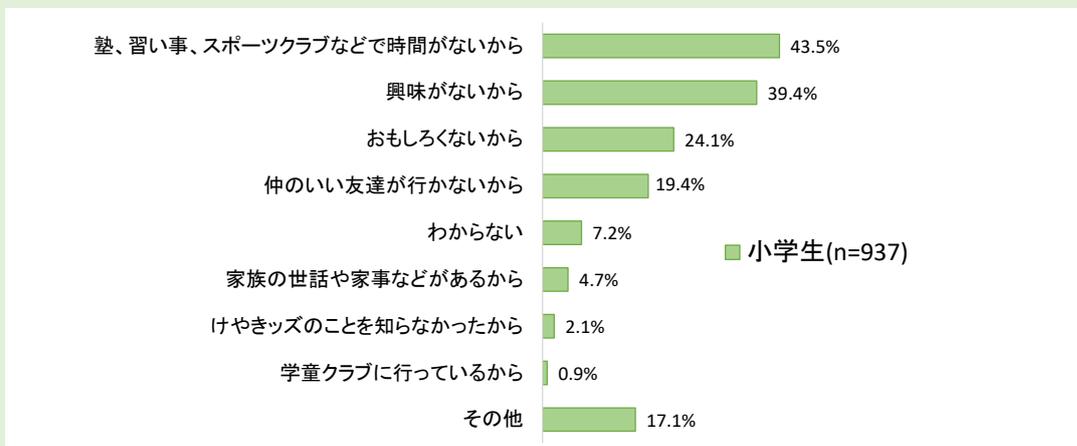
「けやきッズ」に「参加している」と回答した割合は約1割となっています。(困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

「けやきッズ」に参加しない理由としては、「塾、習い事、スポーツクラブなどで時間がないから」と「興味がないから」がそれぞれ約4割となっています<sup>43</sup>。

### 問 24 放課後子ども教室「けやきッズ」に参加していますか（小学生）



### 問 24-1 放課後子ども教室「けやきッズ」に参加しない理由は何ですか



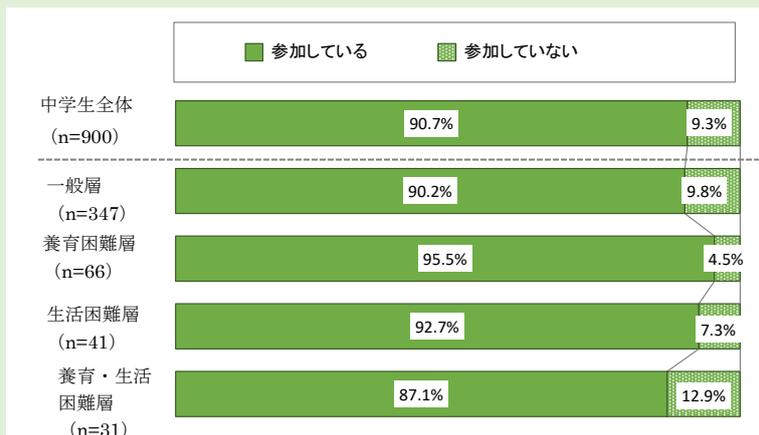
<sup>43</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する子どもだけでなく、「参加していない」と回答した全ての子どもに関する集計結果です。

## ⑫部活動の参加状況

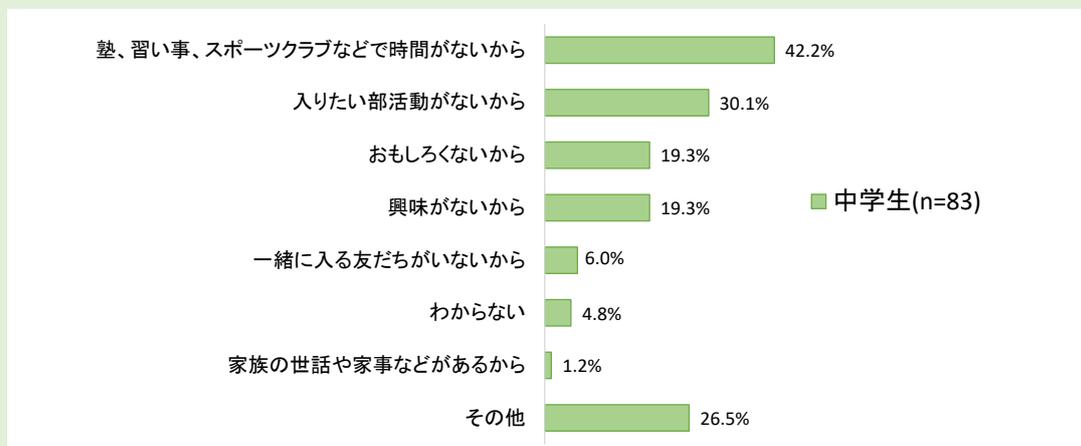
学校の部活動に「参加している」と回答した割合は約9割となっています。(困難の重なりによる4類型別に統計的な有意差なし)

部活動に参加しない理由としては、「塾、習い事、スポーツクラブなどで時間がないから」が約4割、「入りたい部活動がないから」が約3割となっています<sup>44</sup>。

### 問 24 学校の部活動に参加していますか（中学生）



### 問 24-1 部活動に参加しない理由は何ですか



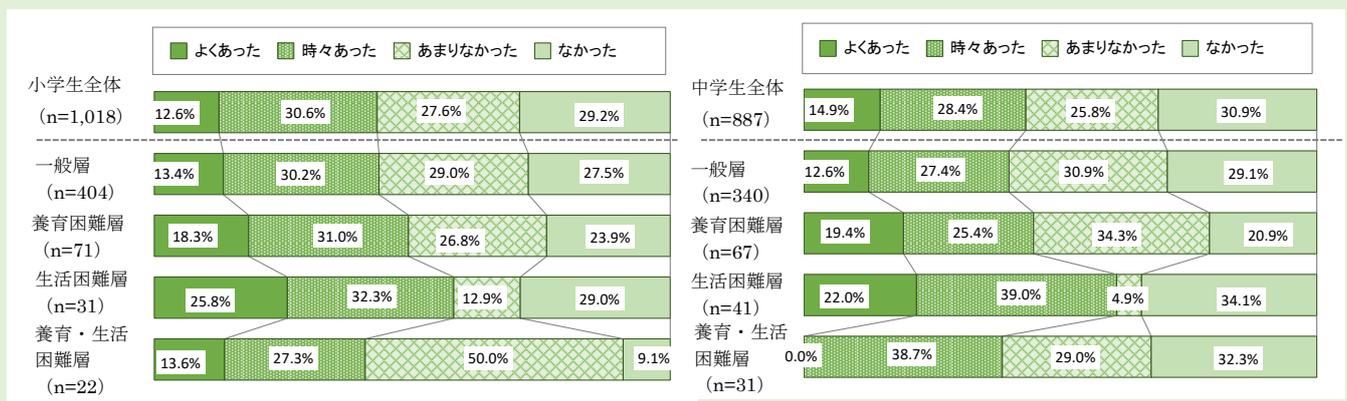
<sup>44</sup> 「養育困難層」や「生活困難層」に該当する子どもだけでなく、「参加していない」と回答した全ての子どもに関する集計結果です。

### ⑬不登校の傾向等

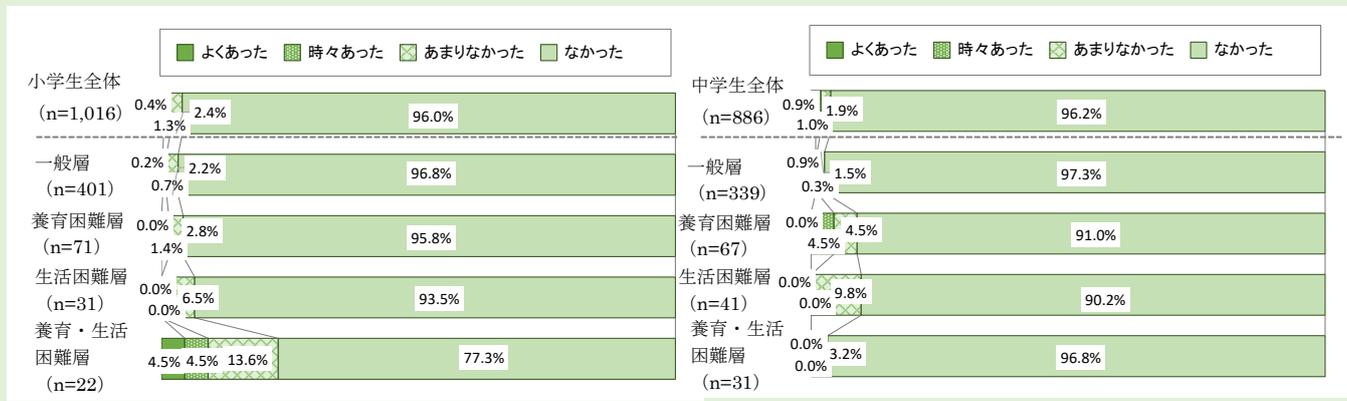
不登校やいじめの傾向に関することについて、困難の重なりによる4類型別では、養育・生活困難層の家庭の小学生で「1か月以上学校を休んだ（病気の時以外）」や「いじめられた」に関して「なかった」の割合が他の類型と比べて低くなっています。

中学生では、生活困難層の家庭で「学校に行きたくないと思った」に関して「よくあった」、又は「時々あった」の割合が他の類型と比べて高くなっています。また、「1か月以上学校を休んだ（病気の時以外）」に関して「なかった」の割合が他の類型と比べて低くなっています。

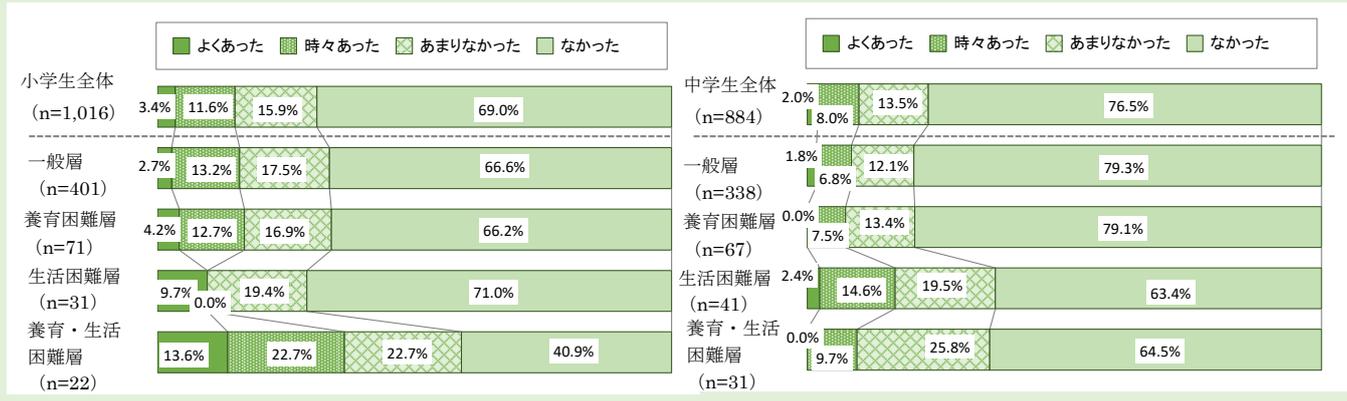
#### 問 32A これまでにあったこと「学校に行きたくないと思った」



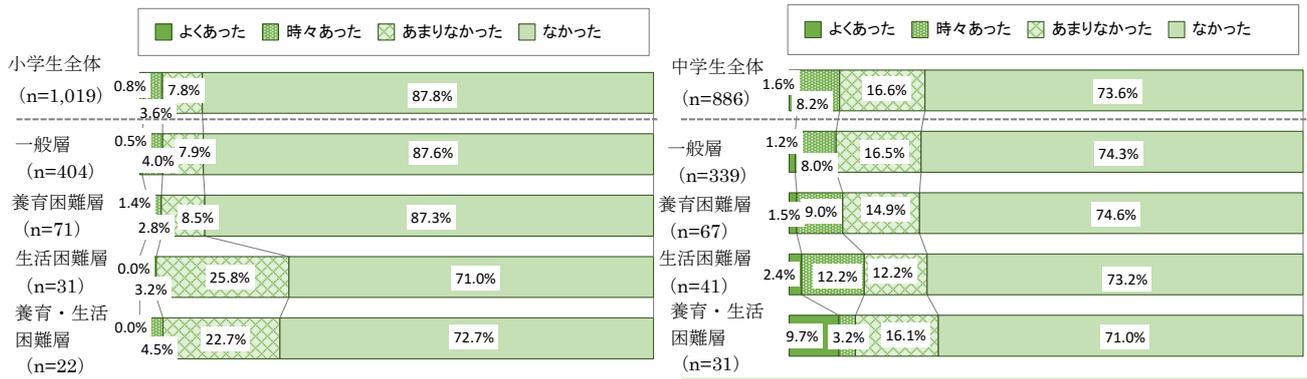
#### 問 32B これまでにあったこと「1か月以上学校を休んだ（病気の時以外）」



#### 問 32C これまでにあったこと「いじめられた」



問 32D これまでにあったこと「夜遅くまで子どもだけで過ごした」



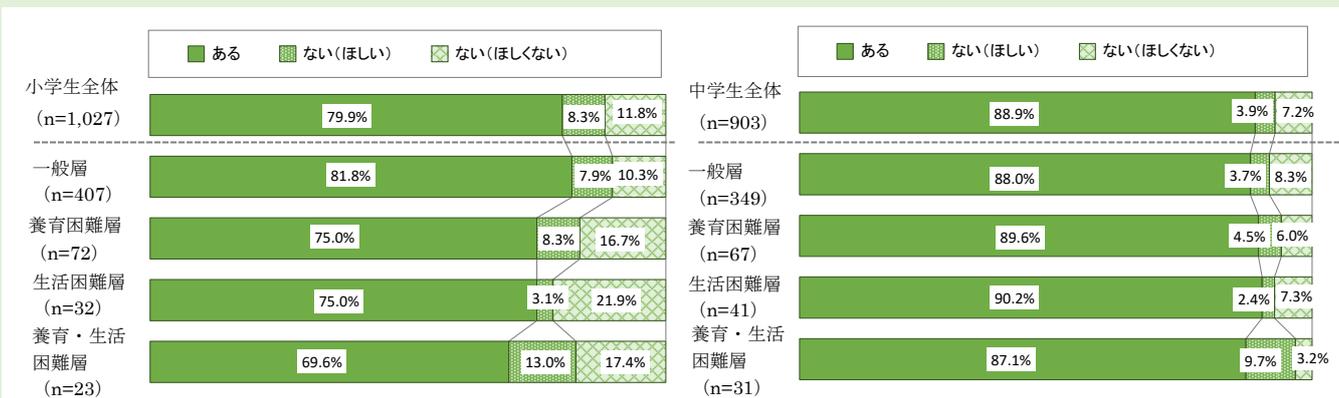
## (5) 支援ニーズ

### ① 自分が使うことができるもので家にはないもの

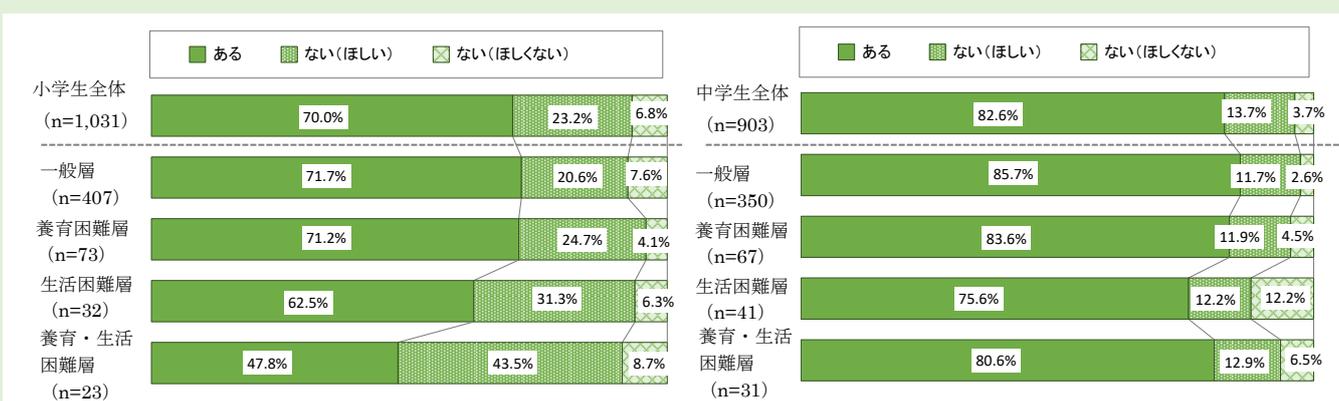
自分が使うことができるものとして、現在持っておらず「ほしい」と回答されたものについて、困難の重なりによる4類型別では、生活困難層と養育・生活困難層の家庭の小学生で「スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）」の割合が比較的高くなっています。

中学生では、生活困難層の家庭で「流行りの文房具」の割合が他の類型と比べて高くなっています。

#### 問 17A 自分が使うことができる、次のものがありますか「自分だけの本（学校の教科書やマンガ以外）」

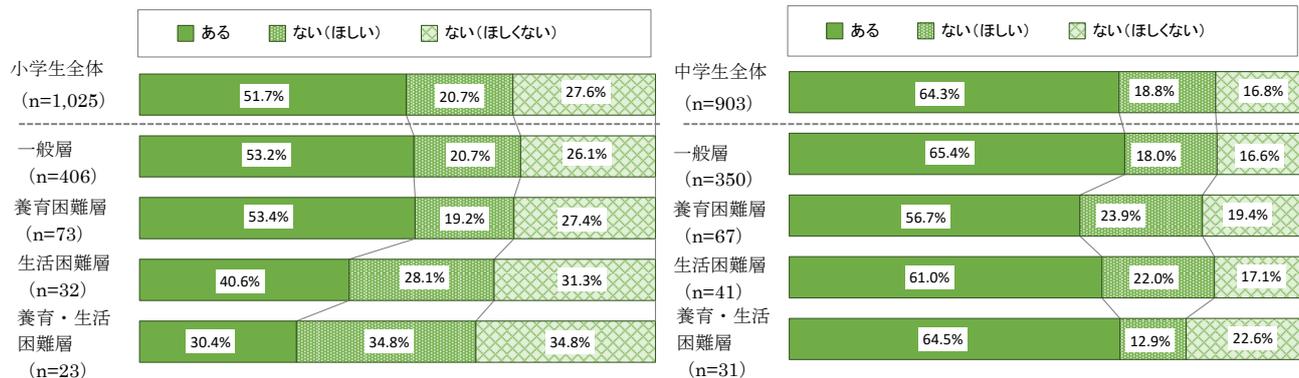


#### 問 17B 自分が使うことができる、次のものがありますか「子ども部屋（きょうだいと使っている場合も含まます）」

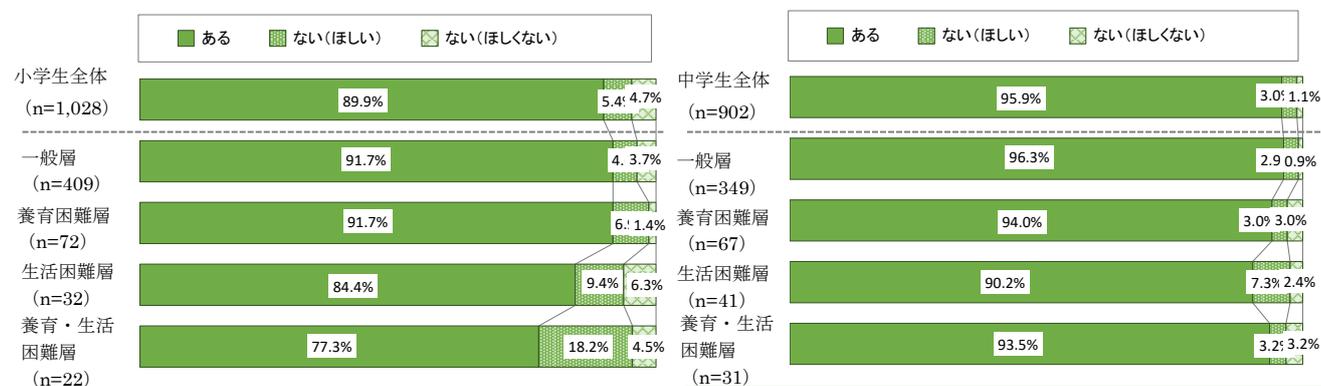


### 問 17C 自分が使うことができる、次のものがありますか

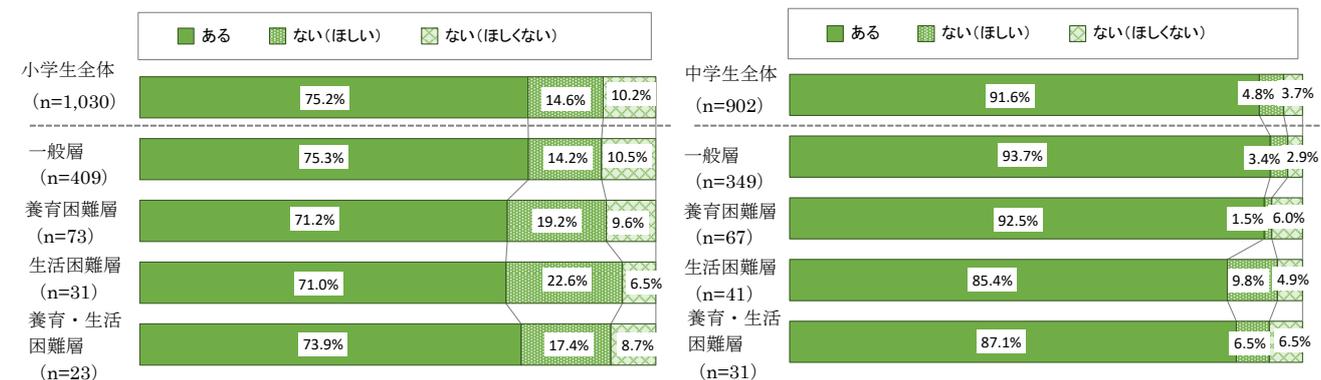
「(自宅で) インターネットにつながるパソコン」



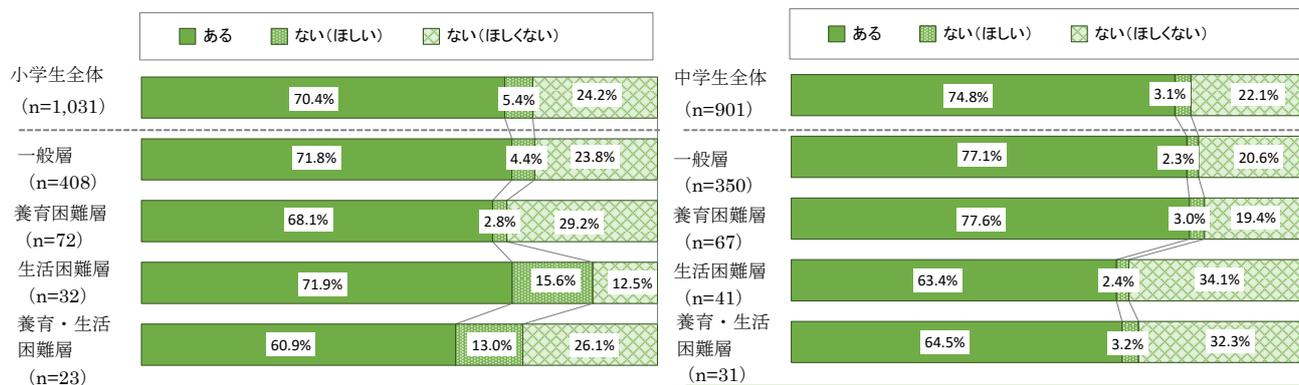
### 問 17D 自分が使うことができる、次のものがありますか「自宅で宿題をすることができる場所」



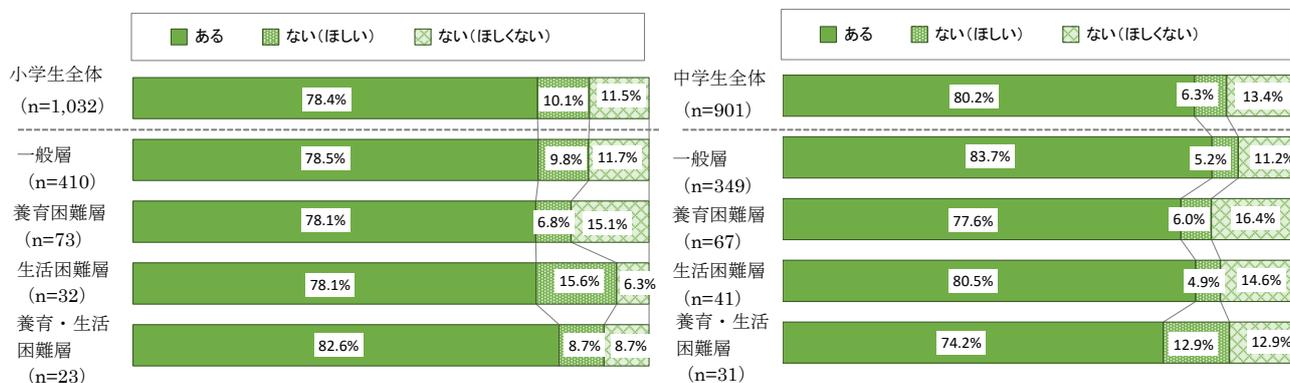
### 問 17E 自分が使うことができる、次のものがありますか「自分の勉強机」



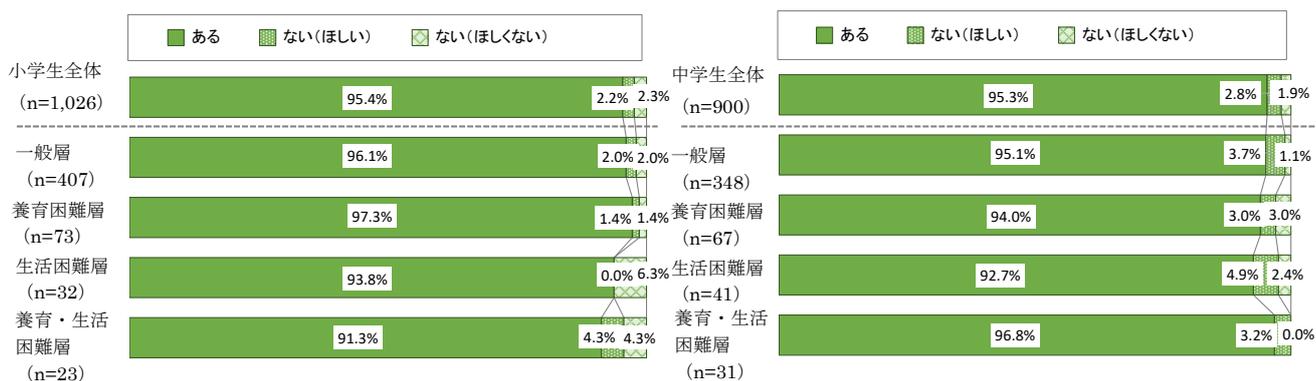
問 17F 自分が使うことができる、次のものがありますか  
「スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）」



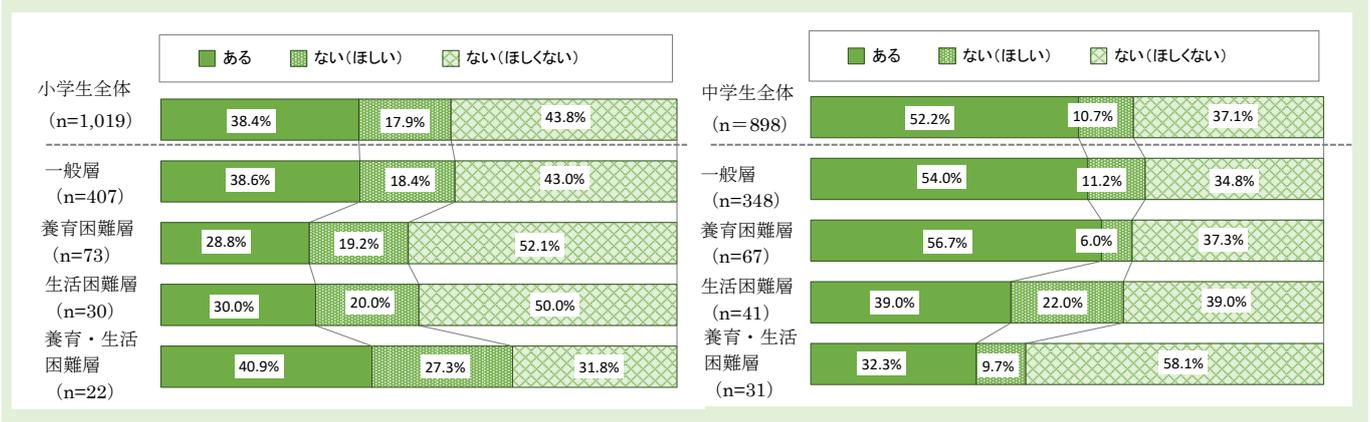
問 17G 自分が使うことができる、次のものがありますか「ゲーム機」



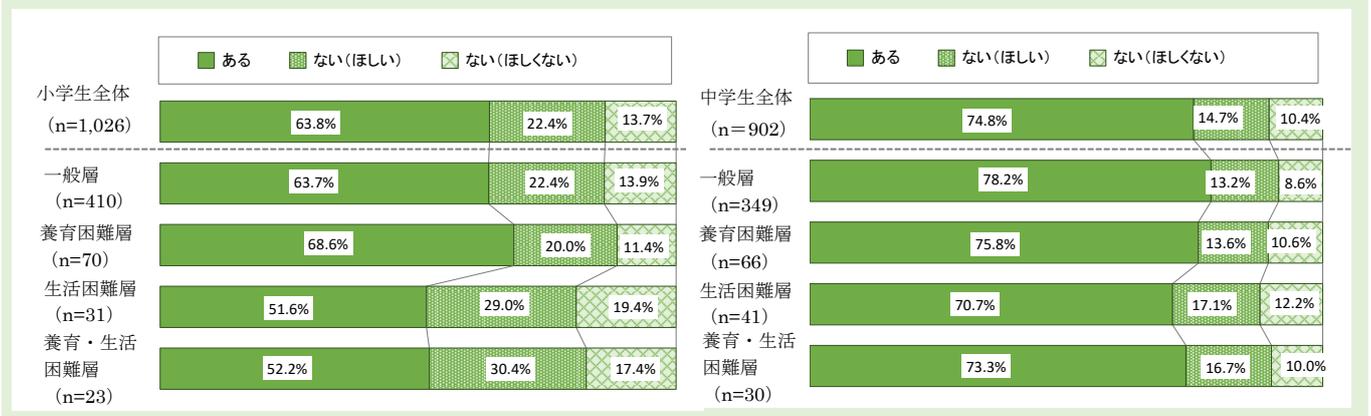
問 17H 自分が使うことができる、次のものがありますか「自転車」



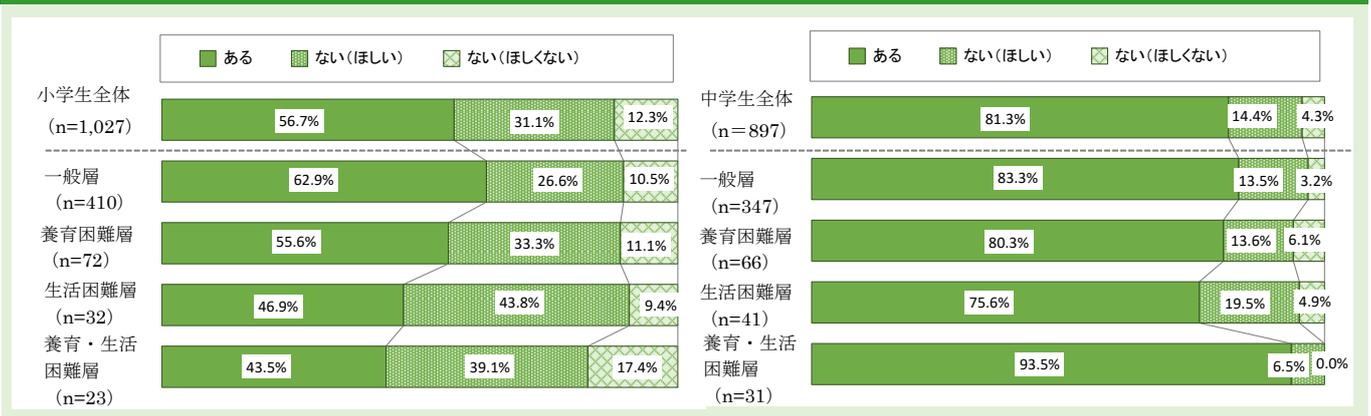
問 17I 自分が使うことができる、次のものがありますか「流行りの文房具」



問 17J 自分が使うことができる、次のものがありますか「おこづかい」



問 17K 自分が使うことができる、次のものがありますか「けいたい電話、スマートフォン、タブレット端末」

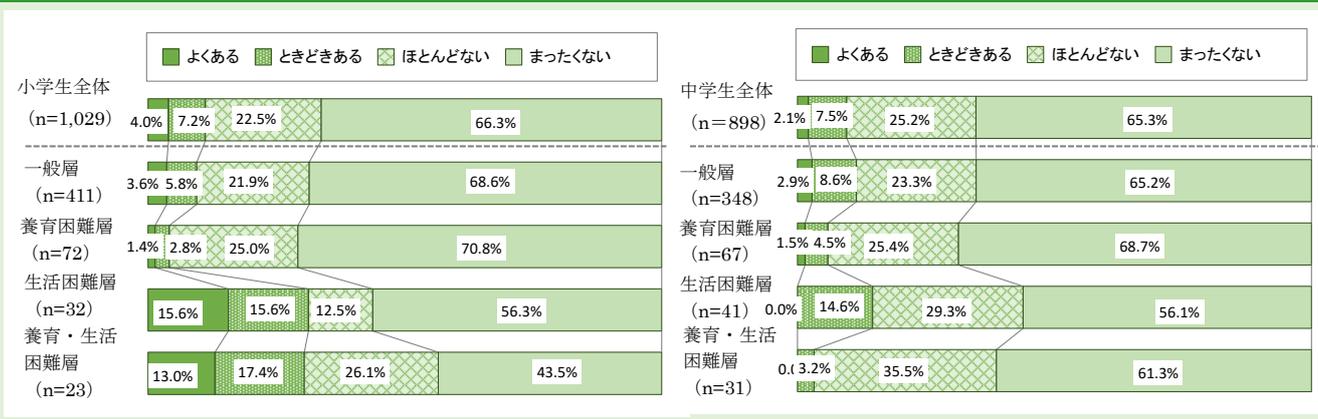


## ②文具や教材が買えないこと

ふだんの生活の中で、必要とする文具や教材が買えないこと（買ってもらえないこと）がどの程度あるかについて、「よくある」、又は「ときどきある」の割合は、小学生・中学生ともに約1割となっています。

困難の重なりによる4類型別では、生活困難層と養育・生活困難層の家庭の小学生で「よくある」、又は「ときどきある」の割合が比較的高くなっています。（中学生については統計的有意差なし）

### 問 18 ふだんの生活の中で、必要とする文具や教材が買えないこと（買ってもらえないこと）はありますか

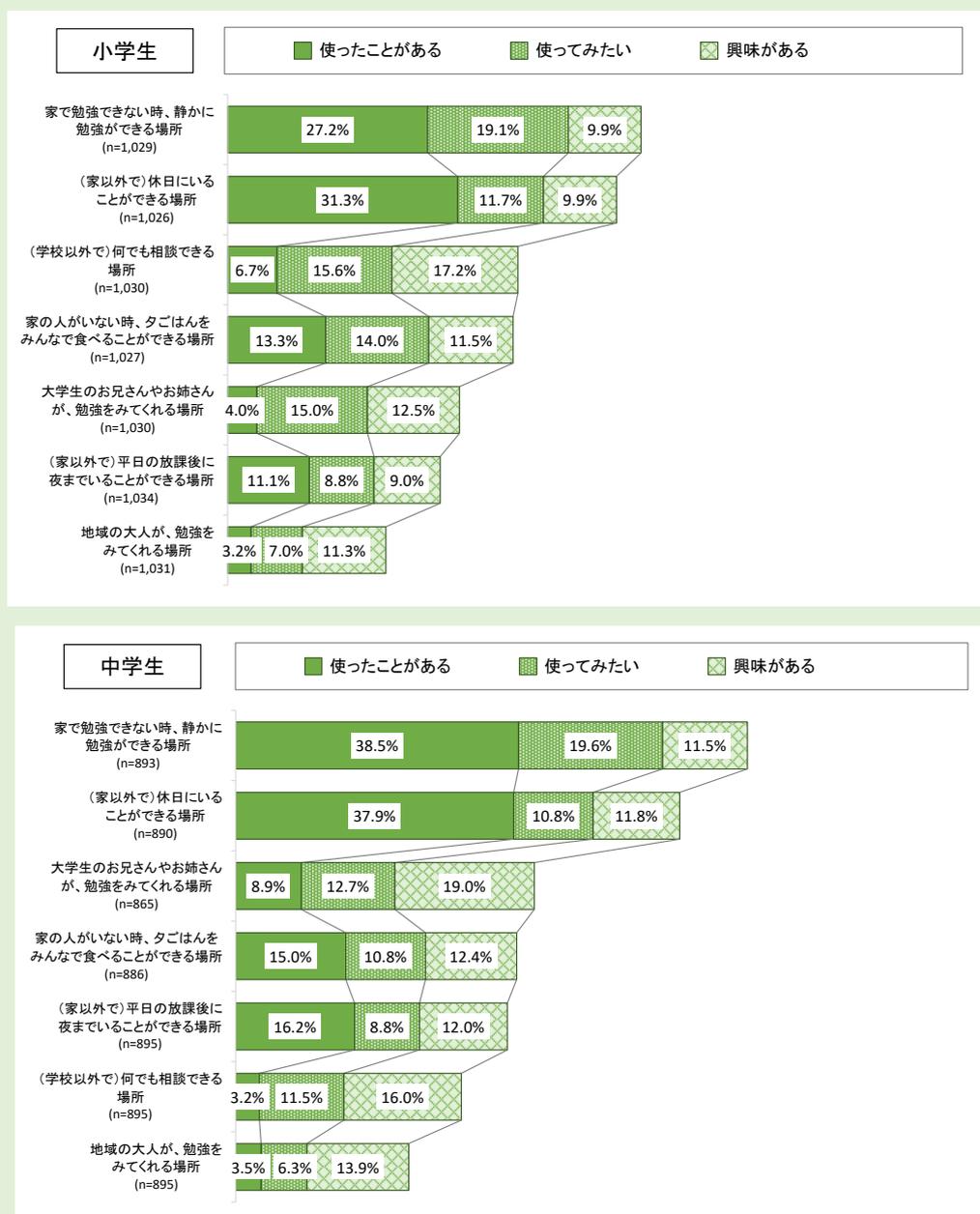


### ③居場所に関するニーズ

居場所に関して子ども自身が「使ったことがある」のほか、「使ってみたい」、又は「興味がある」と回答したものは、小学生・中学生ともに「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」の割合が最も高く、次いで「(家以外で) 休日にいることができる場所」が高くなっています。

「使ってみたい」、又は「興味がある」の回答のみでは、小学生で「(学校以外で) 何でも相談できる場所」(合わせて 32.8%)、中学生で「大学生のお兄さんやお姉さんが、勉強をみてる場所」(合わせて 31.7%) の割合が比較的高くなっています。

#### 問 37 次のような場所を使ったことがありますか 使ったことがない人は、あれば使ってみたいと思いますか



#### ④市や学校に対する要望

市や学校に何でも要望（お願い）できるとすればどのようなことを要望（お願い）するかについて、自由記述により、次のような内容の回答がありました。

件数として、小学生・中学生ともに「学校設備や備品」に関することが最も多く、小学生では次いで「授業時間、授業数等」に関すること、中学生では「校内のルール」に関することが多くなっています。

#### 問 38【小学生】

市や学校に何でも要望（お願い）できるとすればどのようなことを要望（お願い）しますか

回答内容の分類	件数	回答内容の要約・例
学校設備や備品	183	○学校をきれいにしてほしい（校舎、トイレ等）。 ○図書館・図書室の蔵書を増やしてほしい。 ○体育館にエアコンをつけてほしい。
授業時間、授業数等	138	○土曜授業をなくしてほしい。 ○休み時間を長くしてほしい。 ○特定の教科の時間数を増やしてほしい（体育、プログラミングなど）。
遊び場所・時間、遊具等	96	○校庭を広くしてほしい。 ○公園を増やしてほしい。もっと遊べる場所を増やしてほしい。
授業内容・宿題等	62	○授業をもっとわかりやすくしてほしい。 ○宿題を少なくしてほしい。なくしてほしい。
クラブ活動等	39	○クラブ活動を増やしてほしい。行事を増やしてほしい。
校内のルール	38	○ランドセルが重いので置き勉を認めてほしい。 ○シャープペンシルを使いたい。
給食	30	○給食をおいしくしてほしい。量を増やしてほしい。
まちづくりやまちの美化	29	○緑・自然を増やしてほしい。街をきれいにしてほしい。
通学路の整備や通学方法	27	○通学路をより安全にしてほしい。
教員について	25	○言葉使い、叱り方や注意の仕方、ひいき、横柄な態度、話の長さ、などを改善してほしい。
学校外での学びの場所・時間	17	○勉強できる場所を増やしてほしい。勉強を教えてほしい。
悩みごとやいじめ等	15	○相談できる場所がほしい。いじめをなくしたい。
道路整備や交通環境	14	○踏切・歩道橋の整備をしてほしい。
その他	64	—

問 38 【中学生】

市や学校に何でも要望（お願い）できるとすればどのようなことを要望（お願い）しますか

回答内容の分類	件数	回答内容の要約・例
学校設備や備品	292	○学校をきれいにしてほしい（校舎、プール、更衣室、トイレ等）。 ○施設を充実してほしい（体育館の拡充、テニスコート、プール、冷水器、ナイター設備等）。 ○体育館にエアコンをつけてほしい。
校内のルール	79	○制服を変えてほしい。 ○校則が厳しすぎる（身なり、持ち物等） ○教科書や荷物が重い。置き勉をもう少し認めてほしい。
遊び場所・時間、遊具等	68	○公園を増やしてほしい。バスケットコートやテニスコートを増やしてほしい。 ○ショッピングモール等を増やしてほしい。
授業内容・宿題等	60	○授業をもっとわかりやすくしてほしい。 ○宿題を少なくしてほしい。なくしてほしい。
部活動等	53	○部活動の時間を増やしてほしい／減らしてほしい。 ○文化祭を開催してほしい。
授業時間、授業数等	51	○休みの日、休み時間を増やしてほしい。 ○始業時間を少し遅くしてほしい。
教員について	36	○部活動での指導、ひいき、横柄な態度、などを改善してほしい。
道路整備や交通環境	26	○街灯の整備をしてほしい。
給食	23	○給食をおいしくしてほしい。給食の時間を伸ばしてほしい。
まちづくりやまちの美化	23	○緑を増やしてほしい。
通学路の整備や通学方法	19	○自転車通学を許可してほしい。
悩みごとやいじめ等	13	○いじめをなくしてほしい。
学校外での学びの場所・時間	10	○勉強できる場所を増やしてほしい。
その他	54	—

